

**ウガンダ共和国**  
**職業訓練指導員養成プロジェクト**  
**中間レビュー調査報告書**

平成 21 年 5 月  
( 2009 年 )

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部

人 間
J R
09-072

**ウガンダ共和国**  
**職業訓練指導員養成プロジェクト**  
**中間レビュー調査報告書**

平成 21 年 5 月  
( 2009 年 )

**独立行政法人国際協力機構**  
**人間開発部**

## 序 文

ウガンダ共和国は、教育セクター戦略計画（ESSP2004-2015）において、初等教育以降のポストプライマリー教育における教員・指導員の能力強化の重要性を強調しています。

ウガンダの商業・技術・職業訓練（BTVET）セクターでは、職業全般を包括する職業資格制度（UVQF）の導入により、効果的な教育・訓練を行うための取り組みが進められており、UVQF の枠組みに準拠した指導員が必要となっている一方、同国の指導員の多くは十分な資格や技術を有していない状況にあります。

我が国は、ナカワ職業訓練校（VTI）に対して、1997 年から無償資金協力や技術協力を実施し、同校は国内でも中核的な訓練校となりました。また、同校は前プロジェクト（ウガンダ職業訓練指導員研修プロジェクト）で実施した指導員再訓練を通じて、国内や東アフリカ周辺国へ貢献可能なキャパシティを確立しています。このような背景から、ナカワ VTI を活用して、新しい資格制度のもとで適切な教育・訓練を行うことができる指導員養成を目的としたプロジェクトが、2005 年にウガンダ側より要請されました。

JICA は 2006 年 4 月から 8 月にかけて、共にウガンダの指導員養成にあたったドイツ技術協力公社（GTZ）と合同で職業訓練指導員養成に関するニーズ調査やワークショップを実施し、ウガンダにおける今後の指導員訓練の方向性について検討してきました（第一次事前評価調査）。2007 年 1 月には第二次事前評価調査団を派遣し、具体的な協力内容について協議を行いました。この結果、ウガンダ職業訓練指導員養成プロジェクトが 2007 年 6 月から 2010 年 8 月までの 3 年 3 カ月の計画で開始され、現在プロジェクト期間の約半分が経過しています。

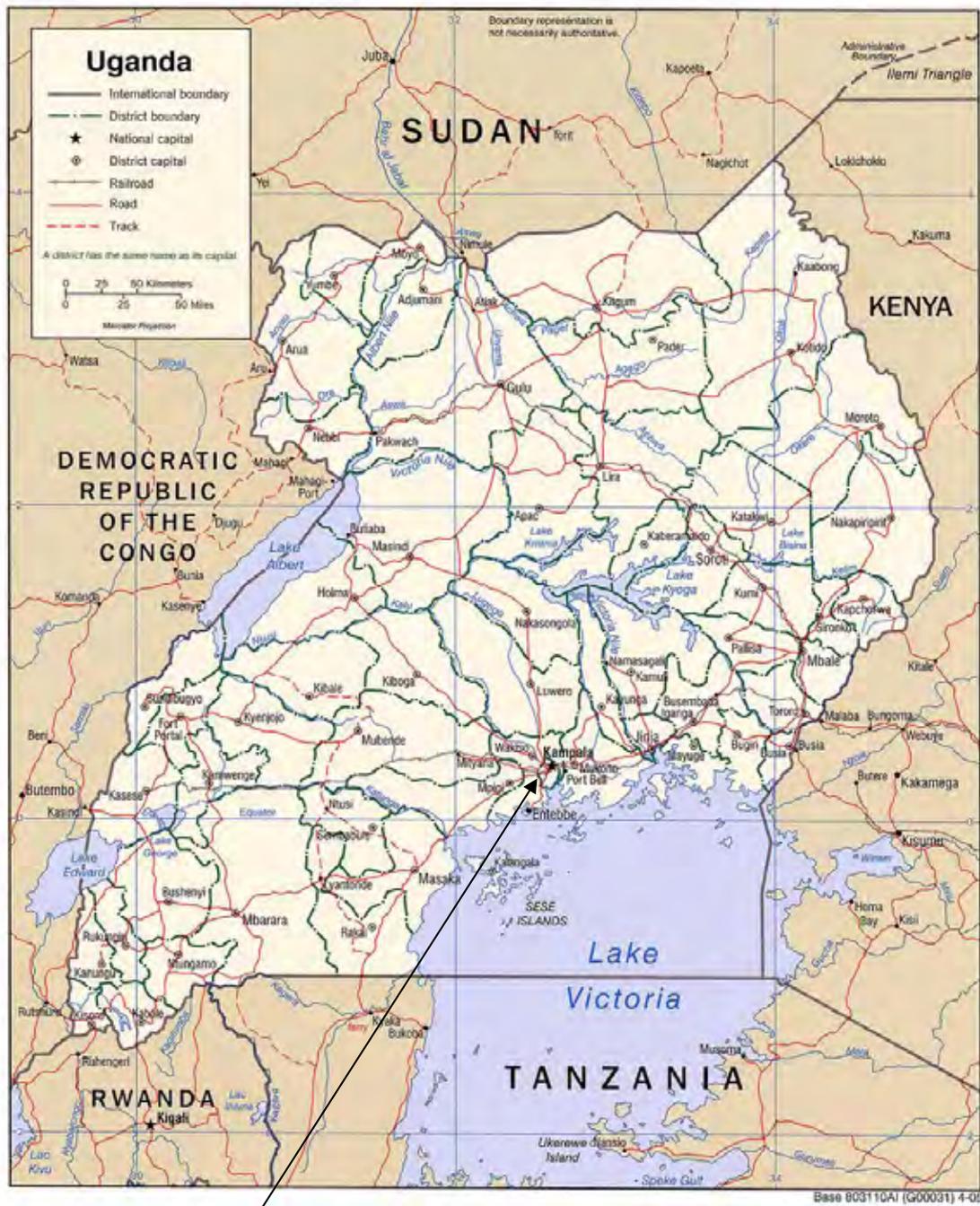
この報告書は、プロジェクト前半に実施された活動に関するレビューと今後のプロジェクトの展開について取りまとめたものです。

本プロジェクトにご協力頂いた内外関係者の方々に深く感謝申し上げますとともに、引き続きプロジェクトへの一層のご支援をお願いする次第です。

平成 21 年 5 月

独立行政法人国際協力機構  
人間開発部部長  
西脇 英隆

地 図



ナカワ職業訓練校  
( Nakawa Vocational Training Institute, NVTI )

写 真



ナカワ VTI 管理棟



ナカワ VTI 電子科



ルゴゴ VTI 自動車科



ジンジャ VTI 自動車科



ジンジャ VTI 木工科



ミニッツ署名

## 略 語 表

略語	正式名	日本語
AfDB	African Development Bank	アフリカ開発銀行
ATP	Assessment Training Package	評価訓練パッケージ
BTEB	Business and Technical Examination Board	商業・技術試験委員会
BTVET	Business, Technical Vocational Education and Training	商業・技術・職業教育訓練
CVTI	Certificate in Vocational Training Instruction	職業訓練指導資格
DACUM	Developing a Curriculum	カリキュラム開発
DIT	Directorate of Industrial Training	産業訓練局
DTIM	Diploma in Training Institution Management	訓練機関管理資格(ディプロマ)
DVTI	Diploma in Vocational Training Instruction	職業訓練指導資格(ディプロマ)
ESSP	Education Sector Strategic Plan	教育セクター戦略計画
GTZ	Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit	ドイツ技術協力公社
ITC	Industrial Training Council	産業訓練委員会
MoES	Ministry of Education and Sports	教育・スポーツ省
MT	Master Trainer	マスタートレーナー
OP	Occupational Profile	職業プロフィール
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PEVOT	Promotion of Employment-Oriented Vocational Training	雇用指向型職業訓練促進
PO	Plan of Operation	活動計画
RPL	Recognition of Prior Learning	訓練開始前レベルチェック
TIET	Teacher and Instructor Education and Training	教員・指導員教育訓練局
UNEB	Uganda National Examination Board	ウガンダ国家試験委員会
UPE	Universal Primary Education	初等教育無償化(政策)
VTI	Vocational Training Institute	職業訓練校
UVQF	Uganda Vocational Qualifications Framework	ウガンダ職業資格制度

## 中間レビュー調査結果要約表

1. 案件の概要		
国名：	ウガンダ共和国	案件名：職業訓練指導員養成プロジェクト
分野：	産業・技術・教育職業訓練	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：	人間開発部	協力金額：2.9 億円
		相手国実施機関：ナカワ職業訓練校（NVTI）
協力期間：	(R/D)： 2007 年 5 月 31 日	日本側協力機関：厚生労働省、独立行政法人雇用・能力開発機構
	3 年 3 カ月 (2007 年 6 月～2010 年 8 月)	他の関連協力：ナカワ NVTI (1997～2004 年) 職業訓練指導員研修プロジェクト (2004～2007 年)
<p>1 - 1 協力の背景と概要</p> <p>ウガンダ共和国は、教育セクター戦略計画（ESSP 2004-2015）において、初等教育以降のポストプライマリー教育における教員・指導員の能力強化の重要性を強調している。これは、1997 年に導入された初等教育無償化（UPE）政策のもとで、今後、初等教育の修了者が大幅に増加し、商業・技術・職業教育訓練（BTJET）機関を含む、ポストプライマリー教育機関に進む生徒が増加することが予測されるためである。</p> <p>しかしながらウガンダの BTJET セクターでは、指導員の多くが十分な資格や技術を有していない状況にあるため、現在導入が進められているウガンダ職業資格制度（UVQF）の包括的枠組みのもと、新しい指導員・管理者資格を導入し、適切な訓練により、指導員や管理者の能力向上を図り、BTJET セクター全体の質の向上を進めることが検討されている。</p> <p>近年の当該セクターにおいては、我が国がナカワ職業訓練校（VTI）に対して 1997 年から無償資金協力や技術協力を実施し、同校は後期中等教育レベルの訓練校として、質の高い教育・訓練を実施する組織能力を獲得している。このような状況のもと、ウガンダ政府はナカワ VTI を活用した指導員養成への協力を我が国に要請してきた。</p>		
<p>1 - 2 協力内容</p> <p>1 - 2 - 1 上位目標</p> <p>ウガンダ国内の VTI が、知識・技術の両面において、より質の高い指導員、管理者を擁する。</p> <p>1 - 2 - 2 プロジェクト目標</p> <p>ナカワ VTI における指導員・管理者訓練システムの基盤が構築される。</p> <p>1 - 2 - 3 成果</p> <p>成果 1：新たな資格制度のコンセプトが構築される。</p> <p>成果 2：指導員訓練サイクルが確立する。</p> <p>成果 3：管理者訓練サイクルが確立する。</p>		

## 1 - 3 投入

### 1) 日本側

#### 1. 専門家派遣（40MM 程度）

派遣分野：プロジェクトマネジメント / 業務調整、資格制度整備、訓練計画・モニタリング等

#### 2. 供与機材

ナカワ VTI に対し、自動車、電気・電子、金属加工の 3 分野の指導員訓練に必要な機材や教材の作成・管理等に必要となる各科共通のパソコンやネットワーク関連機器

#### 3. 研修員受入

受入分野：マスタートレーナー2 養成（指導員訓練向け）計 8 名

マスタートレーナー養成（管理者向け）計 2 名

#### 4. 現地活動費

広報経費、ナカワ VTI 宿泊棟補修費用、訓練実習用消耗資材、等

### 2) ウガンダ側

#### 1. 人材

1-1. プロジェクトディレクター：教育・スポーツ省教員・指導員教育訓練局長（Commissioner of TIET, Ministry of Education and Sports）

1-2. プロジェクトマネージャー：ナカワ職業訓練校校長（Principal of Nakawa VTI）

1-3. プロジェクトカウンターパート

副校長（Deputy Principals of Nakawa VTI）

訓練管理者（Training Managers of Nakawa VTI）

指導員（Instructors of Nakawa VTI）

#### 2. プロジェクト運営費

訓練実施経費、関連職員給与・手当、等

#### 3. 施設運営・管理

日本人専門家執務室、訓練実施用ワークショップ・教室、等

## 2 . 評価調査団員の概要

調査者	総括	吉川 正宏	JICA 人間開発部高等・技術教育課課長
	職業訓練	古田 光則	雇用・能力開発機構企画部企画課課長補佐
	協力企画	安藤 朋	JICA 人間開発部高等・技術教育課
	評価分析	永井 清志	株式会社コーエイ総合研究所
調査期間	2009 年 2 月 11 日～2009 年 2 月 28 日		評価の種類：中間レビュー

## 3 . 評価結果の概要

### 3 - 1 実績の確認

#### (1) プロジェクトの成果

(成果 1) 新たな資格制度のコンセプトが構築される。

プロジェクトが提案する新資格のコンセプトペーパーが専門家の支援により作成され、教育・スポーツ省（MoES）の意向を確認するために提出されている。今後、ウガンダ側関係者の見解を受けて、UVQF 制度と整合性を持つ正式な資格制度として承認されることが必要である。

(成果2) 指導員訓練サイクルが確立する。

プロジェクトが実施する指導員訓練は実施中であり、サイクルが完了したものはまだ出ていない。これまで本邦研修でのマスタートレーナー2 (MT2) の訓練、ナカワ VTI での職業訓練指導資格 (CVTI) 訓練が1サイクル終了しており、今後マスタートレーナー1 (MT1) の訓練とナカワ VTI での CVTI 訓練の応用訓練が終了した段階で、そのサイクルを評価し、必要であれば修正を行い、プロジェクト終了までにその確立を達成する計画となっている。

(成果3) 管理者訓練サイクルが確立する。

プロジェクトが実施する管理者訓練は、現時点では本邦研修によるマスタートレーナー (MT) 2 名の訓練が終了しているのみであり、いまだ管理者訓練自体の実施に至っていない。今後、マスタートレーナーをさらに2名本邦研修で養成し、管理者訓練の実施も行い、そのサイクルを評価し、必要であれば修正を行い、プロジェクト終了までにその確立を達成する計画となっている。

## (2) プロジェクト目標

ナカワ VTI における指導員・管理者養成システムは、新資格制度のコンセプト作成、選定された4つの訓練分野の指導員訓練、職業訓練機関の管理者訓練のそれぞれに関係する活動を進めるなかで、徐々にその基盤構築が進んでいる。訓練機材調達の遅れ等による影響についても、それに対応すべく修正した活動計画 (P0) に沿って進めることにより、プロジェクト目標の達成を大きく妨げることはないと予想される。

また本プロジェクトに対するウガンダ側の MoES の理解と期待は高く、今次調査時点においては、プロジェクト活動によって構築されるナカワ VTI での訓練システムが MoES に承認されることに障害はないものと考えられる。

## (3) 上位目標

現時点で上位目標の達成見込みを評価することは時期尚早であるが、プロジェクト目標が達成された上で、さらに上位目標が達成されるためには、現在のナカワ VTI のキャパシティを考慮すると、ナカワ VTI にて構築された訓練システムを他の VTI 等の訓練機関で展開することが必要である。現時点ではアフリカ開発銀行 (AfDB) プロジェクトの支援対象であるジンジャ VTI の活用が有望視されており、これが実現すれば上位目標の達成の見込みは十分に高いと考えられる。

## 3 - 2 評価結果の要約

### (1) 妥当性

ウガンダの訓練指導員の能力向上は、BTVET セクターで優先度の高い課題の一つであり、本プロジェクトで指導員訓練を UVQF 制度に沿って開発することは、同国の人的資源開発に大きく貢献するものと考えられる。また、ナカワ VTI は、過去の我が国の支援の結果として施設設備面と人的資源面において他の類似機関に比して高い訓練実施能力を持つ。よって、目標と手段とも高い妥当性を持つと判断できる。

### (2) 有効性

UVQF 制度は現在その導入が進められている過程にあり、プロジェクトで実施する指導員・管理者訓練が同制度上で認定を受けるにはまだ時間はかかるが、UVQF が近い将来 BTVET セクターの基準となることを考慮すれば、今から訓練をこれに対応させることは適切である。指標の見直しと活動に若干の遅れがあったものの、プロジェクト設計の全体像に変更はなく、プロジェクトの有効性はプロジェクト開始当時と同様に適切である。

### (3) 効率性

専門家の派遣や訓練機材の調達といった投入に遅延が発生し、影響を受ける活動を遅らせる等スケジュールの修正が行われた。また UVQF 制度で訓練が認定されるためには、評価訓練パッケージ (ATP) の 3 点セットである職業プロファイル (OP)、訓練モジュール・カリキュラム (Modular Curriculum)、評価方法 (Assessment Instrument) の整備が条件であり、カリキュラムのみではなく OP と評価方法の整備は、本初のプロジェクト活動には全く含まれてはいないが、これらの作成についても何らかの支援が必要になる可能性もある。

訓練の実施体制については、ナカワ VTI だけでは効率的な指導員訓練実施に限界があるため、プロジェクトで確立される指導員訓練と管理者訓練を、AfDB 支援で実施能力改善が期待されるジンジャ VTI に展開する方向で検討することが必要である。

いくつかの課題はあるが、既存のリソースを十分に活用し、プロジェクトによる投入を最大限に活かすように活動が展開されており、効率性はやや高いといえる。

### (4) インパクト

上位目標達成の見込みの評価をすることは時期尚早である。上位目標で述べられている CVTI 訓練と管理者訓練の量的 (人数) 達成は、ナカワ VTI 以外の職業訓練機関での実施やナカワ VTI での受講人数増加の検討が必要である。将来的にインパクトを検証するためには、訓練を受けた指導員と管理者のその後の動向を追跡調査することが必要である。

上記を含め、課題はあるものの、他ドナー支援との連携によるインパクトも十分に有り得ると考えられ、これが実現すればプロジェクトのインパクトは高いものになると予想される。

### (5) 自立発展性

プロジェクト活動半ばの時点で自立発展性を評価することは時期尚早ではあるが、訓練の公的な位置づけを担う UVQF の早期の正規運用開始が望まれる。また財政的な自立発展性を保障するため、MoES が CVTI 訓練を実施するための独自の予算を恒常的に確保することも必要である。

一方で、ナカワ VTI への技術移転は、日々のプロジェクト活動において、着実に進んでいる。加えて産業訓練局 (DIT) が UVQF 運用主体として機能するようになれば、実施機関としての自立発展性は十分に高いと思われる。

以上のように、課題もあるが、これまでの活動の成果も見えてきており、総合的な自立発展性については、現時点では判断できない。

### 3 - 3 効果発現に対する貢献要因

本プロジェクトでの効果発現に貢献している要因としては、次の点があげられる。

- ・ 過去のナカワ VTI への支援の貢献もあり、カウンターパートと JICA 専門家との信頼関係が構築されており、協働して効果的にプロジェクト活動に取り組んでいること。
- ・ 同様に過去の支援の結果として、ナカワ VTI の施設設備面と人的資源面において訓練実施能力が高いこと。

### 3 - 4 問題を惹起し得る阻害要因

- ・ プロジェクトで実施する訓練の ATP の作成が必要であるが、カリキュラム開発 (DACUM) 手法を採用しているため、OP や評価方法等を作成するにあたり、ワークショップを開催する必要がある。プロジェクトがこれを企画運営すること、さらに MoES によるワークショップ費用の負担が必要である。
- ・ BTNET 法が法制度化されたものの、実施規則 (regulation) の承認の時期がまだ明らかでなく、法そのものが実効力を持たない。このため同法に基づいた UVQF の運用も、その時期と具体的な手続きについて明確ではない。今後 BTNET 法と UVQF 制度の施行・運用に問題が発生した場合、プロジェクトの受ける障害は非常に大きいと考えられる。
- ・ プロジェクトが導入する訓練の実施機関がナカワ VTI のみに限られる場合、その実施回数と受講人数に制限が生じる。特にプロジェクト完了後を見据えて、他の VTI での実施の可能性を追求することが必要で、これが困難な場合、プロジェクト活動の将来のインパクトも限られたものになってしまうことが危惧される。

### 3 - 5 結論

訓練機材の調達や短期専門家の派遣の遅れに対応するため、プロジェクトの PO が修正されているが、カウンターパートの協力と JICA 専門家の尽力により、プロジェクト活動は基本的に円滑に進められている。今次調査の時点では、プロジェクトによって導入される新資格の認定手続きはいまだ準備段階ではあるが、今後公式に認定されるものと考えてよい。新資格の MoES による正式な認定は、プロジェクトの成否にかかわる本質的な課題であり、そのためには UVQF 制度の早期の運用に向けて、ウガンダ側関係者のさらなる努力が求められる。

### 3 - 6 提言

本プロジェクトによる効果発現のために、以下のとおり提言する。

- ・ 自立発展性を保障するためには、今後 MoES による指導員・管理者訓練の費用の予算確保が必要である。
- ・ 新資格のウガンダにおける位置づけを確固なものにするためには、組織改変後の DIT による、UVQF 制度の早期の運用開始が必要である。
- ・ プロジェクト終了後の新資格訓練制度の定着のためには、特に指導員訓練に従事する指導員養成訓練の指導員資格 (MT2) の付与の条件を検討し決定することが必要である。
- ・ ドイツ技術協力公社 (GTZ) や AfDB をはじめとした他の援助機関との情報共有や連携についても、本プロジェクトの成果を効果的に活用していくためには重要である。
- ・ 新資格のための訓練の期間については、ウガンダでの一般的な認識から 9 カ月としているが、これ

は決して短い期間とはいえ、訓練受講生の所属する職業訓練機関等関係者への負担が大きいことも事実であるため、これに対する支援が必要である。

- ・ 新たに導入される UVQF 制度においては、ATP の作成が義務づけられる予定であり、MoES がプロジェクトで実施する訓練に関する ATP 作成のための予算を確保することが必要である。

### 3 - 7 教訓

職業訓練分野の支援においては、当該国の正規の資格制度上における訓練資格の位置づけが重要となる。プロジェクト活動の検討の際には、訓練サイクル確立に関する活動に加えて、資格制度上との整合性に関する働きかけを一つの活動項目として明示し、必要であればその担当専門家を配置することも検討する必要があると考えられる。

# 目 次

序 文  
地 図  
写 真  
略語表  
中間レビュー結果要約表  
目 次

第1章 調査の概要.....	- 1 -
1 - 1 調査団派遣の経緯要.....	- 1 -
1 - 2 調査団派遣の目的.....	- 1 -
1 - 3 調査日程.....	- 1 -
1 - 4 調査団の構成.....	- 2 -
1 - 5 主要協議関係者・面談者一覧.....	- 2 -
第2章 評価調査の方法.....	- 4 -
2 - 1 評価調査の手法.....	- 4 -
2 - 2 主な調査項目とデータ収集方法.....	- 4 -
第3章 プロジェクトを取り巻く環境.....	- 5 -
3 - 1 MoES の組織改編.....	- 5 -
3 - 1 - 1 DIT の機能.....	- 5 -
3 - 1 - 2 ITC の機能.....	- 5 -
3 - 2 UVQF の状況.....	- 6 -
3 - 2 - 1 主な取り組み.....	- 6 -
3 - 2 - 2 プロジェクト活動に関する UVQF の進捗状況.....	- 6 -
3 - 3 他ドナーの援助動向.....	- 7 -
3 - 3 - 1 GTZ.....	- 7 -
3 - 3 - 2 AfDB.....	- 7 -
3 - 3 - 3 世界銀行.....	- 8 -
第4章 実績・成果と実施プロセスの調査結果.....	- 9 -
4 - 1 投入実績.....	- 9 -
4 - 1 - 1 日本側の投入.....	- 9 -
4 - 1 - 2 ウガンダ側の投入.....	- 9 -
4 - 2 活動実績.....	- 10 -
4 - 3 成果達成状況.....	- 11 -
4 - 3 - 1 成果 1.....	- 11 -
4 - 3 - 2 成果 2.....	- 11 -
4 - 3 - 3 成果 3.....	- 14 -
4 - 4 プロジェクト目標と上位目標達成見込み.....	- 15 -

4 - 4 - 1	プロジェクト目標達成の見込み.....	- 15 -
4 - 4 - 2	上位目標達成の見込み.....	- 15 -
4 - 5	実施プロセス.....	- 15 -
4 - 5 - 1	活動状況.....	- 15 -
4 - 5 - 2	プロジェクト運営.....	- 15 -
第5章	評価5項目による評価結果.....	- 16 -
5 - 1	妥当性.....	- 16 -
5 - 2	有効性.....	- 17 -
5 - 3	効率性.....	- 17 -
5 - 4	インパクト.....	- 18 -
5 - 5	自立発展性.....	- 18 -
5 - 6	結論.....	- 19 -
第6章	PDMとPOの改訂.....	- 20 -
6 - 1	PO.....	- 20 -
6 - 2	PDM.....	- 20 -
第7章	提言と教訓.....	- 23 -
7 - 1	提言.....	- 23 -
7 - 2	教訓.....	- 24 -
添付資料	.....	- 27 -
1	調査日程.....	- 29 -
2	ミニッツ.....	- 30 -
3	実績・実施プロセス調査結果.....	- 68 -
4	5項目に基づく評価結果.....	- 74 -
5	教育・スポーツ省組織図.....	- 81 -
6	ナカワVTI組織図.....	- 82 -
7	投入計画・実績一覧.....	- 83 -
8	機材リスト.....	- 84 -
9	ウガンダ技術教育・職業訓練制度.....	- 99 -

## 第1章 調査の概要

### 1-1 調査団派遣の経緯

ウガンダ共和国は、教育セクター戦略計画（Education Sector Strategic Plan:ESSP2004-2015）において、初等教育以降のポストプライマリー教育における教員・指導員的能力強化の重要性を強調している。

ウガンダの商業・技術・職業教育訓練（Business, Technical Vocational Education and Training:BTVET）セクターでは、職業全般を包括する職業資格制度（Uganda Vocational Qualifications Framework:UVQF）の導入により、効果的な教育・訓練を行うための取り組みが進められており、UVQFの枠組みに準拠した指導員が必要となっている一方、同国の指導員の多くは十分な資格や技術を有していない状況である。

我が国は、ナカワ職業訓練校（Universal Primary Education:VTI）に対して、1997年から無償資金協力や技術協力を実施し、同校は国内でも中核的な訓練校となった。また、同校は前プロジェクト（ウガンダ職業訓練指導員研修プロジェクト）で実施した指導員再訓練を通じて、国内や東アフリカ周辺国へ貢献可能なキャパシティを確立している。このような背景から、ナカワVTIを活用して、新しい資格制度の下で適切な教育・訓練を行うことができる指導員養成を目的としたプロジェクトが2005年にウガンダ側より要請された。

JICAは2006年4月から8月にかけて、共にウガンダの指導員養成に協力予定のドイツ技術協力公社（Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit:GTZ）と合同で職業訓練指導員養成に関するニーズ調査やワークショップを実施し、ウガンダにおける今後の指導員訓練の方向性について検討を進めた（第一次事前評価調査）。また、2007年1月には第二次事前評価調査団を派遣し、具体的な協力内容に関する協議を行った。以降、最終的なプロジェクトの実施やウガンダ側のプロジェクト実施体制について再確認を行い、2007年5月31日に討議議事録の署名に至った。

2007年6月から3年3カ月の計画で開始され、プロジェクト期間の約半分が経過するところ、これまでの実績や進捗を確認し、今後の活動計画について協議するため、中間レビュー調査団を派遣することとした。

### 1-2 調査団派遣の目的

- (1) これまで実施した協力活動について本初計画に照らし、投入実績、活動実績、計画達成度を確認し、問題点を整理する。
- (2) 計画達成度を踏まえ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から、プロジェクトチーム、ウガンダ側関係機関と共に、プロジェクトの中間レビューを行う。
- (3) プロジェクトの直面している課題や今後の活動計画についてプロジェクトチームやウガンダ側関係機関と協議し、中長期的な提言を行う。
- (4) 評価・協議結果を双方の合意事項としてミニッツに取りまとめる。

### 1-3 調査日程

添付資料1のとおり。

1 - 4 調査団の構成

吉川 正宏	団長	JICA 人間開発部 高等・技術教育課 課長
古田 光則	職業訓練	独立行政法人雇用・能力開発機構 企画部企画課 課長補佐
安藤 朋	協力企画	JICA 人間開発部 高等・技術教育課
永井 清志	評価分析	株式会社コーエイ総合研究所 コンサルティング第2部 課長

1 - 5 主要協議関係者・面談者一覧

(1) ウガンダ側関係者

組織	氏名	役職
教育・スポーツ省 (MoES)	Mr. Francis X Lubanga	Permanent Secretary
	Dr. Jane Egau Okou	Assistant Commissioner, Department of Teacher and Instructor Education and Training
	Dr. J. G. Mbabazi	Director, Directorate of Higher, Technical and Vocational Education and Training
	Eng. H. F. Okinyal	Director, Directorate of Industrial Training (DIT)
	Mr. Godfrey A. Dhatemwa	Commissioner, Department of Education Planning and Policy Analysis
ナカワ職業訓練校 (VTI)	Mr. Musoke Matovu	Principal
	Mr. Kiwanuka Mukumbi C.	Deputy Principal (Administration)
	Mr. Muwanga F.	Deputy Principal (Training)
	Mr. Oteka Albino	Training Manager
	Mr. Omoo F.	Head of Department, Electronics
	Ms. Asiimwe L.	Head of Department, Electricity
	Mr. Mubiru D.	Head of Department, Motor Vehicle
	Mr. Mafabi Peter	Head of Department, Sheet Metal
	Mr. Mayanja F.	Head of Department, Welding
ドイツ技術協力公社・雇用向け職業訓練プログラム (PEVOT)	Mr. Gunter Schroter	Chief Technical Advisor
	Mr. Detlef Betz	Technical Advisor
	Mr. Israel Katongole	Programme Expert
アフリカ開発銀行・教育プロジェクト 3 (AfDB Education III Project)	Mr. John Omeke	Procurement Specialist
	Mr. Henry Mugerwa	Monitoring and Evaluation Specialist
チャンボゴ大学	Dr. Andrew Anthony Cula	Academic Registrar

( 2 ) 日本側関係者

組織	氏名	役職
在ウガンダ日本国大使館	滋賀 正樹	参事官
JICA ウガンダ事務所	関 徹男	所長
	土井 ゆり子	職員
プロジェクト専門家	牧野 丞	プロジェクトマネジメント / 業務調整)
	梅本 清	資格整備支援 / 訓練管理 / 訓練計画 (管理者)

## 第2章 評価調査の方法

### 2-1 評価調査の手法

本プロジェクトの評価調査は、「JICA事業評価ガイドライン（改訂版）- プロジェクト評価の実践的手法」（JICA企画調整部評価管理室編、2004年）に基づき、プロジェクトの実績や実施プロセスを取りまとめ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から、評価を行った。

評価5項目の内容は下のとおり。

**妥当性**： プロジェクト目標や上位目標が相手国政府の開発政策、受益者のニーズ、我が国の援助方針に合致しているかどうかを判断する。上位目標、プロジェクト目標、成果（アウトプット）、投入の相互関連性に整合性があるかを判断する。

**有効性**： 成果やプロジェクト目標の現時点での達成状況、プロジェクト終了時での達成見込み、そして成果の達成がプロジェクト目標の達成に貢献しているかどうかを判断する。

**効率性**： 投入の時期、質、量等により、成果にどのような影響を与えたか、投入は成果の達成のために貢献しているか、投入に過不足はなかったかを判断する。

**インパクト**： プロジェクト実施によってもたらされる、より長期的、間接的効果や波及効果をみるものであり、プロジェクト計画時に予期された、あるいは予期されなかったプラスあるいはマイナスの波及効果を評価する。

**自立発展性**： 組織制度面、財政面、技術面から、協力終了後も当該国によってプロジェクトの成果が継続して維持、発展する見込みがあるかどうかを判断する。

### 2-2 主な調査項目とデータ収集方法

調査項目は、2007年5月に合意されたプロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix: PDM）のプロジェクト目標、成果に対応する各指標が主に選定された。

データ収集方法として、関係者へのインタビュー調査、報告書等の資料分析を行った。インタビューは、カウンターパート、専門家を中心に行った。また、資料分析としてプロジェクト報告書等をもとに、プロジェクトの実績を整理した。

## 第3章 プロジェクトを取り巻く環境

### 3 - 1 MoES の組織改編

ウガンダにおいては、1998 年に行政改革の一環で職業訓練が教育のカテゴリーとして取り扱われることとなり、労働社会福祉省から教育・スポーツ省 (Ministry of Education and Sports: MoES) へ移管されたが、指導員制度や職業訓練分野についての改革・改善については大きく進まずにいた。

2002 年に実施された BTVET セクター調査 (BTVET Sector Study) が発端となり、この調査の結果、BTVET 改革が推進されてきた。MoES の組織改編はその改革の一環に相当する。

2008 年 7 月に新商業・技術・職業教育訓練法 (The Business, Technical, Vocational Education and Training ACT, 2008: New BTVET ACT) が法制化され、2008 年 8 月には新教育法 (The Education Act (Pre-primary, Primary and Post-primary), 2008: New Education ACT) が法制化され、本格的な改革の動きが見られる。しかしながら、各部署が具体的に何をすべきかという詳細については検討段階にあり、各関係者がそれぞれ協議しながら業務を進めている状況にある。なお、本初カウンターパート機関であった BTVET 局はなくなり、改編以降は教員・指導員教育訓練局 (Department of Teacher and Instructor Education and Training: TIET) の傘下に置かれている。MoES 組織図については添付資料 5 を参照のこと。

#### 3 - 1 - 1 DIT の機能

UVQF 事務局はなくなり、UVQF 事務局の所掌業務は産業訓練局 (Directorate of Industrial Training: DIT) に統合され、以下の機能を担っている。現在職員が不足しているということだったが、今後職員増員による組織強化については、実際に予算や適切な人材が確保され、人件費と活動費が適切に執行されるかを見守る必要がある。

- ( 1 ) To identify the needs of the labour market for occupational competencies that fall under the Uganda Vocational Qualification Framework (UVQF).
- ( 2 ) To regulate apprenticeship schemes.
- ( 3 ) To foster and promote entrepreneurial values and skills, as an integral part of the UVQF.
- ( 4 ) To secure adequate and sustainable financing for the efficient operations of the DIT.
- ( 5 ) To accredit training institutions or companies as UVQF assessment centers.
- ( 6 ) To determine the fees payable under BTVET ACT.
- ( 7 ) To develop, apply, expand and improve the purposeful application of Uganda Vocational Qualifications defined in the UVQF.
- ( 8 ) To assess and award Uganda Vocational Qualifications.
- ( 9 ) To promote on-the job training in industry for apprenticeship, traineeship and indenture training and for other training such as further skills training and upgrading.
- ( 10 ) To prescribe the procedure for the making of training schemes.

#### 3 - 1 - 2 ITC の機能

添付資料 5 の組織図には含まれないが、産業訓練委員会 (Industrial Training Council: ITC) は BTVET ACT のなかで DIT の政策立案機関と規定され、以下の機能を担っている。

- ( 1 ) To develop and recommend policies in respect of the DIT and its functions to the Minister.

- ( 2 ) To approve fees determined by DIT under BTVET ACT.
- ( 3 ) To approve the budget and monitor budgetary performance in DIT.
- ( 4 ) To prescribe by statutory rules for the following matters-
  - i. assessment and certification system.
  - ii. accreditation and inspection of assessment centres.
  - iii. promotion of competence based business technical vocational education training.
  - iv. apprenticeship training. And-
- ( 5 ) To carry out any other matter related to business technical vocational education training.

プロジェクト活動を通じて構築されている職業訓練指導資格（Certificate in Vocational Training Instruction: CVTI）、職業訓練指導ディプロマ（Diploma in Vocational Training Instruction: DVTI）、訓練機関管理ディプロマ（Diploma in Training Institution Management: DTIM）は、3資格ともUVQFのフレームワークに基づいているため、今後、UVQFの事務局となるDIT（3-1-1参照）の資格認定に果たす役割は重要である。そのため、それに伴う政策立案機関であるITCの早期立ち上げが望まれるが、組織は改編されたばかりで、業務スタッフの配置はこれからであるため、資格が認定されるかどうか経緯に留意しておく必要がある。

### 3 - 2 UVQF の状況

UVQFは、BTVETセクター改革の一つとして、2003年から導入の検討がされた職業訓練に関する資格制度である。よって、このプロジェクトの指導員資格や管理者の資格整備についてもUVQFに基づき資格整備をせざるを得ない状況であった。我が国の指導員免許にはランク付けはなく、一定の条件を満たせば学歴に関係なく付与されるものであるが、UVQFでは資格と学歴を兼ねたものとなっているため、指導員の資格にレベル付けがされることとなり、我が国の制度とは大きく異なるものとなっている。

プロジェクトがかかわる職業分野に関する資格試験の実施は、UVQFの枠組みの中で新たに設けられた商業・技術試験委員会（Business and Technical Examination Board: BTEB）に移行され、また、既存のウガンダ国家試験委員会（Uganda National Examination Board: UNEB）等が実施している技術試験（Technical Examination）は適宜段階的に廃止されることになっている。

#### 3 - 2 - 1 主な取り組み

職業別に評価訓練パッケージ（Assessment Training Package: ATP）を整備する。ATPは所定の作業を経て整備されるが、以下3つの成果品で構成される。プロジェクト活動内における進捗については後述4-3を参照のこと。

- 職業プロフィール（Occupational Profile: OP）の作成
- 評価方法（Assessment Instrument）の開発
- 訓練モジュール・カリキュラム（Modular Curriculum）の作成

#### 3 - 2 - 2 プロジェクト活動に関するUVQFの進捗状況

プロジェクトを開始した2007年6月時点で、「Instructor（指導員）」と「Training Institution Manager（訓練管理者）」のOPが完成していた。

通常、職業訓練指導員の資格には指導技法と共に技術の習得が必要とされるが、指導技法だけがプロフィールされており、GTZ が指導技法だけの技能向上を目的とした指導員訓練計画を進めていたことから、技術に関するプロフィールを別途整備する必要があった。

2007 年 11 月、CVTI の技術内容を確定することを目的に、カリキュラム開発 ( Developing a Curriculum: DACUM ) 手法に則ったワークショップ ( Workshop ) 開催をプロジェクト支援のもとに実施し、協力対象 4 分野に関する OP ( CVTI ) が完成した。

ただし、UVQF 事務局には開発した OP を認証する権限が与えられておらず、責任の所在を明らかにできないまま現在に至っている。

### 3 - 3 他ドナーの援助動向

#### 3 - 3 - 1 GTZ

1998 年までの GTZ は、ルゴゴ VTI の職業訓練実施体制確立を目的としたプロジェクトを行うとともに、労働社会福祉省に職業訓練政策アドバイザーを派遣して、主に DIT の機能強化支援を行っていた。職業訓練教育が教育・スポーツ省に移管された翌年の 1999 年から、BTVET セクターにおいて PEVOT プロジェクトを推進するとともに、職業訓練アドバイザーを派遣して政策支援を継続しており、現在最終フェーズ ( 第 4 フェーズ ) 実施中である。ドイツ本国の方針に従い、支援を選択・集中する方向にあり、ウガンダでは 水、 エネルギー、 金融の 3 セクターが選定された。PEVOT の最終フェーズが終了する 2011 年に職業訓練分野への本格的な支援からは撤退する様子である。

JICA のプロジェクト活動に直接かかわる GTZ との連携事項には、指導員養成と CVTI 訓練への指導員派遣の 2 つが挙げられる。

これまでに GTZ が行った協力は以下のとおり。

- 指導技法 ( Pedagogy ) に関する Curriculum Guide の作成
- Pedagogy だけを内容とした指導員訓練を実施するためのマスタートレーナー ( Master Trainer: MT ) 15 人の養成を 2008 年 2 月までに完了している。
- 2008 年 4 月から 12 週間 ( 280 時間 ) の訓練期間で、MT による一般訓練を実施済み。この際、MT は専門家の指導と助言を得つつ OJT で最終的に仕上げられたとのこと。
- 訓練修了者に与える資格や今後の訓練実施については、MoES が自ら検討するとのコメントがあり、今後の投入計画はないと思われる。

#### 3 - 3 - 2 AfDB

教育セクタープロジェクト III を実施中である。このプロジェクトは、すべて供与コンポーネントとなっている。中等教育と職業訓練で、施設整備改善、教員・指導員研修、カリキュラム開発の 3 分野での支援を実施しており、職業訓練ではジンジャ VTI とほか 2 つの技術専門校 ( Technical Institute ) が施設整備支援の対象となっている。

ジンジャ VTI については、施設・施工管理コンサルタントが既に選定されており、建築工事の入札等が開始されている。機材についても支援の予定があるが、現時点では MoES から要望機材リストが提出されている段階で、この精査が行われている。アフリカ開発銀行 ( African Development Bank: AfDB ) では、将来的にナカワ VTI のように適切な訓練機材を有する訓練実施機関から機材についての情報収集を行い、ジンジャ VTI に入れる機材の優先度を策定したいということであった。プロジェクト終了後にはナカワ VTI 以外の訓練施設での CVTI 訓練実施を想定しているところ、これに合う

ようなジンジャ VTI の設備改善がなされるよう、AfDB の動向を継続して確認しておく必要がある（7-1 提言を参照）。

### 3 - 3 - 3 世界銀行

BTJET セクター支援を開始する計画があり、最初のコンポーネントである戦略計画( Strategic Plan ) 策定を 1 年あるいはそれ以下の期間で実施する方向にあるということであった。しかしながら、現時点では BTJET 関連部局との協調が見られず、計画局とだけ調整を進めている状態である。

ベルギーがこの世銀プロジェクトに資金拠出を行っており、世銀とベルギーが中心となって進めているが、そこにこれまで職業訓練分野の中心ドナーであった GTZ と JICA が入って議論を開始したところである。今後策定される計画がウガンダの現状に合致したものであるか、JICA プロジェクトの方針と合致するものを今後注視する必要がある。

## 第4章 実績・成果と実施プロセスの調査結果

### 4-1 投入実績

#### 4-1-1 日本側の投入

##### (1) 専門家

プロジェクト開始から評価時点までの日本人専門家の投入実績は以下のとおり。

指導分野	派遣専門家数	合計月数
プロジェクトマネジメント/業務調整	1	21.0
資格整備/本邦研修計画策定(管理者)	1	4.3
本邦研修計画策定(自動車)	1	1.0
本邦研修計画策定(金属加工)	1	1.0
本邦研修計画策定(電気・電子)	1	1.0
資格整備/訓練管理/訓練計画(管理者)	1	6.0
訓練計画(電気・電子)	1	1.5
訓練計画(自動車)	1	1.3
訓練計画(金属加工)	1	1.0
機械修理(金属加工)技術者	1	0.2
合計	10	38.3

##### (2) カウンターパート研修

プロジェクトは、10人のカウンターパートに対して本邦研修(国別研修)を実施した。また、1人が課題別研修「職業能力開発行政セミナー」に参加した。

本邦研修では、自動車、電子、電気、金属加工、管理者の5分野でそれぞれ2人ずつ、計10人に対する研修が実施された。

##### (3) 供与機材

プロジェクト開始時から評価時点までに日本側から投入された機材の金額は、主に訓練機材を中心にして、第1年次に15,696千円、第2年次に19,953千円相当の供与がされている。

##### (4) プロジェクト運営費

我が国が支出したプロジェクト運営費用の投入総額は、プロジェクト開始時から第1年次に5,001千円、第2年次に10,479千円がそれぞれ支出されている。

#### 4-1-2 ウガンダ側の投入

##### (1) カウンターパート配置

プロジェクトディレクターとプロジェクトマネージャーを含むナカワ VTI のスタッフがカウンターパートとして配置されている。

## (2) 施設設備

プロジェクト専門家の活動に必要な事務所スペース等のリソースがナカワ VTI より提供されている。

## (3) プロジェクト運営費

光熱費や水道代等はウガンダ側によって負担されている。しかしながら、CVTI の ATP の Assessment Instruments 開発の予算が確保できていないことから ATP が未整備の状態となっており、CVTI 訓練を修了した指導員にはまだ資格が付与されていない。訓練が修了している CVTI の ATP 完成が優先されるが、DVTI や DTIM についてもいずれ必要となるため、引き続きウガンダ側の予算確保が必要となる。

## 4 - 2 活動実績

本プロジェクトの活動は、一部に遅れがあるものの、PDM に照らして概ね計画通りに行われている。なお、詳細は添付資料 3 を参照のこと。

### (1) 成果 1：新たな資格制度のコンセプトが構築される。

新資格制度の構想については、プロジェクトが提案する新資格についてのコンセプトペーパーは既に作成、提出され、それに基づいて新資格について協議が行われている。プロジェクト目標達成、自立発展性の観点から、コンセプトを評価するだけでなく、実際に運用されるためには正式な承認が必要であるため、引き続き MoES 側の動きを把握する必要がある。

### (2) 成果 2：指導員訓練サイクルが確立する。

VTI 指導員訓練については、指導員訓練ニーズ調査の結果を検討し、MT2 訓練のためのカリキュラム、CVTI 訓練のための OP やカリキュラム、DVTI 訓練のためのカリキュラムが作成されている。DVTI 訓練の OP については、今後作成が必要である。

MT2 について、電子、電気、自動車、金属加工の 4 訓練科目の MT2 本邦研修対象にそれぞれ 2 人ずつ計 8 人が選定され、5 人（電子 2 人、自動車 1 人、金属加工 2 人）が 2008 年 1 月～3 月に、また 3 人（電気 2 人、自動車 1 人）が 2008 年 7 月～10 月に本邦にて研修を受けた。

MT1 訓練は未実施であるが、受講者を 2009 年 4 月に選定、第 1 回 MT1 訓練を 2009 年 7 月からの実施の予定である。

第 1 回 CVTI には 36 人（電子、自動車、金属加工それぞれ 12 人ずつ）、第 2 回 CVTI には 40 人（電子、電気、自動車、金属加工それぞれ 10 人ずつ）が選出された。第 1 回 CVTI 訓練では 36 人中 33 人がナカワ VTI での訓練を修了し応用訓練実施中、第 2 回 CVTI では 40 人がナカワ VTI での訓練を 2009 年 1 月より受講中である。

なお、訓練開始前レベルチェック（Recognition of Prior Learning: RPL）については、その方針、方法を変更し、訓練受講候補者を対象とするのではなく、訓練実施中に受講者のみを対象にし、主に診断的評価を目的として行うことにした。

### (3) 成果 3：管理者訓練サイクルが確立する。

管理者訓練については、管理者訓練ニーズ調査の結果を検討し、管理者訓練のカリキュラムが作成

されている。

管理者訓練の MT として、これまでに 2008 年 9 月から 11 月に 2 人に対して本邦研修を実施した。他の 2 人に対し、2009 年に研修を実施する計画である。

管理者訓練は未実施であるが、受講候補者を 2009 年 4 月に選定し、第 1 回管理者訓練を 2009 年 7 月から実施の予定である。

#### 4 - 3 成果達成状況

##### 4 - 3 - 1 成果 1「新たな資格制度のコンセプトが構築される」

プロジェクトが提案する新資格のコンセプトペーパーは、これまでのニーズ調査と訓練内容の検討協議をもとにして、日本人専門家の支援により作成され、MoES の意向を確認すべく提出された。現在、同ペーパーを MoES が検討している段階であり、コメントや要望等に付いて今後協議を進めることになる。新資格制度は、先に法制度化された BTVET 法、またその下で運用される UVQF 制度との整合性が重要であるため、BTVET 法制度化に関連する実施規則 (regulation) の内容、またそれらを施行する MoES の組織改編後の組織の業務分掌について十分に情報収集を行い、MoES の理解を常に確認しながら作業を進めることが必要である。

また、本プロジェクトの目標を達成するためには、新資格のコンセプトが審査されるだけでなく、自立発展性を保障するためにもプロジェクトが提案する資格制度の承認が必要であると考えられる。

##### 4 - 3 - 2 成果 2「指導員訓練サイクルが確立する」

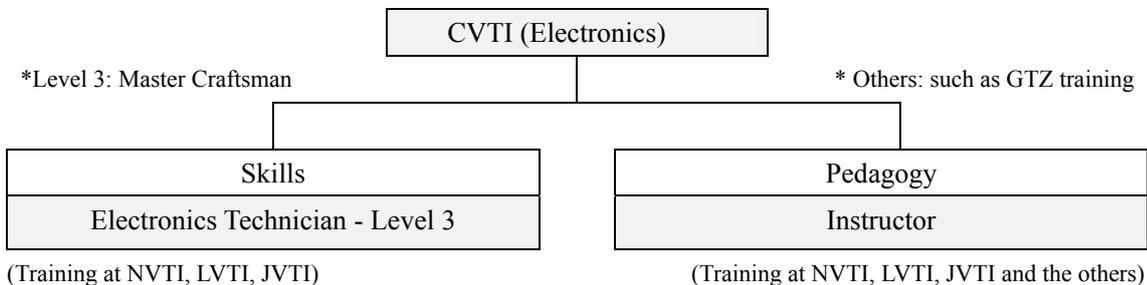
指導員の職業プロフィールは、訓練計画の作成、訓練の実施、訓練生の評価等、指導員として有すべき一般的な「指導技法」(pedagogy) から構成されている。パイロットとして実施している各科の専門技術 (skills) の指導方法については、対象分野ごとに職業プロフィールが作成され、この 2 つのプロフィールを組み合わせることで 1 つの資格とするコンセプト案となっている。

#### ( 1 ) CVTI 資格

CVTI 資格に関するコンセプト

電気科を例として以下のとおり示す。

##### 【Certificate in Vocational Training Instruction (Electronics)】



#### CVTI に関する ATP 作成状況

CVTI に関する ATP 作成状況については、UVQF タスクフォース会議で CVTI 資格を Level-3 (Master Craftsman Level) とすることで合意しているものの、公認されたものではない。

CVTI (Level-3)						
	Skills	Pedagogy	Skills	Pedagogy	Skills	Pedagogy
Title	Occupational Profile		Modular Curriculum (Guideline)		Assessment Instrument	
Electronics Technician (level-3)	(JICA)		(JICA)	(GTZ)	×	×
Master Electrician (level-3)	(JICA)		(JICA)		×	
Motor Vehicle Mechanic (level-3)	(JICA)		(JICA)		×	
Metal Fabricator (level-3)	(JICA)		(JICA)		×	
Instructor						

○: developed, □: not approved, ×: not developed

RPL を実施することで、各訓練コースの参加者が自身のレベルを確認することができ、訓練を提供する側も訓練生の大まかな実力を把握できる。実際の試験で到達すべき最低限のレベル設定がされており、そこに到達できなかった個所については適切な補講が必要となる。この RPL に使われている手法は、独立行政法人雇用・能力開発機構の離職者訓練におけるシステム・ユニット訓練の評価手法に近いものであり、モジュール訓練の評価手法として適切なシステムが構築されたが、今後、訓練の回数を重ねるごとに改善の余地がある。

#### CVTI に関する今後の課題

OP と、プロジェクトが開発したカリキュラムの認定、Assessment Instruments の開発が急がれる。

##### ➤ CVTI 訓練に用いているカリキュラムの認証

ATP の一つである”Guideline for modular training”は、GTZ から派遣されたネパール人専門家が開発支援を行い、Pedagogy に関する”Curriculum Guide”として作成されている。公式に承認される前に、プロジェクトが実施する訓練と食い違いが生じないように内容について関係機関と協議している。

Skills に関する”Guideline”はないが、プロジェクトが開発したカリキュラムの認証を得るため、TIET や DIT に働きかけている。

##### ➤ Assessment Instruments の開発

プロジェクト開始当初、資格整備支援の活動方針を決めるにあたって UVQF 事務局と協議した結果、指導員・管理者の新資格については”Assessment Instruments”が整備されるまでの

暫定的な評価方法を検討するとして回答を得ていたが、BTVET、UVQF 事務局共に UVQF 整備における事実上の権限がなく、権限の所在が明らかにならないまま MoES 改編を迎えた。

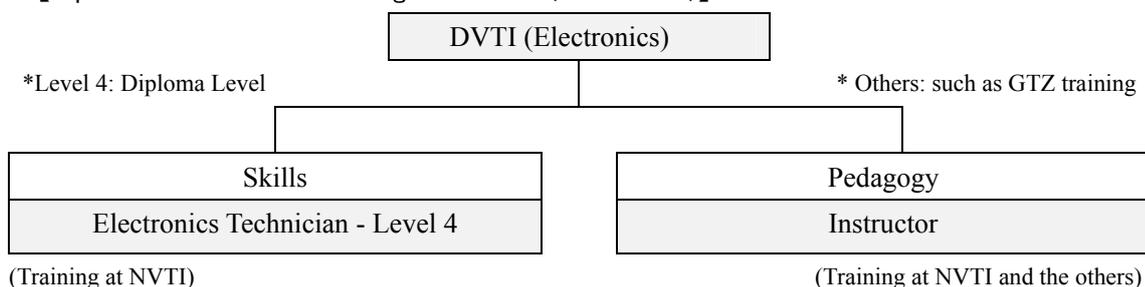
改編後、DIT が資格の認定と付与を行うことが明らかになり、”Assessment Instruments”の迅速な整備が重要となった。現在、CVTI の資格付与に関する手続きの検討を行っている。

## ( 2 ) DVTI 資格

CVTI 資格に係るコンセプト

電気科を例として以下のとおり示す。

### 【Diploma in Vocational Training Instruction (Electronics)】



### DVTI に関する ATP 作成状況

DVTI に関する ATP 作成についての具体的な協議は行われていないが、CVTI 資格を Level-3 (Master Craftsman Level) と設定すると、DVTI 資格はその 1 つ上のレベルである Level-4 (Diploma Level) としなければならない。

DVTI (Level-4)						
	Skills	Pedagogy	Skills	Pedagogy	Skills	Pedagogy
Title	Occupational Profile		Modular Curriculum (Guideline)		Assessment Instrument	
Electronics Technician (level-4)	×		(JICA)	(GTZ)	×	×
Master Electrician (level-4)	×		(JICA)			
Motor Vehicle Mechanic (level-4)	×		(JICA)			
Metal Fabricator (level-4)	×		(JICA)			
Instructor						

○: developed, □: not approved, ×: not developed

### DVTI に関する今後の課題

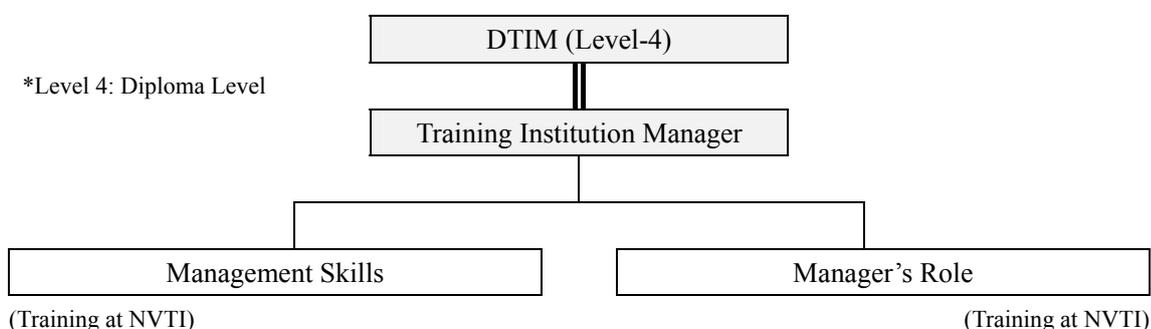
訓練を実施する 4 分野の Skills に関する Level-4 の OP を作成する必要がある。プロジェクトが開発した DVTI に関する カリキュラムの認定と Assessment Instruments の開発も急がれる。

CVTI が UVQF において Level-3 であるのに対し、DVTI は Level-4 となるため、各コースの Skills における明確なレベル分けと項目出しの作業が必要となる。UVQF におけるレベル分けは、雇用・能力開発機構が開発した「生涯職業能力開発体系」で示される「仕事の種類」と「仕事のレベル」をマトリックス化したものに相当するものと考えられるため、今後の職種ごとのレベル分けをする上で参考になるものである。

### 4 - 3 - 3 成果 3「管理者訓練サイクルが確立する」

#### ( 1 ) DTIM 資格に関するコンセプト

管理者資格である DTIM の資格に関するコンセプトは以下のとおりとなっている。



#### ( 2 ) DTIM に関する ATP 作成状況

具体的な協議は実施されていないが、管理者の資格を Diploma-Level として計画を立てている。

DTIM (Level-4)			
Title	Occupational Profile	Modular Curriculum (Guideline)	Assessment Instrument
Training Institution Manager			×

○: developed, □: not approved, ×: not developed

#### ( 3 ) DTIM に関する今後の課題

OP とプロジェクトが開発した DTIM に関するカリキュラムの認定、Assessment Instruments の開発が急務である。

また、第 2 回の MT 養成の本邦研修が予定されているため、本邦での実施に向けた準備が必要となっている。

#### 4 - 4 プロジェクト目標と上位目標の達成見込み

##### 4 - 4 - 1 プロジェクト目標達成の見込み

プロジェクト目標「ナカワ職業訓練校における指導員・管理者訓練システムの基盤が構築される」

修了した訓練がまだないため、訓練システムの構築度合いを評価することは時期尚早であるが、ナカワ VTI 実施分の訓練に対しては受講した指導員の満足度が高く、MoES も現在実施している訓練システムを将来的には正式なものとして認証する方針である旨、確認された。応用訓練(所属している訓練校に戻ってからの訓練)のあり方がまだ固まっていないため、今後どのような体制でフォローアップを実施し、訓練システムとして組み入れていくべきか細かく検討する必要がある。

##### 4 - 4 - 2 上位目標達成の見込み

上位目標「ウガンダ国内の職業訓練校が、知識・技術の両面において、より質の高い指導員、管理者を擁する」

UVQF の枠組み自体は BTVET 法の下で正式なものとして認められているが、まだ具体的に運用できるレベルにはない。このような状況下に、指導員・管理者資格の正式認可を見据えて訓練を実施しているが、まだ訓練は修了していない。

今後は引き続きプロジェクトで実施している訓練が最終的に CVTI、DVTI、DTIM として正式に認証されるように MoES に働きかけるとともに、将来的にナカワ VTI 以外で指導員訓練が実施できる施設についても見込みを立てておく必要がある。

#### 4 - 5 実施プロセス

##### 4 - 5 - 1 活動状況

プロジェクト活動のデザインには、新たな資格制度のコンセプトの構築、指導員・管理者の訓練サイクルの確立が含まれている。

新たな資格制度のコンセプトについては、既に案が作成され、UVQF タスクフォースに対して提出され、現在関係者からの意見を待っている状態である。

指導員・管理者の訓練サイクルについては、実施スケジュールに変更が生じている。現段階では、第 1 回 CVTI 訓練のナカワ VTI での講義実習が終了し、第 2 回 CVTI 訓練が 2009 年 1 月より開始されているが、CVTI の MT1 や管理者訓練の MT 養成訓練はまだ開始されてはならず、現在次回の参加者の受入準備を進めている。

訓練サイクル自体は、提案された新資格制度のコンセプトに基づいてプロジェクト活動を進めるなかで徐々に定着しつつある。しかしながら、現時点でプロジェクトが実施する訓練を修了した指導員と管理者に対しての資格認定についての扱いが公的には明確にされておらず、実際の運用については不明瞭な状況である。

##### 4 - 5 - 2 プロジェクト運営

プロジェクト活動そのものはウガンダ側と日本側双方の関係者の良好な関係により、効率的に運営されている。双方とも状況に応じて柔軟な対応を取るよう、十分な努力をしていると思われる。訓練スケジュールの変更についても、さまざまな状況を勘案した上で最善の結果につながるよう柔軟に対応している。

## 第5章 評価5項目による評価結果

前述の「JICA 事業評価ガイドライン（改訂版）- プロジェクト評価の実践的手法」に基づき、実績と実施プロセスの調査結果を精査・分析し、5項目別に評価を実施した。各評価結果概要は以下のとおりである。調査項目ごとの詳細については添付資料4を参照のこと。

### 5 - 1 妥当性

#### （1）国家開発政策上の妥当性

ウガンダは、2004年から2008年までの期間を対象とした開発計画の貧困撲滅行動計画（PEAP: Poverty Eradication Action Plan）を実施してきた。2008年6月でその実施期間を終え、現在その結果のレビューの段階にあり、そのレビュー結果を受けて後継の国家開発計画（National Development Plan）を策定中である。前開発計画のタイトルでもある「貧困削減」はある程度達成されたことがレビューから検証され、後継開発計画はさらに積極的に「国家開発」の方向性を打ち出すものになる予定である。ウガンダの国家開発においても産業開発が重要であり、それを支える人的資源開発の中心となる職業訓練の優先度が高くなることはほぼ確実と考えられる。この状況下、本プロジェクトの国家開発における位置もより重要になってくると思われる。

我が国のウガンダに対する援助方針は、前述の新たな国家開発計画を支援することを意識して当該計画が発表された後に策定されるとのことであり、職業訓練支援もその方針に沿うことになると考えられる。

#### （2）プロジェクトアプローチの妥当性

ウガンダの公立VTIも含めた職業訓練機関では、4,000人から5,000人の指導員が訓練を実施していると考えられ、その多くは指導員としての能力が十分でないとされている。これに対応するためには、カスケード方式でMTを養成し、指導員訓練を繰り返し実施する方法は妥当であると考えられる。

#### （3）実施機関選定の妥当性

ナカワVTIには、1990年代より無償資金協力やプロジェクト方式技術協力による支援を行っており、その結果として施設設備面と訓練運営にかかわる管理者・指導員といった人的資源面の双方で、実施能力が強化されてきている。これを考慮すると、ナカワVTIを本プロジェクトの指導員・管理者訓練実施機関とすることが妥当であると考えられる。

#### （4）ウガンダ社会の状況との妥当性

ウガンダ社会は着実に近代化が進んでおり、これまでの農業優位の産業活動から徐々に製造業の発展に移っている。この状況において、製造業に資する人材育成分野として、電子、電気、金属加工の訓練科目をプロジェクトにて支援することは妥当であると考えられる。ウガンダにおける自動車社会化も特に都市部では顕著であり、自動車整備のニーズは明らかに高いことから、その分野への支援も妥当である。

#### (5) 我が国の技術支援の妥当性

我が国は、第2次世界戦敗戦後、製造業の開発により工業国として発展してきた経験を有しており、発展段階における産業発展に資する労働力供給のための人材育成にも多くの知見を有する。これを現在のウガンダの開発支援に応用することは妥当と考えられる。

以上のことから、ナカワ VTI の設備と人材を活用し、また本邦研修と機材供与によるさらなる強化の上で、これを基盤とした指導員・管理者訓練を行うことは、ウガンダの優先度の高さも考慮すると、妥当なプロジェクト設計であると考えられる。

#### 5 - 2 有効性

短期専門家の派遣と供与する訓練機材の調達の時期に遅れが生じており、それに合わせてスケジュール等に変更が加わったが、プロジェクトの基本的な枠組みに変更はない。PDM の指標も現状に合致した形で修正が加わった。

UVQF 制度の実際の運用は、その開始時期と具体的な方法が明確でない状況であり、プロジェクト成果である訓練制度の UVQF における位置づけが目標達成の重要なポイントとなる。UVQF 制度は、現在その導入が進められている過程にあり、プロジェクトが提案、実施している訓練についても、その資格制度上で正規の認定を受けるにはまだ時間がかかると見込まれるものの、現時点では大きな障害は予想されてはいない。DIT が本格的に機能し始めた段階で、資格認定についても状況が明らかになると考えられる。

また GTZ による PEVOT プロジェクトが支援する指導法研修との整合性は、GTZ、MoES との3者を交えたタスクフォースによって定期的に情報共有を行ったり、整合性について調整したりされているため、プロジェクト活動はプロジェクト目標達成に有効であると考えられる。引き続き GTZ との効率的な連携のため、タスクフォースの活動を続けることが求められる。

以上のとおり、指標の設定や活動の時期等に変更があったものの、プロジェクト設計の全体像に変更はなく、現時点でプロジェクトの有効性はプロジェクト開始当時と同様に認められる。

#### 5 - 3 効率性

専門家の派遣や訓練機材の調達といった投入に遅延が発生したため、その影響を受ける活動を遅らせる等のスケジュールの修正が行われた。CVTI 訓練の期間が9カ月と当初想定より長くなったこともあるため、プロジェクト期間中に実施できる訓練の回数が当初計画より少なくなり、同じくスケジュールの修正に至った。

そのほかには障害となる大きな要素は見られない。当初危惧された指導者訓練への応募者の定員割れや訓練途中でのドロップアウトという問題は最小限にとどまっており、プロジェクトの成果に影響はほとんどない。

MT2 養成のための本邦研修は、電気、電子、自動車、金属加工の4分野や職業訓練機関管理者について、それぞれ2人ずつに対して実施された。管理者養成については、今後前回とは異なる2人に対して別途研修実施予定である。

ウガンダ側の主な投入としては、C/P となるナカワ VTI の指導員が含まれるが、現在実施している CVTI 訓練はこれまでの通常業務に追加された形となるため、CVTI 訓練担当指導員の負担が大きくなっている。指導員の追加雇用の検討も必要である。

プロジェクト終了後の状況を考えた場合、ナカワ VTI だけでは効率的な指導員訓練実施にも限界が

あり、上位目標の達成も困難になることから、プロジェクトで確立される指導員・管理者訓練を AfDB 支援によって施設設備と訓練機材が改善される予定のジンジャ VTI での実施展開を想定しており、これが実行されれば職業訓練セクター全体での効率的な運営実施が可能となる。

職業訓練セクター全体での効率性としては、ドナー間の活動の重複等を避けるよう、特に GTZ と必要な連絡調整を行って、これまで効率的に活動を進めている。今後は、世銀やベルギー等他のドナーの参入も予想されるため、引き続き情報収集と連絡調整が必要である。

以上のように、既存のリソースを十分に活用し、プロジェクトによる投入を最大限に活かすような活動が展開されており、効率性は比較的高いといえる。

#### 5 - 4 インパクト

上位目標については、まず BTVET 法が施行され、その下で DIT による UVQF 資格制度の運用が条件になってくるが、現時点でこれまでに達成した成果による上位目標へのインパクトを評価することは時期尚早である。プロジェクト目標にしても、CVTI 等の訓練の完全な 1 サイクルが終了しておらず、そのインパクトを判断することは時期尚早である。将来的にこれらのインパクトを検証するためには、訓練を受けた指導員や管理者のその後の動向を追跡調査することが必要である。

現時点での他ドナー支援へのインパクトはないが、今後 AfDB、世銀、ベルギー等の支援が予定されており、本プロジェクトで開発した訓練システムを活用した支援が行われる可能性もある。プロジェクト側からこれらドナー関係者に対して情報共有や連携への働きかけを行うことが大変重要である。

以上のとおり、プロジェクトのインパクトを評価するには時期尚早であるものの、他ドナー支援との連携によるインパクトもあり得ると考えられ、これが実現すれば本プロジェクトのインパクトはより高いものになると予想される。

#### 5 - 5 自立発展性

##### (1) 組織・制度面

現時点で自立発展性を評価することは時期尚早であるが、訓練の公的な位置づけを担う UVQF の早期の正規運用開始と CVTI の正式認証が重要である。現時点においては、少なくとも暫定的な資格がプロジェクトによって実施された訓練の修了者に付与されると同時に、新資格制度の運用開始とプロジェクトによる訓練の資格認定を急ぐよう、プロジェクトからも要請することが必要である。

##### (2) 財政面

財政的な自立発展性を保障するためには、MoES が CVTI 訓練を実施するための予算を恒常的に確保する必要がある。主な支出費目は、訓練実習に使う材料等の消耗品、補助物品（訓練参加者の作業用ユニフォーム等）、訓練指導員の宿泊経費や食費、機材維持管理費等が想定される。MoES の全体の予算を取りまとめる部局への働きかけも可能な限り行うことが望ましい。

##### (3) 技術面

ナカワ VTI への技術移転は、日々のプロジェクト活動を通じて着実に進んでいる。しかしながら、OP の作成や改定が必要となきには DIT の関与が不可欠であり、DIT の組織能力強化も必須である。

訓練機材管理体制は、年次棚卸が制度として各訓練科目で実施されている等、現時点では十分整っ

ていると思われる。訓練機材台帳も存在し、各訓練科が記録した上でマネジメントに提出している。機材の修理や部品・消耗品の調達についても、所定の申請用紙にて訓練科からマネジメントに申請する制度が確立されている。

#### (4) その他

他ドナーの動きについては、世銀とベルギーの支援が開始されるとの情報がある。最初の段階で、セクター開発戦略計画を策定するものと思われる。プロジェクトにて開発、導入した指導員養成制度を、その戦略計画に取り込むよう働きかけることにより、その指導員訓練制度を活用しての効率的な BTVET セクターの開発推進が実現される方向に進めることが望ましい。

#### 5 - 6 結論

本プロジェクトは、訓練機材の調達や短期専門家の派遣に対応するため、プロジェクトの PO や PDM に修正が加えられているが、カウンターパートとプロジェクト専門家の尽力により、活動は概ね円滑に進められている。今次調査時点では、プロジェクトによって導入される新資格の認定はまだまだ準備段階ではあるが、今後公式に認定されるものと期待される。MoES による新資格の正式認証は、プロジェクトの成果達成にかかわる本質的な課題であり、そのためには UVQF 制度の本格運用の早期実現にウガンダ側関係者の努力が求められる。

## 第6章 PDM と PO の改訂

供与機材（本邦調達）の調達に時間がかかり現地への到着が遅れたことや、専門家派遣、カウンターパート研修といった投入のタイミングの遅れにより、各訓練を実施する時期が当初予定から後ろにずれ込み、その結果プロジェクト期間内に諸訓練を受けることのできる人数が漸減することとなった。これについては、職業訓練アドバイザー長期専門家の追加投入（2009年8月）により技術的な面を手厚くカバーすることで協力の質を確保する努力を行った。また、上位目標の指標については、ナカワ VTI 以外での指導員訓練の実施について、特にルゴゴ VTI とジンジャ VTI が深く関連するが、前者については施設が狭いこと等からその実施は困難が見込まれ、後者については今後、AfDB による建物や機材等の支援が実現すればその実施は可能であるが、現時点では同指標として想定するには不確定要因が大きいと、ウガンダ側、日本側で協議の上判断した。従って、今次調査では、現状を確認し現時点で確実な諸訓練の実施についてウガンダ側と、後記のとおり PO と PDM の見直しを行った。

### 6 - 1 PO

訓練実施時期の見直し、管理者訓練 MT 養成研修の追加、応用訓練の追加に基づき、PO に修正が加えられた。詳細については添付資料のミニッツ VI（改定後 PO）を比較、参照のこと。

#### （1）訓練実施時期の見直し

指導員訓練は我が国の機材の調達に時間がかかり、機材の納品時期に合わせて実施時期を変更することになった（MT1 が当初 2009 年 1 月のところ 2009 年 7 月）。管理者訓練については MT 養成訓練（2008 年度の本邦研修）の実施のタイミングが遅れたことにより（当初 2008 年 6-7 月のところ 2008 年 9-10 月）カリキュラムの確定や教材作成等に必要な準備期間を確保することが当初実施時期では困難となったため、訓練開始時期を遅らせた（当初 2009 年 1 月のところ 2009 年 7 月）。

#### （2）管理者 MT 養成（本邦研修）

前項のとおり、2008 年度に管理者訓練の MT 養成が本邦で実施されたが、内容の見直し・拡充を行って追加で 2009 年度にも実施することとしたため、PO に新しく加えられた。

#### （3）参加者の訓練修了後のパフォーマンス評価期間の追加

「ウガンダでは国家資格を付与するのに通常訓練期間が 9 カ月以上必要である」という教育省関係者の発言（明文化されてはいない）に基づき、暫定的に一律 9 カ月間の訓練期間とし、プロジェクト活動を進めている。そのため、ナカワ VTI での訓練（CVTI：6 カ月、MT1：6 カ月、管理者：2 カ月）の後に、パフォーマンス評価としてそれぞれ 3 カ月（CVTI と MT1）と 7 カ月（管理者）を加えることとした。この評価期間は訓練の一部（現場での応用訓練）と位置づけられており、MT が参加者の所属施設を巡回し、訓練修了後のパフォーマンスを調査し、合わせて習熟度に応じたフォローアップ指導をしている。

### 6 - 2 PDM

PO の修正により、CVTI 訓練、MT1 訓練、管理者訓練の成果の指標（数値目標）が修正された。

これについては、職業訓練アドバイザー長期専門家の追加投入（2009年8月）により、技術的な面を手厚くカバーすることで協力の質を確保する努力を行った。上位目標については、前記の状況がありプロジェクト終了から5年後の2015年を想定し、再度精緻に数値（輩出される人数）を積み上げ、指標を修正した。詳細については添付資料2のミニッツ Annex IV（改訂前：PDM Ver.1）と Annex V（改訂後：PDM Ver.2）を比較、参照のこと。

	Annex IV(改訂前:PDM Ver.1)	Annex V(改訂後:PDM Ver.2)
上位目標（指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DVTI 資格を有する指導員が 2014 年までに 60 人。</li> <li>・ CVTI 資格を有する指導員が 2014 年までに 500 人。</li> <li>・ DTIM 資格を有する管理者が 2014 年までに 160 人。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DVTI 資格を有する指導員が 2015 年までに 58 人。</li> <li>・ CVTI 資格を有する指導員が 2015 年までに 346 人。</li> <li>・ DTIM 資格を有する管理者が 2015 年までに 72 人。</li> </ul>
成果（指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CVTI 訓練修了者が 85 人。</li> <li>・ 管理者訓練修了者が 20 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CVTI 訓練修了者が 58 人。</li> <li>・ 管理者訓練修了者が 12 人。</li> </ul>

指標については、評価時点の実績と今後の各訓練の定員数を積み上げて算出した。その際、訓練開始時の欠員や訓練途中のドロップアウトを想定し、定員の80%を積み上げた。

プロジェクト終了後は、ナカワ VTI 以外で CVTI 訓練を実施することを想定しているが、今次調査において当初実施機関として想定していたルゴゴ VTI とジンジャ VTI のうち、ジンジャ VTI ( AfDB 支援により施設や機材が改善される計画がある ) のみが将来的に CVTI 訓練を実施できる可能性が高いと判断された。そのため、ジンジャ VTI の 1 施設のみで CVTI 訓練を実施する想定で指標を算出した。

End of Training (year/month)		CVTI/Nakawa	CVTI/other	DVTI	Manager
2009	3	33			
	9	40			
2010	3			12	15
End of the Project (2010.8.31) maximum of full quota		73	0	12	15
80% of the maximum (modified indicators for PDM ver.2)		58	0	10	12
2010	9	40			
2011	3			12	15
	9	40	40		
2012	3			12	15
	9	40	40		
2013	3			12	15
	9	40	40		
2014	3			12	15
	9	40	40		
2015	3			12	15
5 years after the Project(2015.8.31) maximum of full quota		273	160	72	90
80% of the maximum (modified indicators for PDM ver.2)		218	128	58	72

346

: PDM Ver.2で指標となる数値

## 第7章 提言と教訓

### 7 - 1 提言

#### (1) 現職指導員と資格の関係

当初、指導経験を持つ指導員に関しては、訓練開始前にレベルチェックを行い、訓練のカリキュラムのうち不足している部分のみの履修で CVTI が与えられる構想が考えられた。レベルチェックの設定方法には次の二とおりが考えられ、一つは学歴や仕事の経験で受講免除のモジュールを判定する方法、もう一つは試験を実施して一定のレベルを達成したモジュールを受講免除する方法である。本プロジェクトではいずれの方法でもなく、経験者が一律で一定期間にわたり所定の訓練を受ける仕組みとなったが、ウガンダをはじめとした開発途上国の場合、技術系の教育を受けたり、実務経験を積んだりしても技術レベルの向上が保証されないため、妥当な選択であったと考えられる。しかしながら、今後は Diploma や Degree を所持している指導員については、CVTI 訓練を受けずに DVTI 訓練の受講資格を与える制度設計等の検討も必要になると考えられる。

#### (2) 資格決定までの見通しとスケジュール

当面の資格整備に関する作業としては、UVQF のシステムに則った DACUM 手法によって、CVTI 訓練に関する Assessment Instrument の開発が必要であるため、ウガンダ側に早期の予算確保を促した。資格取得に要する訓練期間についても、「慣例で9カ月は必要」ということで動いている状態で、最終決定されていないため、早急に取り決める必要がある。

#### (3) ナカワ VTI のリソースセンターとしての活用

DVTI 訓練は Diploma レベルの資格であり、DTI が設定できる資格の最高レベルのものである。問題となるのは、その講師のレベルとナカワ VTI の格付けである。Diploma 資格を認定する以上は、少なくとも短大以上の資格が必要と考えられ、今後のナカワ VTI 短大レベルへの昇格を検討する必要がある可能性もある。

#### (4) 指導員訓練に関するナカワ VTI の現状と課題

訓練施設、資機材、指導員のレベル等を考慮すると、現時点で指導員訓練の実施が可能な施設はナカワ VTI に限られる。プロジェクトを通じ、機材の老朽化対策として補充が行われるが、現行の訓練コースを考えると施設、設備、職員等の配置に余裕はない。今後、指導員訓練を定常的に実施することになれば、予算を確保し、施設・設備の充実と優秀な職員の配置が必要である。また、ナカワ VTI は、ウガンダ国内はもとより、東アフリカ地域の拠点校として施設管理・運営の見本となるべき施設であるため、職業訓練校として理想的な管理体制を示せるような管理強化策を講じることが望ましい。

#### (5) ナカワ VTI 以外での訓練実施

ナカワ VTI 以外での指導員訓練の実施について、科の設定状況、施設スペース、機材の配備状況、指導員体制等の観点から判断すると、ルゴゴ VTI については、施設が狭いこと、資機材の管理状況が悪いこと、寮がないこと等からその実施は現時点では困難と判断される。

一方ジンジャ VTI については、十分な敷地があり、今後建物や機材等に関する AfDB の支援が計画されており、これらの支援が順調に進めば、指導員の配置を調整することで早ければ 2 年後には指導員訓練の実施が可能であると思料される。

民間の訓練機関は、機材の不足や老朽化が目立ち、指導員の確保も課題と思われ、ナイル VTI レベルの施設であっても困難が予想される。

#### (6) MT 養成にあたっての留意事項

対象 4 科の指導員に対する本邦での MT2 訓練は、順調に実施され、各科 2 人の MT2 が養成された。今後は MT2 により MT1 の養成訓練が計画されており、現時点では準備も順調に進められている。管理者の MT 訓練については、本邦研修により 2 人が養成されており、2009 年内にさらに 2 人の本邦研修が実施される予定であるため、4 人の管理者 MT による研修体制が整えられる計画である。

しかしながら、今後、本邦研修をもとに組み上げられてきた MT 訓練の将来の運用については、これまでと同様に本邦研修を活用することは現実的ではないため、ウガンダ側として独立した MT 訓練の制度を確立する必要がある。今回の資格整備構築のコンセプトとして、その技能と知識レベルを設定するにあたり、我が国の技能検定制度における各級のレベル設定が参考になると思われる。その UVQF による訓練内容については、「生涯職業能力開発体系」が参考になると考えられる。すなわち、CVTI の資格に対応するものが我が国の技能検定における 2 級レベルであり、DVTI に相当するものがその 1 級レベルとなり、DTIM に相当するのがその特級に相当するように設計されれば合理的と考えられる。

今後、MT 訓練をウガンダ国内で実施するには、ナカワ VTI の短大化あるいは工科系大学での研修設定が必要になるため、それを避ける方法としては経験を積んだシニアの MT が MT 養成訓練を担当できる制度構築を勧めたい。

MT2 と管理者 MT については、今後、我が国での研修を経て養成することは困難であるため、ウガンダ側に DVTI と DTIM の経験者が MT になる仕組みを提案した。MT については Higher Diploma の構想が DIT の Director から出されたが、そのレベルの根拠説明と今後の養成について困難が予想されるため、取り扱いには留意する必要がある。

#### (7) 職業訓練アドバイザーの配置

供与機材の遅れ等から全体の計画上の活動のタイミングに遅延が生じたため、後半のプロジェクト活動スケジュールは厳しくなっている。CVTI の実施及び評価、DVTI の実施及び評価、DTIM に係る我が国での研修実施やウガンダでの訓練実施準備、実施、評価とその認定作業等の業務が集中するため、協力終了予定までの 15 カ月については、長期専門家を配置し、現場であるナカワ VTI や関係機関での業務を継続して行う必要性が高い。

### 7 - 2 教訓

我が国の職業訓練制度では、設備が整った施設で指導員訓練が実施されることで、一定の実技レベルが確保され、さらに指導の現場における OJT で基礎力を固め、応用的実力を身につけることが可能である。一方、ウガンダをはじめとした開発途上国では、訓練設備の確保や OJT での技能習得が困難であり、技術系の学校を修了しても実技の習得は不完全で、そのまま指導員として配属された場合にほとんど実技が教えられない状況になる。現場の経験を経て指導員となった場合でも技術の内容

が陳腐化しやすいため、今後は指導員のスキルアップ研修や指導技法研修の実施体制の充実も併せて進める必要がある。

以上から考えると、このプロジェクトにおいて設定された訓練は、実技を重要視した内容となっており、ウガンダの指導員が持つべき指導能力の基礎固めには非常に有効な制度であるとともに、開発途上国における指導員の指導力レベルの向上に大変有効な取り組み例となり得る。

開発途上国で問題になるのは総じて予算の継続的確保であり、今回の指導員研修に関する予算だけでなく、各指導員が所属している訓練施設に戻ってからも教える機材が極端に不足しているため、2008年に施行されたBTVET法にうたわれている訓練税(Training levy)の導入と施行がなされ、訓練現場に最低限の予算が配分される制度を固める必要がある。このような状況でCVTI訓練についての予算がウガンダ側によって確保されたことは高く評価できるが、訓練税の導入については見通しがたっており、慢性的予算不足からの脱却は避けられそうにない。

ウガンダでは、公的職業訓練とともに民間の職業訓練に対する取り組みも不十分であるため、今回の指導員資格制度を民間にも普及させるとともに、民間指導員の育成にも助成金等の支援をすることが望ましい。職業訓練全般にわたり国の援助が少ないため、本来公的部門が実施すべき訓練が政府以外の支援によって民間部門で実施されているように見受けられる。

パイロットとしての対象4科の専門以外の指導員資格については、施設、機材の調達、資格制度の確立等の課題があるが、このパイロットの成果を十分に活かして実施していけるものと期待できる。

## 添付資料

1. 調査日程
2. ミニッツ
3. 実績・実施プロセス調査結果
4. 5項目に基づく評価結果
5. 教育・スポーツ省組織図
6. ナカワVTI組織図
7. 投入計画・実績一覧
8. 機材リスト
9. ウガンダ技術教育・職業訓練制度

添付資料 1 調査日程

The Project for Instructors Training for Vocational Education and Training in UGANDA  
Mid-term Review Mission

No.	Day	Mr. Nagai (Evaluation Analysis)		Mr. Furuta (Vocational Training)		Ms. Ando (Cooperation Planning)		Mr. Yoshikawa (Team Leader)	
		Time	Duty	Time	Duty	Time	Duty	Time	Duty
1	2/11	Wed.	19:55 Dep. Tokyo (JL 185) 21:15 Arr. Kansai 23:15 Dep. Kansai (JL5099)						
2	2/12	Thur.	5:55 Arr. Dubai 8:25 Dep. Dubai (EK723) 14:50 Arr. Entebbe via Addis Ababa						
3	2/13	Fri.	9:00 Meeting - JICA Uganda Office 10:00 Meeting - JICA Expert (Project) 14:00 Meeting - NVTI						
4	2/14	Sat.	Document Arrangement						
5	2/15	Sun.	Document Arrangement	19:55 Dep. Tokyo (EK6257) 21:15 Arr. Kansai 23:15 Dep. Kansai (EK317)					
6	2/16	Mon.	9:00 Survey (Crown Beverage)/MF 11:00 Survey (Spear Motors)/MV 15:00 Survey (Dolico Studio)/ES	5:55 Arr. Dubai 8:25 Dep. from Dubai (EK723) 14:50 Arr. Entebbe via Addis Ababa					
7	2/17	Tue.	8:15 Meeting - JICA Uganda Office 9:00 Courtesy call - Permanent Secretary, Ministry of Education and Sports (MoES) - Director of Higher, Technical and Vocational Education and Training, MoES - Commissioner of Teacher and Instructor Education and Training (TIET), MoES - Commissioner of Education Planning and Policy Analysis (EPPA), MoES - Commissioner of Technical and Vocational Education and Training (TVET), MoES 14:00 Survey (Rider VTI) 14:00 Meeting - NVTI						
8	2/18	Wed.	10:00 Survey (Lugogo VTI) 14:00 Meeting - TIET, DIT	11:00 Meeting - JICA Expert (Project)					
9	2/19	Thur.	10:00 Visit & Survey (Jinja VTI) 14:00 Survey (Nile VTI)						
10	2/20	Fri.	Interview - each Department (Electronics, Electricity, Motor-vehicle, Welding, Sheet-metal)						
11	2/21	Sat.	Document Arrangement				19:55 Dep. Tokyo (EK6257) 21:15 Arr. Kansai 23:15 Dep. Kansai (EK317)		
12	2/22	Sun.	Document Arrangement				5:55 Arr. Dubai 8:25 Dep. Dubai (EK723) 14:50 Arr. Entebbe via Addis Ababa		
13	2/23	Mon.	9:00 Meeting - GTZ 14:00 Meeting - AfDB 16:00 Meeting - Kyambogo Univ.	8:30 Courtesy call - JICA Uganda Office 14:00 Minutes deliberation - TIET					
14	2/24	Tue.	9:00 Meeting - JICA Expert (Project) 14:00 Planning & Policy Analysis Dept. 15:30 Meeting - JICA Uganda Office	7:45 Courtesy call - Dr. Mbabazi, Director, Directorate of Higher, Technical and Vocational Education and Training 14:00 Minutes deliberation - TIET					
15	2/25	Wed.	11:00 Uganda Bureau of Statistics 15:30 Minutes deliberation - DIT	10:30 Meeting - NVTI					
16	2/26	Thur.	10:30 JCC Meeting at NVTI 15:00 Signing for Minutes at MoES						
17	2/27	Fri.	9:30 Final report - JICA Uganda Office 10:30 Final report - Embassy of Japan 16:20 Dep. Entebbe (EK724)						
18	2/28	Sat.	0:35 Arr. Dubai via Addis Ababa 3:40 Dep. Dubai (JL 5090) 17:30 Arr. Kansai 19:15 Dep. Kansai (JL 188) 20:25 Arr. Tokyo						

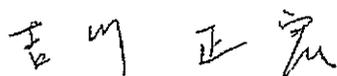
MINUTES OF MEETING  
BETWEEN  
THE MINISTRY OF EDUCATION AND SPORTS  
OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF UGANDA  
AND  
THE JICA MID-TERM REVIEW TEAM  
ON  
THE PROJECT FOR INSTRUCTORS TRAINING  
FOR VOCATIONAL EDUCATION AND TRAINING

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") organized the Mid-term Review Team (hereinafter referred to as "the Team"), headed by Mr. Masahiro Yoshikawa, from February 12, 2009, for the purpose of the mid-term review for the Project for Instructors Training for Vocational Education and Training (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in Uganda, the Team had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of Uganda, jointly reviewed the achievements of the Project, and exchanged views on the project performance and the value judgments on the Project from the view points of five criteria of the project evaluation including necessary recommendations to the respective governments.

After intensive study and analysis of the activities and achievements of the Project, the Team prepared the Evaluation Report, which was reported to the Joint Coordinating Committee. As a result of the discussion including the Joint Coordinating Committee, the Team and Ugandan authorities concerned agreed the matters referred to in the document attached hereto.

Kampala, February 26, 2009



---

Mr. Masahiro Yoshikawa  
Team Leader  
The Mid-term Review Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



---

Mr. Francis X. K. Lubanga  
Permanent Secretary  
Ministry of Education and Sports  
The Republic of Uganda

ATTACHED DOCUMENT

**1. Introduction**

**1.1 Objective of the Review**

The Review was conducted with the following objectives;

- (1) To review the degree of achievements of Inputs, Outputs, and Project Purposes based on the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM"). The revision from the original PDM ver.1 to PDM ver.2 is clarified in ANNEX V.
- (2) To evaluate the Project in terms of five evaluation criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability).
- (3) To make recommendations regarding the measures to be taken for the improvement of the Project.

**1.2 Methodology of Evaluation**

The Project was evaluated by the Mid-term Review Team (hereinafter referred to as "the Team").

For the Mid-term Review, Five Evaluation Criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability) were applied. These Five Evaluation Criteria are related to PDM as shown in the following table.

**Relationship between PDM and Five Evaluation Criteria**

	Relevance	Effectiveness	Efficiency	Impact	Sustainability
Overall Goal					
Project Purpose					
Outputs					
Inputs					

**1.3 Members of the Mid-term Review Team**

Name	Field	Position
Mr. Masahiro Yoshikawa	Team Leader	Director, Technical and Higher Education Division, Higher Education and Social Security Group, Human Development Department, JICA
Mr. Mitsunori Furuta	Technical and Vocational Education and Training	Deputy Director, International Cooperation, Employment and Human Resources Development Organization of Japan (EHDO)
Ms. Tomo Ando	Cooperation	Assistant Director, Technical and Higher Education

	Planning	Division, Higher Education and Social Security Group, Human Development Department, JICA
Mr. Sugashi Nagai	Evaluation Analysis	Deputy General Manager, Consulting Department II, KRI International Corp.

## 2. Background and Summary of the Project

In Uganda, the "Education Sector Strategic Plan 2004-2015" emphasizes the reconfiguration of the post-primary education and training sub-sector, and centering Business, Technical Vocational Education and Training (hereinafter referred to as "BTVET") on a qualification framework. There is a need to absorb the Universal Primary Education bulge and to provide a larger number of learners with timely acquisition of vocational skills.

In BTVET sub-sector, Uganda Vocational Qualifications Framework (hereinafter referred to as "UVQF") is being established to enhance transparency of labor market demand for occupational competencies and the responsiveness of the national system of BTVET. There is a need to have instructors and managers with sufficient skills and knowledge in line with UVQF.

Since 1997, Japan had implemented grant aid cooperation and technical cooperation for Nakawa Vocational Training Institute (hereinafter referred to as "Nakawa VTI"), and it resulted in strengthening Nakawa VTI's capacity.

In this condition, Uganda made a request in 2005 to Government of Japan to contribute to upgrading vocational training instructors in Uganda through a technical cooperation project.

In response to the request, JICA conducted "Preliminary study to develop a training concept and strategy" with German Technical Cooperation (hereinafter referred to as "GTZ") from April to May, 2006. In August 2006, JICA conducted a joint workshop with Ministry of Education and Sports (hereinafter referred to as "MoES"), and GTZ. Stakeholders shared recognition of the needs for the new qualifications and implementation of training programs based on the new qualification for instructors and managers. In January 2007, JICA dispatched the Preliminary Study Team to discuss and confirm the contents of the request with authorities concerned in Uganda. Finally, JICA and MoES agreed and signed on the Record of Discussions and Minutes on Meeting for the Project in May 2007. The duration of the Project is from June 1, 2007 to August 31, 2010.

As a result of the study, the logical framework of the Project was designed and summarized in the Project Design Matrix (PDM) ver.1.

Narrative summary of PDM ver.1 is as below.

### Narrative Summary of PDM ver. 1 agreed in May 2007

Overall Goal	BTVET institutions in Uganda have higher-quality instructors and managers in terms of their own skills and knowledge.
--------------	---

Project Purpose	The base of training system on instructors and managers is established at Nakawa VTI.
Output 1	Concept of the new qualification for instructors and managers is established.
Output 2	Training cycle for instructors is established.
Output 3	Training cycle for managers is established.

### 3. Project Performances and Implementation Process

Achievement of the Project was measured in terms of inputs, activities, outputs and project purpose, all of which were based on the PDM ver. 1.

#### 3.1 Input

##### 3.1.1 Japanese Contribution

###### 1) Dispatch of Experts

A total of 10 experts totaling approximately 38 MM have been assigned from June 2007 up to now. The areas of expertise include Project Manager/Coordinator, Qualifications for Instructors and Managers, and Training Planning for each targeted trade.

###### 2) Provision of equipment and facilities

The total amount of the equipment provided as of February 2009 is approximately US\$351,210.

###### 3) Training for Counterparts

A total of 10 persons participated in the study tour in Japan arranged under the counterpart training scheme of the Project. In addition, 1 person participated in the group training "Seminar on Human Resource Development Administration".

As for 10 persons, 8 persons (2 each from automobile, electronics, electricity and metal fabrication) benefited the training "Training for Master Trainers 2", and 2 persons benefited the training "Training for Master Trainers".

###### 4) Operational Cost for the Project

A total of approximately US\$154,800 has been expended for local operational costs by the Project fund from June 2007 to February 2009. The Project bore the cost of the workshop for Occupational Profiles of 4 trades (level-3) of ATP (Assessment Training Package), though it was initially not included as the project expense.

##### 3.1.2 Ugandan Contribution

###### 1) Appointment of Counterpart Personnel

At the beginning of the Project, counterpart personnel were appointed as planned; however, during the implementation of the Project, MoES was reorganized and names of concerned departments were changed already in comparison with original R/D (page 2, 10 and 12)

agreed on May 31, 2007, and those revised contents are shown in ANNEX VII to IX. The present counterpart personnel are shown in ANNEX XI.

#### 2) Land and Facilities for the Project

Provision of office space, facilities, basic furniture and equipment for the Japanese experts had been provided appropriately.

#### 3) Local Expenses

Administrative and operational costs for electricity, water supply, telephone and furniture are borne by Ugandan side.

### 3.2 Achievements of the Project

The Team noted that the delay of the equipment procured in Japan had an influence on the implementation of planned trainings held in Nakawa VTI. The change of the schedule of Japanese experts dispatch also had an effect on this matter. With cooperation between Ugandan side and Japanese experts, the Project has modified the Plan of Operation according to the above actual situation. The Project follows the revised schedule and carries out the training that can be done within the provided circumstances in cooperation with Ugandan counterpart.

Regarding the concept of the new qualification, Japanese expert presented the concept at UVQF taskforce held in November 2007. After the taskforce, people concerned have been discussing the revision of curricula and the method of evaluation of the training system.

Besides, the Project has finished so far the first CVTI training in Nakawa VTI, and trained instructors are now in the Instructional Practice on their own initiative; they will finish the whole training program in March, 2009 as planned. The second CVTI training is underway in Nakawa VTI, and Training for Master Trainer and Managers, are under preparation and scheduled to start in July 2009.

The summary of achievements is shown in ANNEX I.

### 3.3 Implementation Process of the Project

#### 3.3.1 Implementation of Activities

The Project covers the establishment of the concept of the new qualifications as well as the training cycle for both instructors and managers.

Regarding the concept of new qualifications, the presentation was made by Japanese experts to UVQF taskforce members, and now parties concerned discuss this matter.

Regarding the training for instructors and managers, the schedule of the training was modified; First CVTI training has finished and the second CVTI training is now underway in Nakawa VTI, however, the training for Master Trainer 1 for instructor training and Master Trainer for manager training have not yet being carried out. Now preparation for General Information for these two training programmes is underway to be sent out in April 2009 to VTIs where there are possible candidates for the trainings.



The training cycle itself is gradually settled through the activities of the Project with the proposed concept of the qualification; however, the qualification to be granted for instructors and managers who complete training programs under the Project is not yet officially decided. So it is not certain how the provisional qualification would be handled.

### **3.3.2 Project Management**

The Project itself has been efficiently managed owing to the good partnership between Ugandan and Japanese sides. It seems that both sides make efforts to deal with the tasks quite flexibly; the modification of the Plan of Operation is one of the examples of the measure corresponding to the situation.

### **3.3.3 Reorganization of MoES**

The BTVET ACT (2008) and Education (Pre-primary, Primary and Post-primary) ACT (2008) were legislated in July 2008 and in August 2008 respectively. The structure of MoES and the role of each directorate/department are now in the process of reorganization. The roles of related directorates such as Directorate of Industrial Training (DIT) have also been arranged, though detailed functions with regard to the Project are not yet clearly defined. Basically original counterparts are still involved in the Project after the reorganization, and the ownership of MoES is still high.

Under the circumstances, it may take time to discuss with concerned authorities of MoES to confirm whether the training implemented in the Project would meet the conditions that those qualifications would be officially approved in the near future.

## **4. Modification in PDM and PO**

Based on the study, the Team proposed modifications of PDM ver. 1, which was discussed and agreed by Nakawa VTI. PDM ver. 1 was revised according to the following modifications and PDM ver. 2 was developed as attached in ANNEX V.

Objectively Verifiable Indicators were reconsidered to the ones that were suited to the actual conditions considering capacity of other BTVET institutions on further CVTI training. The detailed reasons for this modification are shown in ANNEX II.

Revision of Plan of Operation described earlier has been agreed by Commissioner of BTVET who was Project Director at the time. The Team confirmed that the revision was necessary and appropriate. Revised PO is attached in ANNEX VI.

## **5. Results of Mid-term Review**

### **5.1 Relevance**

There is no considerable change in the context of the Project regarding the training needs for instructors and managers to improve the quality of training, MoES's policy on BTVET, and JICA's cooperation plan. Therefore, both "Overall Goal" and "Project Purpose" are relevant.



Grant aid and technical cooperation received from Japan in the past resulted in strengthening Nakawa VTI's capacity and capability. It is evident that the capability of Nakawa VTI to implement the trainings for instructors and managers in comparison with other VTIs in Uganda is better but not enough. Moreover, skills demand in the local labor market is obviously increasing in various industrial and engineering sectors including the four trades which the Project targets to carry out the technical training. Japan has considerable experience in these fields; Japanese experts introduced the necessary techniques to Ugandan counterpart through trainings in both Japan and Uganda.

### 5.2 Effectiveness

As mentioned in 4, there were some modifications in PDM ver. 1; however, the basic logical framework of the Project has not changed. The verifiable indicators are modified that meet the present situation considering capacity of other BTVET institutions on CVTI training.

As for the situation of official appraisal of the new qualification, except for CVTI, the qualification system itself is now in the process of authorization. It can be expected at this stage that the training system at Nakawa VTI, developed through the Project, will be authorized by MoES in the near future. It is now expected that the responsible accreditation body could be DIT or other examination body established by the Minister responsible for education. Other related processes on the new qualifications will be decided and administered by DIT when it is ready, or by the other bodies.

When the above system is set, the concept of the new qualifications established (Output 1), the established training cycle for instructors and managers (Output 2 and 3) will lead to full authorization and national recognition of the training system at Nakawa VTI.

### 5.3 Efficiency

A few of Japanese experts have been dispatched with some delay in comparison with original plan, although their services were appreciated from Ugandan counterpart in quantity as well as quality for carrying out the Project activities and attaining the outputs so far. Some installation of the equipment procured from Japan is delayed and it has caused the change of the training schedule at Nakawa VTI; some part of those trainings could not be implemented because of lack of the above equipment, and supplementary support should be provided. The equipment already procured from both Japan and Uganda are utilized and maintained properly.

Regarding the counterpart training in Japan, although the schedule was changed, Master Trainer 2 for four trades, namely electronics, electricity, motor vehicle and metal fabrication, was efficiently provided. Those trainings are suitable in terms of technology levels and the contents. For Master Trainers for vocational training institute manager training, two have completed the training and another two will attend in 2009.

Efforts have been made by both Japanese and Ugandan sides in activities related to the



donor coordination in BTVET sector in Uganda. For example, PEVOT (Promotion of Employment-Oriented Vocational Training), that is carried out by GTZ has a component in the same sector. AfDB Grant Aid Project is now targeting Jinja VTI to upgrade its facility and equipment; there should be possibility of implementing CVTI training in near future.

To effectively collaborate and cooperate with each other, the Project Team should pay much attention to the trend of the activities presented by GTZ, AfDB and other development partners and seek the way to act and collaborate efficiently and effectively as have been done so far.

#### **5.4 Impact**

The concept of the new qualification is prepared by the Project with assistance from JICA experts and now presented to MoES although it is not yet appraised. Also Nakawa VTI has not completed the whole training of instructors and managers yet. Therefore, it would be premature to analyze the impact on the above training system on instructors and managers; it requires time that all the related qualifications will be officially approved, and the quality of instructors and managers will be improved in the whole country. It may be necessary to conduct a tracer study of trained instructors and managers under this training system and to follow them up for figuring out the social impacts of the Project.

#### **5.5 Sustainability**

Although it could be premature to evaluate the sustainability of the Project, it is necessary that the UVQF qualification system is made operational as soon as possible, since without the system the training cycle for instructors and managers cannot be settled in the official qualification system of Uganda. When considering the system, as precondition, it is also important to decide concretely how CVTI would be treated as an official qualification within the MoES. Without its concrete concept, it is likely that this will affect other vocational institutes and training programs for instructors/managers.

From the beginning of the Project, it is observed that official approval of new qualifications for instructors and managers is necessary for the activities and the accomplishment of the Project; all the related processes dealing with training cycle including the provisional qualification are linked to this official approval. However, even though the qualification system is still in preparatory stage, the provisional qualification would be given to the instructors who finish the training provided by the Project. The Project Team is strongly requesting to the Ugandan authorities concerned to accredit new qualifications proposed by the Project as well as to set the accreditation system of new qualification for trained instructors/managers.

Regarding the financial aspect, the recommendations mentioned in 6.1 must be crucial to maintain the output of the Project.

Reorganization of MoES is in line with BTVET Reform that is supposed to promote UVQF system so it will not negatively affect sustainability of the Project.



## **6. Recommendations**

### **6.1 The Budget from MoES**

It is recommended that MoES should secure the necessary budget, such as operational expenses for trainings for the smooth and sustainable implementation of trainings at Nakawa VTI.

If CVTI training should be delivered to all the instructors in Uganda, it requires constant budget in the future for sustainability. At present JICA is giving assistance to build the base of training system on instructors and managers at Nakawa VTI; without great deal of effort by Government of Uganda, it can hardly expand this system to all over the country after the Project completed.

For reference, cost per participant for CVTI training conducted from June to December 2008 (now those participants are undergoing instructional practice from January to March 2009) at Nakawa VTI was approximately 8.5 mil Uganda Shillings (equivalent to approx. USD 4,400). For this particular training program, Nakawa VTI somehow managed to bear more than 80 % of the costs with flexible financial management even though there was no specific cost item under instructor training or CVTI. The cost may be reduced after a few years operation since some costs are not recurrent such as renovation of facilities. See ANNEX X for details.

### **6.2 Status of UVQF**

The UVQF shall take some time to be fully operational. At present, some Occupational Profiles and ATPs have been developed and are awaiting formal approval by the newly established Industrial Training Council (hereinafter referred to as "ITC"). All the training programs that are carried out in the Project are designed in line with expected policy of UVQF. Without UVQF operating as it is expected, the qualifications given in the Project will remain provisional until formal recognition. The UVQF secretariat has been understaffed and therefore unable to carry out all its activities effectively. However, with restructuring the secretariat is now under DIT and it is recommended that MoES should facilitate and strengthen DIT to operationalize UVQF, and ITC to form sector committee to approve the content of ATPs.

### **6.3 Accreditation of New Qualifications under the Project**

The provisional qualifications for instructors and managers should be accredited as qualifications proposed by the Project under UVQF once it becomes fully operational. The Project Team has proposed the concept of new qualifications and carried out the training cycle developed in line with that concept. In order to have the developed training programs more attractive for instructors and VTI managers to participate in those, the accreditation by MoES of new qualifications is essential. The Project Team needs to be working with MoES, especially DIT, to find solution to this issue for the rest of the Project implementation period.



As for Master Trainer 2 to train Master Trainer 1 who are directly to train instructors from various VTIs and Master trainers to train managers, the Project has specially arranged trainings in Japan, but not in Uganda, that meet the urgent needs to have at least two Master Trainers in each field, with Japanese standard quality assurance. There is no system to train Master Trainers in these levels designed in the Project, however, MoES should address with special attention the issue concerning who could be accredited as the Master Trainers in these levels in the future after the Project is completed.

#### **6.4 Cooperation and Collaboration of BTVET Stakeholders**

Since the Project was launched, other donors, such as GTZ and AfDB, have been involved in BTVET sub-sector in Uganda. Stakeholders, who are involved in BTVET sector activities, recognize JICA project as one of contributing factors for the process. PEVOT project funded by Germany should be implemented in line with JICA Project through mutual close cooperation and coordination. AfDB is now implementing Education Project III at Jinja VTI among others, and there will be capacity at Jinja VTI to deliver CVTI training as Nakawa VTI does. Information exchange and coordination with other related projects need to be maintained further. Moreover, it is also important that outcomes of the Project should be recognized and effectively utilized among the parties concerned.

#### **6.5 Duration of the Trainings**

In the Ugandan system, at least nine months should be spent to obtain certificate or diploma that is recognized for registration. Visits to the field revealed that institutions are finding it hard to release instructors for training for several reasons including inadequate staff. MoES is requested to consider support for instructors and managers who attend the trainings as well as their respective institutions while they are undergoing training. This could be financial support to the instructors and also support to institutions to hire staff to fill the gaps created by the training opportunities.

#### **6.6 Development of Assessment Training Package (ATP)**

Upcoming UVQF system seems to require ATP for any training program to be accredited under the system. ATP consists of three components, namely (1) Occupational Profile, (2) Curriculum Guideline and (3) Assessment Instrument. While JICA implemented technical support to (1) and (2) for CVTI, MoES is requested to be responsible for (3) by securing necessary budget. Since first CVTI training will finish soon, completing procedures of ATP for CVTI needs urgent attention.

#### **6.7 Other Remarks**

Follow-up of graduates by administration office of Nakawa VTI is important in terms of accountability of effect on expenditure from MoES and Japan's ODA assistance to Nakawa



VTI; simply making the list including (1) graduates' name, (2) contact address and (3) employment status and revising once a year would work out effectively. This effort is to be continued for maintaining network with graduates and proving for quality training at Nakawa VTI with reflection of labor market needs to training and objective data of employment rate of graduates from Nakawa VTI.

## 7. Conclusion

Although the Plan of Operation was changed due to the delay of the installation of the equipment and the dispatch of Japanese experts, the related activities are generally steadily carried out owing to the cooperation among Ugandan counterpart personnel and Japanese experts. The accreditation process of new qualifications is now under preparation, however, it is expected that the training cycle developed in the Project would be officially approved as the national standard within MoES. At the moment the system and process of accreditation of new qualification are not settled, yet those accreditations are essential for effective implementation of the Project. It is strongly requested that the accreditation system would be put in place as soon as possible within MoES.

ANNEX O	Acronyms
ANNEX I	Achievement of the Project
ANNEX II	Results of the Review
ANNEX III	Evaluation by Five Criteria
ANNEX IV	Project Design Matrix (PDM) Ver. 1
ANNEX V	Project Design Matrix (PDM) Ver. 2
ANNEX VI	Plan of Operation (revised)
ANNEX VII	List of Ugandan Counterpart Personnel
ANNEX VIII	ADMINISTRATION OF THE PROJECT
ANNEX IX	Joint Coordinating Committee
ANNEX X	First CVTI Training Expenditures
ANNEX XI	List of counterpart personnel
ANNEX XII	Government of Uganda Commitments

ANNEX O Acronyms

AfDB	African Development Bank
ATP	Assessment Training Package
BTVET	Business, Technical Vocational Education and Training
CVTI	Certificate in Vocational Training Instruction
DIT	Directorate of Industrial Training
GTZ	Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit
ITC	Industrial Training Council
JICA	Japan International Cooperation Training
MoES	Ministry of Education and Sports
PDM	Project Design Matrix
PEVOT	Promotion of Employment-Oriented Vocational Training
PO	Plan of Operation
R/D	Record of Discussions
UVQF	Uganda Vocational Qualifications Framework
VTI	Vocational Training Institution



## ANNEX I ACHIEVEMENT OF THE PROJECT

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Results
<p>&lt;Overall Goal &gt;                      BTVET institutions in Uganda have higher-quality instructors and managers in terms of their own skills and knowledge.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The number of DVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for DVTI concept's requirement reaches 60 by 2014.</li> <li>• The number of CVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for CVTI concept's requirement reaches 500 by 2014.</li> <li>• The number of managers who filled skills and knowledge for DTIM concept's requirement reaches 160 by 2014.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Although introduction of UVQF is on right track, there seems to be many procedures to be taken before instructor and manager trainings designed by the Project accredited as CVTI, DVTI and DTIM under the system.</li> <li>- There are no trainings for instructors and managers completed yet under the Project, since duration of trainings became longer than planned. Therefore, it is too early to assess numbers of DVTI, CVTI and DTIM.</li> <li>- Since the duration of training programs is prolonged, number of instructors completing training programs under the Project will be smaller than planned. It is advised to review and possible revision of the targeted number to the one that should take the present state.</li> </ul>
<p>&lt;Project Purpose&gt;                      The base of training system on instructors and managers is established at Nakawa VTI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 80 % of persons concerned* in BTVET institutions of Uganda is satisfied with the system to establish.</li> <li>• More than 80% of trainees pass the final assessment of training courses.</li> <li>• The training system at Nakawa VTI is authorized by MoES</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- It is too early to assess the whole training programs since none of those trainings have not been completed yet, according to questionnaire survey conducted by the Project regarding participants' assessments of the three CVTI training programs that were completed Nakawa VTI training part in December 2008, most of participants expressed their appreciation for the course; only 2 out of 33 were not fulfilled their expectations. Also, trainers at VTIs where CVTI trainee instructors come from made positive comments about instructors after they come back from CVTI training at Nakawa VTI, e.g. <i>explanation by the instructor is much clearer than before</i>. The results seem to show that the satisfactory level of participants is high among participants. Satisfactory level of MoES and VTI managements are not yet assessed since it is too early.</li> <li>- Performance of participants in the training program under the Project is not yet assessed since no training programs have been completed at the time of mid-term review.</li> <li>- Although instructor and manager training system at Nakawa VTI designed by the Project has been well accepted by MoES so far, it needs to be endorsed officially under UVQF system that is still in process of preparatory works. Through discussion with stakeholders at MoES, it is confirmed that achievement by the Project should be incorporated into UVQF system including granting qualification recognized in UVQF to participants to training programs under the Project as agreed in RVD prior to the project commencement.</li> </ul>
<p>&lt;Output 1&gt;                      Concept of the new qualification for instructors and managers is established.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Proposal for concept of the new qualification is officially appraised.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Concept papers have been prepared by the Project with assistance of JICA Experts and presented to stakeholders at MoES to be discussed.</li> <li>- In order to achieve the project purpose, appraisal of the proposed concept may not be sufficient; however, endorsement of the proposed concept including adoption of the developed training system through the Project may be required for sustainability.</li> </ul>

1970

<p>&lt;Output 2&gt; Training cycle for instructors is established.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 80 % of persons concerned in BTVET institutions of Uganda are satisfied with the training system for instructors.</li> <li>• Sufficient number of Master trainers* is trained for implementation of CVTI training.</li> <li>• 85 instructors complete CVTI training.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Large scale survey regarding the satisfactory level for training system by relevant people has not been conducted yet since it is too early when no training program is fully completed. It seems to be appropriate that survey regarding the satisfactory level should be conducted sampling instructors who completed training program under the Project themselves as well as their supervisory managers at their respective VTIs.</li> <li>- 8 Master Trainer (MT2) have been trained in Japan to train Master Trainers (MT1). MT1 training is planned to commence July 2009 for tentatively 12 participants for each of four trades.</li> <li>- 33 instructors completed in-class training for CVTI at Nakawa VTI and are undergoing application training at their respective institutes. 40 instructors have started CVTI program in January 2009, and another 40 instructors are expected to be trained during the project implementation.</li> <li>- Indicators of number of completion of CVTI may need to be reviewed considering that the duration of trainings has been prolonged.</li> </ul>
<p>&lt;Output 3&gt; Training cycle for managers is established.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 80 % of persons concerned in BTVET institutions of Uganda are satisfied with the training system for managers.</li> <li>• Sufficient number of Master trainers is trained for implementation of managers training.</li> <li>• 20 managers complete managers training.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Large scale survey with regards to satisfactory level of training system by relevant people is not conducted since training for managers has not started yet.</li> <li>- Two Master Trainers (MT) to train VTI managers are selected and received 1<sup>st</sup> training in Japan. Two other MTs are selected for 2nd training in Japan scheduled in July to August 2009.</li> <li>- In the latest plan, 15 VTI managers are to be selected and take managers training from July 2009.</li> <li>- Indicators of number of completion of CVTI may need to be reviewed considering that the duration of trainings has been prolonged.</li> </ul>

*Handwritten signature*

## ANNEX II Results of the Review

Criteria	Evaluation Items	Confirmation Items	Source of Information	Results
Process of Activities	Progress of activities	Comparison between planning and outputs of the activities	-Documents prepared by Project Team -Interview from relevant persons	Basically, the Project is almost carried out as planned so far. However, some activities have delayed due to delay of procurement of equipment and training course in Japan. It resulted in revising the Plan of Operation to put off some of training activities.
	Methodology of Technology Transfer	Structure of project implementation	-Interview from relevant persons	Training for instructors and managers are carried out with the cascade approach. It will be effective methodology if MoES is able to identify enough institutes and master trainers for instructor training.
		Consistency of training in Japan and Uganda	-Interview from JICA Experts	Training in Japan for 4 training fields, electronics, electricity, motor vehicle and metal fabrication, seems to be very helpful to upgrade participants' knowledge and skills so that they are currently actively committed to effective delivery of CVTI training.
	Communication	Collaboration between JICA experts and C/P members	-Documents prepared by Project Team -Interview from relevant persons	JICA experts are closely working with all C/P especially with Nakawa VTI management to conduct project activities efficiently and effectively. Very firm mutual trust seems to be established between JICA experts and Nakawa VTI staff.
	Understanding of the project by Nakawa VTI	Ownership and commitment to the Project of C/P organization	-Interview from relevant persons	Ownership and commitment to the Project seem to be very high. One of the reasons is that the Project is the only major assistance from donors in the field of instructors training; that is clearly one of the priority issues in BTVEI in Uganda so that MoES is willing to utilize achievement by the Project to full extent.
	C/P Assignment	Appropriateness of selection of C/P members	-Interview from JICA Experts	Almost all instructors in 4 training fields at Nakawa VTI are working in cooperation with each other to implement the Project. There is suggestion that more instructors need to be hired and assigned since CVTI is totally additional work to the respective departments. Nakawa VTI management is also very much active in the project implementation since the activities involve many different departments (finance, dormitory, supply and store, etc.)
	Problems or issues on process of the project implementation	Participation to trainings by nominated instructors	-Documents prepared by Project Team -Interview from relevant persons	Participation to CVTI has been good in 1st training; 33 completed out of 36 candidates. Expectation to CVTI from VTIs in the country seems to be very high

List of Activities

Planned Activities	Results
<p>1-1. To study and determine the required level and criteria for the new qualification</p> <p>1-2. To confirm consistency of the level and criteria to set for the new qualification with UVQF</p> <p>1-3. To formulate the concept of the new qualification.</p>	<p>1-1 Occupational Profiles for CVTI and managers are prepared. One for DVTI to be developed before it starts. Levels of each program in UVQF have already been proposed.</p> <p>1-2 The level and criteria of the developed programs are currently discussed for consistency with upcoming UVQF system.</p> <p>1-3 Concept papers for new qualifications are prepared and submitted to MoES for discussion and appraised.</p>
<p>[[Preparation for training module and courses]</p> <p>2-1-1 To study skills and knowledge of instructors at present and their needs</p> <p>2-1-2 To develop module, curricula, teaching material, and to prepare necessary equipment for training courses, looking at the consistency with UVQF</p> <p>2-1-3 To set up training plan including composition of participants of classes, schedule, etc</p>	<p>2-1-1 Training needs survey for VTI instructors have conducted in January 2007 by Nakawa VTI and August 2007 by the Project.</p> <p>2-1-2 Curriculum for MT2, Occupational Profiles and Modular Curriculum for CVTI have been prepared. Occupational Profile for DVTI needs to be developed. Teaching material, i.e. lesson plan, information sheet, worksheet and assignment sheet, have prepared for CVTI. Materials for MT1 need to be developed.</p> <p>2-1-3 Training plan was developed as shown in revised Plan of Operation (ANNEX VI).</p>
<p>[[Training for Master trainers 2*]</p> <p>2-2-1 To select candidates of Master trainers 2</p> <p>2-2-2 To conduct training for Master trainers 2</p>	<p>2-2-1 Two candidates for each of 4 training programs (electronics, electricity, motor vehicle and metal fabrication) were selected for MT2 training in Japan.</p> <p>2-2-2 MT2 trainings in Japan were conducted for 5 participants (2 electronics, 1 motor vehicle and 2 metal fabrication) in January to March 2008 and for 3 participants (2 electricity and 1 motor vehicle) in July to October 2008.</p>
<p>[[Training for Master trainers 1*]</p> <p>2-3-1 To conduct "RPL: Recognition of Prior Learning" for candidates of training courses on Master trainers 1</p> <p>2-3-2 To select instructors who will participate in the training courses</p> <p>2-3-3 To conduct training courses by Master trainers 2</p>	<p>2-3-1 RPL is re-scheduled to be conducted during training for more diagnostic and evaluation purpose for participants but not for all nominated candidates.</p> <p>2-3-2 Candidates for MT1 training will be selected in April 2009.</p> <p>2-3-3 1<sup>st</sup> MT1 training is scheduled to be conducted in July 2009.</p>
<p>[[ Training for other instructors (prospective* CVTI holders)]</p> <p>2-4-1 To conduct RPL for candidates of training courses on prospective CVTI</p> <p>2-4-2 To select instructors who will participate in the training courses</p> <p>2-4-3 To conduct training courses by Master trainers 2 and/or 1</p>	<p>2-4-1 RPL is re-scheduled to be conducted during training for more diagnostic and evaluation purpose for participants but not for all nominated candidates.</p> <p>2-4-2 36 candidates (12 each for electronics, auto mechanic and metal fabrication) were selected for 1<sup>st</sup> CVTI training. 40 candidates (10 each for electronics, electrical, motor vehicle and metal fabrication) were selected for 2<sup>nd</sup> CVTI training.</p> <p>2-4-3 33 participants out of 36 for 1<sup>st</sup> round training attended in-class training at Nakawa VTI and are currently engaged in instructional practice at their respective institutes. 40 participants for 2<sup>nd</sup> CVTI training has started at Nakawa VTI in January 2009.</p>

146

<p><b>[Monitoring and Evaluation]</b></p> <p>2-5-1 To monitor and evaluate training courses periodically</p> <p>2-5-2 To revise module, curricula, teaching material, reflecting the results of monitoring and evaluation</p> <p>2-5-3 To assess the performance of participants in training courses after the training</p>	<p>2-5-1 Methodology of monitoring and evaluation (M&amp;E) have been prepared and tried for in-class training at Nakawa VTI of 1<sup>st</sup> CVTI training. M&amp;E for instructional practice will be implemented in March 2009. According to available information about UVQF system, Assessment Instrument is supposed to be developed for any training program as a component of Assessment Training Package that also includes Occupational Profile and Curriculum Guideline. Assessment Instrument for this particular program, however, is not developed yet. The assessment methodology under development by the Project should be in line with UVQF requirement so that CVTI training program is to be accredited with UVQF.</p> <p>2-5-2 Based on the results of M&amp;E for 1<sup>st</sup> CVTI training, the full training program will be revised for 3<sup>rd</sup> CVTI training while some minor revisions are already made for 2<sup>nd</sup> CVTI training commenced in January 2009.</p> <p>2-5-3 Final assessment will be done after completion of each training program.</p>
<p><b>[Preparation for training module and courses]</b></p> <p>3-1-1 To study skills and knowledge of managers at present and their needs.</p> <p>3-1-2 To develop module, curricula, teaching material for training courses, looking at the consistency with UVQF</p> <p>3-1-3 To set up training plan including composition of participants of classes, schedule, etc</p> <p><b>[Training for Master trainers]</b></p> <p>3-2-1 To select candidates of Master trainers</p> <p>3-2-2 To conduct training courses for Master trainers</p> <p><b>[Training for other managers]</b></p> <p>3-3-1 To conduct RPL for candidates of training courses on Managers</p> <p>3-3-2 To select managers who will participate in the training courses</p> <p>3-3-3 To conduct training courses by Master trainers</p> <p><b>[Monitoring and Evaluation]</b></p> <p>3-4-1 To monitor and evaluate training courses periodically</p> <p>3-4-2 To revise module, curricula, teaching material, reflecting the results of monitoring and evaluation</p> <p>3-4-3 To assess the performance of managers after the</p>	<p>3-1-1 Training needs survey for VTI managers have been conducted in January 2007 by Nakawa VTI and August 2007 by the Project.</p> <p>3-1-2 Modular curriculum for managers has been prepared. Training material is under preparation.</p> <p>3-1-3 Training plan was developed as shown in revised Plan of Operation (ANNEX VI).</p> <p>3-2-1 Four candidates in total were selected for Master Trainer (MT) training in Japan.</p> <p>3-2-2 1st MT training in Japan was conducted for 2 participants from September to November 2008. 2nd MT training in Japan will be conducted for 2 participants from July to August 2009.</p> <p>3-3-1 RPL is re-scheduled to be conducted during training for more diagnostic and evaluation purpose for participants but not for all nominated candidates.</p> <p>3-3-2 Candidates for VTI manager training will be selected in April 2009.</p> <p>3-3-3 1st training for VTI managers will start in July 2009.</p> <p>3-4-1 Methodology of monitoring and evaluation is under preparation. According to available information about UVQF system, Assessment Instrument is supposed to be developed for any training program as a component of Assessment Training Package that also includes Occupational Profile and Curriculum Guideline. Assessment Instrument for this particular program, however, is not developed yet. The assessment methodology under development by</p>

5/16

training

the Project should be in line with UVQF requirement so that manager training program is to be accredited with UVQF.  
3-4-2 Although manager training is not yet commenced yet, based on the results of M&E for 1st manager training, the training program is supposed to be revised.  
3-4-3 Assessment is scheduled to be conducted after completion of training programs.

PTD

ANNEX III Evaluation by Five Criteria

Criteria	Evaluation Items	Confirmation Items	Source of Information	Results
Relevance	Accordance of social and community demands/needs in Uganda	-National development policy -Opinions from stakeholders	-Interview to MoES, Industry	-Although National Development Plan is currently under preparation and to become effective in July 2009, there seems to be no change in social status. -There is no serious economic depression in the country and effect from the world economic crisis is minimum.
	Accordance of demands/needs of target group	Priority of training for VTI instructors among TVET issues	-Interview to MoES, Nakawa VTI	-Confirmed development needs of VTIs are instructors' capacity, facility, equipment and curriculum in tune with labor market needs, etc. -Training needs for instructors is priority while infrastructure development and curriculum update also need to be addressed.
	Consistency with development policy/strategy of Uganda	-National development policy -Status of BTVET Act	-Interview to JICA Uganda Office	-Poverty Eradication Action Plan is now under review process and National Development Plan is going to be prepared based on the review. Consistency with the Plan needs to be confirmed when it is released. -BTVET Act that is now effective seems to be what it was expected in the project initiation stage; it is consistent with the Project design. Regulations are drafted and expected to be discussed, approved and enforced from now and the Project needs to work closely with MoES to discuss how outputs of the Project could contribute to the enforcement of the Act to full extent.
	Consistency with Japan's/JICA's ODA policy	-Japan's ODA policy for Uganda -JICA's assistance strategy	-Review of the related documents (MoFA and JICA) -Interview to JICA Uganda Office	-Japan's ODA policy for Uganda will be prepared for the first time after National Development Plan is released in harmony with that. -JICA's development policy includes human resource development as one of the crucial policies in view of improving the social structure.

17

*[Handwritten signature]*

Criteria	Evaluation Items	Confirmation Items	Source of Information	Results
Relevance	Relevance of Strategy/Approach of the Project	Appropriateness of instructor development approach	-Interview to MoES, VTIs	-Upgrading vocational training instructors is one of the top issues in Ugandan BVET and it is appropriate. -To provide trainings for more instructors within limited input and resources, cascade methodology is appropriate. -Expectation for CVTI from instructors is for both technical upgrading and getting recognized qualification. To secure sustainability, recognition of CVTI in UVQF system is appropriate.
	Relevance of the selection of the target group	Appropriateness of selection of Nakawa VTI Appropriateness of selection of trainees	-Interview to MoES, VTIs	-Nakawa VTI seems to be the best VTI in terms of enough training facility, equipment and capacity of staff through the Development assistance in the past mainly from Japan. Utilization of Nakawa VTI as a center institute for instructor and manager training seems to be most appropriate.
	Relevance of selecting training trades	-Process on training trade selection	-Interview to NVTI, JICA Experts	-No major changes in status of industry in Uganda have been identified. Manufacturing, automobile and IT industry seem to be developing steadily as was in the Project design stage two years ago.
	Relevance of the implementation schedule of the Project	Period of the Project	-Interview to NVTI, JICA Experts	Since the duration of training programs have been decided to be longer than in the initial design, number of training programs that could be conducted during the fixed project duration now become less. Now it would be better if Project could have more time than 39 months as agreed in initial design.
	Superiority of Japan's technology and/or experience	-Application of Japanese ToT system	-Interview to JICA Experts	-Through the assistance in the past, Ugandan authority has good understanding in Japan's assistance in the field. Mutual trust has been established so that the Project is implemented efficiently.

5/10

*[Handwritten signature]*

Criteria	Evaluation Items	Confirmation Items	Source of Information	Results
Effectiveness	Achievement of the project purpose	Comparison of Current status and indicators of the project purpose	-Document prepared by the Project	See ANNEX II.
	Inhibiting factors to achieve effectiveness	Consistency instructor training with other trainings (pedagogy, etc.)	Donors	-Harmonization with PEVOT by GTZ is discussed at UVQF taskforce group regularly. There seems to exist no inhibiting factors as far as coordination through the taskforce is in place. -There is information that Belgium assistance as well as WB are going to start program/project in BVET sector under UVQF system in Uganda. The Project Team needs to be in touch with MoES to update status and direction of those assistances. -Monthly development partner meeting chaired by MoES may be good opportunity to exchange information regarding development assistance each other as well.
	Effectiveness of outputs to achieve project purpose	Status of BVET Act	-Interview to MoES, JICA Experts	-UVQF still has some preparatory works to be done before implementation; the Project may be completed before the UVQF implementation. The Project needs to pay attention to the UVQF activities in order to contribute to the new system.
	Status of important assumption to achieve project purpose through outputs	Verification of important assumption of PDM	-Interview to MoES, JICA Experts	-There is no change in the direction of BVET reform. -Directorate of Industry Training that is in charge of UVQF is keen to incorporate the achievement of the Project into UVQF.
Efficiency	Achievement of outputs	Comparison of Current status and the outputs' indicators	-Document prepared by the Project	See ANNEX II.
	Inhibiting factors to achieve outputs	Participation status of trainings	-Document prepared by the Project	-Although absence of instructors from their home VTIs because of the participation in CVTI training surely affects training at those VTIs. VTI managements still find benefits from the CVTI training so as to allow instructors to take the programs even paying their salaries while being away from assigned work at respective VTI.

Ab

*[Handwritten signature]*

Criteria	Evaluation Items	Confirmation Items	Source of Information	Results
Efficiency	Efficiency of inputs to achieve project purpose	Appropriateness of design of project activities	-Interview to JICA Experts	<ul style="list-style-type: none"> <li>-ToRs for JICA experts seem to be appropriate. However, short term experts for 4 training trades need more dispatch towards implementation of Master Trainer training than planned originally.</li> <li>Expert for managers' training is required to have various skills and knowledge in administrative management, training management and even legal matters related to vocational training. The Expert dispatched for this field satisfies these requirements and could be serving the technical assistance needs by C/P.</li> <li>-Selection of equipment is appropriate although the date of delivery has been delayed. In order to provide familiarization and instruction of operation and maintenance of those equipment to be delivered from now, additional dispatch of short-term experts in respective trades may need consideration.</li> </ul>
	Efficiency of activities to achieve project purpose	Appropriateness of selection of JICA experts, design of training in Japan, selection of equipment	-Interview to JICA Experts	<ul style="list-style-type: none"> <li>-Activities seem to be appropriate. However, ATP (Assessment Training Packages) is required to have the developed training program in UVQF system. Additional work to assist ATP preparation may be needed by the Project.</li> </ul>
	Status of important assumption to achieve outputs through activities	Status of BTVET Act Training Participation Participation of Industry	-Interview to MoES, VTIs	<ul style="list-style-type: none"> <li>-UVQF is still in progress although it is on the right track.</li> <li>-Maintenance of facility and equipment has been managed properly.</li> <li>-Participation to CVTI training is as good as expected.</li> <li>-Support from industry in preparation of Occupational Profile is sufficient.</li> </ul>
	Quantity, quality and timing of the inputs in order to implement the Project properly	Actual achievement in comparison with plan of operation	-Interview to JICA Experts	<ul style="list-style-type: none"> <li>-Japanese experts in different training fields (1 long-term, 8 short-term for 5 (electricity, electronics, motor vehicle, metal fabrication and manager) fields for twice are dispatched by Japanese side as planned in principle except for some delays in dispatch of short-term experts. Total M/M of expert dispatch is 38.3 M/M.</li> <li>- Training equipment for training programs are procured by Japanese side with some delay for some of them. Delayed items are now scheduled to arrive before Master Trainer training starting in July 2009.</li> </ul>

Criteria	Evaluation Items	Confirmation Items	Source of Information	Results	
Impact	Impact on overall goal achievement by activities and input so far	Expectation for improvement of quality of instructors (incl. private)	-Interview to VTIs, MoES	CVTI has been adequately designed for instructor training. Expectation for improvement of quality of instructors including private institutes through CVTI among relevant persons is confirmed.	
	Inhibiting factors to achieve overall goals	Conditions to achieve overall goals	-Interview to MoES, JICA Experts	-It is not clear yet when and how UVQF is implemented while it is required for official recognition of CVTI. -Budget for conducting CVTI trainings needs to be fully secured by MoES especially after the Project. -There may exist risks of losing some Master Trainers who are key resources for CVTI for such reasons as promotion, transfer, etc. after some years of CVTI delivery operation.	
	Cause-effect relation between overall goal and project purpose of the project	Conditions to achieve overall goals	-Interview to MoES, JICA Experts	-Capacity of CVTI training is the key factor to achieve overall goal after project purpose is achieved. Involvement of other VTIs and/or increasing training Capacity at Nakawa VTI need to be addressed.	
	Status of important assumption to achieve overall goal after achieving project purpose	Status of BVET Act	-Interview to MoES	-Although BVET Act has become effective, actual enforcement seems to need some time to develop, approve and implement regulations.	
	Other impacts other than overall goal	Impacts on other project/program by JICA and other organizations	-Interview to JICA Uganda Office	-There is no other major activities in vocational training area by JICA except for JOCV dispatch.	
	Countermeasures in case there are negative effects	Impact through PR activities	-Interview to JICA Experts	-Newspaper articles introducing the Project activities were issued twice so far. There were some inquiries from VTI for CVTI as well as public about Nakawa VTI.	
	Other negative impacts	Negative influence to those who does not benefit directly	-Interview to MoES, JICA Experts	-There seems no negative impact among VTI community. Instructors as well as VTI managers are looking forward to participating in training in future in general.	
	Sustainability	Institutional sustainability	Organizational setup and management of MoES, TIET, Nakawa VTI (organization, human resources management and development)	-Interview to MoES, JICA Experts	-MoES is currently going through major reorganization. Although it is in line with BVET Act enforcement, the project Team needs to follow the reorganization status of MoES to secure consistency in training delivery and certification system.

10/11

10/11

Criteria	Evaluation Items	Confirmation Items	Source of Information	Results
Sustainability	Institutional sustainability	Future view with BTVET Act	-Interview to VTIs, MoES	-Although BTVET Act has become effective, actual enforcement seems to need some time to develop, approve and implement regulations. UVQF implementation under the Act will be necessary condition to instructor training and certification.
		Institutionalization of introduced training system under MoES	-Interview to MoES	-MoES seems to look in favor of CVTI design. However, position of Master Trainer is not clearly placed in upcoming UVQF and this issue needs to be addressed as soon as possible to secure sustainability.
		Accordance of introduced training system at NVTI	-Interview to NVTI	-CVTI training program is well accepted at NVTI. All the Instructors understand the importance of upgrading the VTI instructors. However, most of training departments are requesting more Instructors to be hired to deliver training programs, since CVTI is the additional work to them. Human resources Capacity of NVTI needs to be monitored and considered for the rest of the Project period.
		Possibility of involvement of other VTI	-Observation of VTIs -Interview to VTIs, JICA Experts	-Jinja VTI is expecting to be upgraded in facility and equipment through AfDB Grant Aid Project. Assuming the assistance will be done as planned, Jinja VTI will be able to conduct CVTI from year 2011. -Other capacity of VTIs are currently very limited in training equipment as well as in facility itself. It may need major upgrading inputs if providing CVTI training under policy of MoES.
		Institutional capacity of MoES	-Interview to MoES	-MoES has capacity to implement instructors training in general. However, MoES deals with many different types of education and training institutes; coordination among different directorates and department is critical for efficient administration of the training programs introduced.
		Institutional capacity of Nakawa VTI	-Observation at and interview to VTIs	-it seems that Nakawa VTI has developed Capacity well to plan, implement and assess training programs especially through assistance from Japan.
		Ownership of MoES	-Interview to MoES	-MoES has high priority in implementing UVQF under BTVET reform. In the situation, development of instructors training system is very important issue and ownership of the Project by MoES is very high.

54

Criteria	Evaluation Items	Confirmation Items	Source of Information	Results
Sustainability	Financial sustainability	Future budget for sustainability	-Interview to JICA Experts	-Budget for conducting CVTI trainings needs to be secured by MoES for sustainability. major expense items to be covered includes raw material and consumables for practical training, supporting material (e.g. overalls), accommodation and meals for participants, maintenance of equipment, etc.
	Technical sustainability	Capacity of modification of training in future	-Interview to JICA Experts	-As a Project activity, technology transfer about review of programs based on M&E is conducted so that Nakawa VTI staff will be reasonably able to review and modify trainings in the future. However, when revision of Occupational Profile is required, it will be within the capacity of DOT that should be fully operational by that time.
		Equipment management for future use	-Interview to VTIs	-Equipment management system is well established at Nakawa VTI. Annual stocktaking is conducted by each training department -Regarding maintenance, maintenance ledger is prepared, recorded by training department and submitted to management. -Equipment repair and spare parts and consumable requisition is submitted in regular format when it is needed.
	Others	Possibility of MT leaving trainers position	-Interview to JICA Experts	There are little risks that trained Master Trainers leave Nakawa VTI with gained skills and qualification as happened in earlier stage of Japan's assistance since morale of NVTI staff has been very high.
		Other activities in BTVET sector	-Interview to MoES	-WB and Belgium are going to start assistance in BTVET starting with development of TVET Strategic Plan. Approach from the Project to MoES to utilize the achievement by the Project in the upcoming activities by WB and Belgium may enhance efficient BTVET development in the future.

10/20

Annex IV

PROJECT DESIGN MATRIX(PDMM) Ver.1  
 ❖ Project Name: THE PROJECT FOR INSTRUCTORS TRAINING FOR VOCATIONAL EDUCATION AND TRAINING IN UGANDA  
 ❖ Period: 3 years  
 ❖ Target Group: (Direct) Instructors training

In-service Instructors at Nakawa VTI: prospective Master trainer 2, Master trainer 1 (DVTI\* instructors) and CVTI\* instructors,  
 In-service instructors of key BVET institutions carrying out CVTI program: prospective Master trainer 1(DVTI instructors)  
 In-service instructors applying for CVTI training courses : prospective CVTI instructors  
Managers training

In-service managers at Nakawa VTI: Prospective Master trainer  
 In-service managers applying for managers training courses

(Indirect) Nationwide BVET institutions and their students, Private sectors (local industries)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p>(Overall goal)                      BVET institutions in Uganda have higher-quality instructors and managers in terms of their own skills and knowledge.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The number of DVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for DVTI concept's requirement reaches 60 by 2014.</li> <li>The number of CVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for CVTI concept's requirement reaches 500 by 2014.</li> <li>The number of managers who filled skills and knowledge for DTIM concept's requirement reaches 160 by 2014.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Record of MoES</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>No immense changes occurs in the national policy on BVET sector in Uganda</li> </ul>
<p>(Project purpose)                      The base of training system on instructors and managers is established at Nakawa VTI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>More than 80 % of persons concerned* in BVET institutions of Uganda is satisfied with the system to establish.</li> <li>More than 80% of trainees pass the final assessment of training courses.</li> <li>The training system at Nakawa VTI is authorized by MoES</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Survey conducted by the Project evaluation team composed of Nakawa, other key BVET institutions, and other development partners.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The qualification system is approved officially and/or, the concepts are well applied in BVET institutions of Uganda.</li> <li>Other development partners such as German agencies and AfDB work together with this Project to enhance effectiveness of the outputs realized by the Project.</li> </ul>
<p>(Outputs)                      1. Concept of the new qualification for instructors and managers is established.                      2. Training cycle for instructors is established.                      3. Training cycle for managers is established.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Proposal for concept of the new qualification is officially appraised.</li> <li>More than 80 % of persons concerned in BVET institutions of Uganda are satisfied with the training system for instructors.</li> <li>Sufficient number of Master trainers* is trained for implementation of CVTI training.</li> <li>85 instructors complete CVTI training.</li> <li>More than 80 % of persons concerned in BVET institutions of</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Project record</li> <li>Record of MoES</li> <li>Survey conducted by the Project (ditto)</li> <li>Module/curricula, training plan</li> <li>Project record</li> <li>Survey conducted by the Project</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>There are no immense changes on national policy regarding national qualification system.</li> <li>Contents of the newly proposed qualification system does not receive negative effects/changes by UVQF's progress</li> </ul>

50

<p>(Activities)</p> <p>Output 1: Concept of new qualification</p> <p>1-1 To study and determine the required level and criteria for the new qualification</p> <p>1-2 To confirm consistency of the level and criteria to set for the new qualification with UVQF</p> <p>1-3 To formulate the concept of the new qualification.</p> <p>Output 2: Training system for instructors  [Preparation for training module and courses]</p> <p>2-1-1 To study skills and knowledge of instructors at present and their needs</p> <p>2-1-2 To develop module, curricula, teaching material, and to prepare necessary equipment for training courses, looking at the consistency with UVQF</p> <p>2-1-3 To set up training plan including composition of participants of classes, schedule, etc</p> <p>[Training for Master trainers 2*]</p> <p>2-2-1 To select candidates of Master trainers 2</p> <p>2-2-2 To conduct training for Master trainers 2</p> <p>[Training for Master trainers 1*]</p> <p>2-3-1 To conduct "RPL: Recognition of Prior Learning" for candidates of training courses on Master trainers 1</p> <p>2-3-2 To select instructors who will participate in the training courses</p> <p>2-3-3 To conduct training courses by Master trainers 2</p> <p>[Training for other instructors (prospective* CVTI holders)]</p> <p>2-4-1 To conduct RPL for candidates of training courses on prospective CVTI</p> <p>2-4-2 To select instructors who will participate in the training courses</p> <p>2-4-3 To conduct training courses by Master trainers 2 and/or 1</p>	<p>Uganda are satisfied with the training system for managers.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sufficient number of Master trainers is trained for implementation of managers training.</li> <li>• 20 managers complete managers training.</li> </ul> <p>(Input)</p> <p>Japanese side:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. JICA Long term expert</li> <li>2. JICA Short term expert(s) as necessary</li> <li>3. Equipment</li> <li>4. Counterpart training in Japan or overseas</li> <li>5. Supplemental expenses</li> </ol> <p>Ugandan side:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Counterparts</li> <li>2. Administrative personnel</li> <li>3. Necessary Infrastructure for the Project including: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Office facility equipped with office furniture, electricity supply and direct telephone line, for the Project team</li> </ul> </li> <li>4. Budget for Project such as; <ul style="list-style-type: none"> <li>• Training cost</li> <li>• Salaries and other allowances for Ugandan staff</li> <li>• Costs for electricity, water, gas, fuel and other contingencies</li> <li>• Operational expenses for customs clearance, storage, domestic transportation and installation</li> <li>• Expenses for maintenance of the Project facilities and equipment</li> <li>• Other necessary local expenses of the Project</li> </ul> </li> </ol>	<p>and/or changes.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• There is no significant delay on UVQF's progress</li> <li>• Necessary facilities, equipment, materials for implementation of training courses have been well maintained.</li> <li>• Sufficient numbers of participants who meet the pre-requirement to participate in training courses are secured.</li> <li>• The Project can obtain support, advice from local industries.</li> </ul> <p>(Precondition)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Counterparts are properly</li> </ul>
---	--	---

<p><b>[Monitoring and Evaluation.]</b>  2-5-1 To monitor and evaluate training courses periodically  2-5-2 To revise module, curricula, teaching material, reflecting the results of monitoring and evaluation  2-5-3 To assess the performance of participants in training courses after the training</p> <p><b>Output 3: Training system for managers</b>  <b>[Preparation for training module and courses]</b>  3-1-1 To study skills and knowledge of managers at present and their needs.  3-1-2 To develop module, curricula, teaching material for training courses, looking at the consistency with UVQF  3-1-3 To set up training plan including composition of participants of classes, schedule, etc</p> <p><b>[Training for Master trainers]</b>  3-2-1 To select candidates of Master trainers  3-2-2 To conduct training courses for Master trainers</p> <p><b>[Training for other managers.]</b>  3-3-1 To conduct RPL for candidates of training courses on Master trainers  3-3-2 To select instructors who will participate in the training courses  3-3-3 To conduct training courses by Master trainers</p> <p><b>[Monitoring and Evaluation]</b>  3-4-1 To monitor and evaluate training courses periodically  3-4-2 To revise module, curricula, teaching material, reflecting the results of monitoring and evaluation  3-4-3 To assess the performance of managers after the training</p>	<p>assigned.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Implementation body of the Project is formed through the process of mutual understandings on each role of related organizations to the Project.</li> <li>• Demarcation and cooperative roles among donors are confirmed.</li> </ul>
---	---

Note 1: The Project employs the concept of new qualification for trainers and managers, which are DVTI, Diploma in Vocational Training Instruction, CVTI, Certificate in Vocational Training Instruction, and DTIM, Diploma in Training Institution Management.

Note 2: "Persons concerned in BTVET Institutions of Uganda" in the Objectively Verifiable Indicators means instructors, managers who received training at Nakawa VTI, and their supervisors at their BTVET institutions.

Note 3: Master trainer 2 will conduct training for Master trainer 1 and CVTI. Master trainer 1 will conduct training for CVTI.

Note 4: It is prospected that the provisional qualification will automatically transfer to the status of the official qualification after the qualification system developed by the project is authorized.

ANNEX V

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM) Ver.2  
 ❖ Project Name: THE PROJECT FOR INSTRUCTORS TRAINING FOR VOCATIONAL EDUCATION AND TRAINING IN UGANDA  
 ❖ Period: 3 years and 3 months  
 ❖ Target Group: (Direct) Instructors training

- In-service instructors at Nakawa VTI: prospective Master trainer 2, Master trainer 1 (DVTI\* instructors) and CVTI\* instructors, and CVTI\* instructors,
- In-service instructors of key BVET institutions carrying out CVTI program: prospective Master trainer 1(DVTI instructors)
- In-service instructors applying for CVTI training courses: prospective CVTI instructors
- Managers training
- In-service managers at Nakawa VTI: Prospective Master trainer
- In-service managers applying for managers training courses
- (Indirect) Nationwide BVET institutions and their students, Private sectors (local industries)

570

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p>(Overall goal)                      BVET institutions in Uganda have higher-quality instructors and managers in terms of their own skills and knowledge.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The number of DVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for DVTI concept's requirement reaches 58 by 2015.</li> <li>• The number of CVTI holders or instructors who filled skills and knowledge for CVTI concept's requirement reaches 346 by 2015.</li> <li>• The number of managers who filled skills and knowledge for DTIM concept's requirement reaches 72 by 2015.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Record of MoES</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• No immense changes occurs in the national policy on BVET sector in Uganda</li> </ul>
<p>(Project purpose)                      The base of training system on instructors and managers is established at Nakawa VTI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 80 % of persons concerned* in BVET institutions of Uganda is satisfied with the system to establish.</li> <li>• More than 80% of trainees pass the final assessment of training courses.</li> <li>• The training system at Nakawa VTI is authorized by MoES</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Survey conducted by the Project evaluation team composed of Nakawa, other key BVET institutions, and other development partners.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The qualification system is approved officially and/or, the concepts are well applied in BVET Institutions of Uganda.</li> <li>• Other development partners such as German agencies and AfDB work together with this Project to enhance effectiveness of the outputs realized by the Project.</li> </ul>
<p>(Outputs)                      1. Concept of the new qualification for instructors and managers is established.                      2. Training cycle for instructors is established.                      3. Training cycle for managers is established.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Proposal for concept of the new qualification is officially appraised.</li> <li>• More than 80 % of persons concerned in BVET institutions of Uganda are satisfied with the training system for instructors.</li> <li>• Sufficient number of Master trainers* is trained for implementation of CVTI training.</li> <li>• 58 instructors complete CVTI training.</li> <li>• More than 80 % of persons concerned in BVET institutions of</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Project record</li> <li>• Record of MoES</li> <li>• Survey conducted by the Project (ditto)</li> <li>• Module/curricula, training plan</li> <li>• Project record</li> <li>• Survey conducted by the Project</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• There are no immense changes on national policy regarding national qualification system.</li> <li>• Contents of the newly proposed qualification system does not receive negative effects/changes by UVQF's progress</li> </ul>

Handwritten signature

<p>(Activities)</p> <p><b>Output 1: Concept of new qualification</b>  1-1 To study and determine the required level and criteria for the new qualification  1-2 To confirm consistency of the level and criteria to set for the new qualification with UVQF  1-3 To formulate the concept of the new qualification.</p> <p><b>Output 2: Training system for instructors</b>  [Preparation for training module and courses]  2-1-1 To study skills and knowledge of instructors at present and their needs  2-1-2 To develop module, curricula, teaching material, and to prepare necessary equipment for training courses, looking at the consistency with UVQF  2-1-3 To set up training plan including composition of participants of classes, schedule, etc</p> <p>[Training for Master trainers 2*]  2-2-1 To select candidates of Master trainers 2  2-2-2 To conduct training for Master trainers 2</p> <p>[Training for Master trainers 1*]  2-3-1 To conduct "RPL: Recognition of Prior Learning" for participants of training courses on Master trainers 1  2-3-2 To select instructors who will participate in the training courses  2-3-3 To conduct training courses by Master trainers 2</p> <p>[Training for other instructors (prospective* CVTI holders)]  2-4-1 To conduct RPL for participants of training courses on prospective CVTI  2-4-2 To select instructors who will participate in the training courses  2-4-3 To conduct training courses by Master trainers 2 and/or 1</p>	<p>Uganda are satisfied with the training system for managers.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sufficient number of Master trainers is trained for implementation of managers training.</li> <li>• 12 managers complete managers training.</li> </ul> <p>(Input)</p> <p>Japanese side:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. JICA Long term expert</li> <li>2. JICA Short term expert(s) as necessary</li> <li>3. Equipment</li> <li>4. Counterpart training in Japan or overseas</li> <li>5. Supplemental expenses</li> </ol> <p>Ugandan side:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Counterparts</li> <li>2. Administrative personnel</li> <li>3. Necessary infrastructure for the Project including: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Office facility equipped with office furniture, electricity supply and direct telephone line, for the Project team</li> </ul> </li> <li>4. Budget for Project such as: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Training cost</li> <li>• Salaries and other allowances for Ugandan staff</li> <li>• Costs for electricity, water, gas, fuel and other contingencies</li> <li>• Operational expenses for customs clearance, storage, domestic transportation and installation</li> <li>• Expenses for maintenance of the Project facilities and equipment</li> <li>• Other necessary local expenses of the Project</li> </ul> </li> </ol>	<p>(ditto)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Module/curricula, training plan</li> <li>• Project record</li> </ul>	<p>and/or changes.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• There is no significant delay on UVQF's progress</li> <li>• Necessary facilities, equipment, materials for implementation of training courses have been well maintained.</li> <li>• Sufficient numbers of participants who meet the pre-requirement to participate in training courses are secured.</li> <li>• The Project can obtain support, advice from local industries.</li> </ul> <p>(Precondition)  • Counterparts are properly</p>
---	--	--	--

170

<p><b>[Monitoring and Evaluation]</b></p> <p>2-5-1 To monitor and evaluate training courses periodically</p> <p>2-5-2 To revise module, curricula, teaching material, reflecting the results of monitoring and evaluation</p> <p>2-5-3 To assess the performance of participants in training courses after the training</p> <p><b>Output 3: Training system for managers</b></p> <p><b>[Preparation for training module and courses]</b></p> <p>3-1-1 To study skills and knowledge of managers at present and their needs.</p> <p>3-1-2 To develop module, curricula, teaching material for training courses, looking at the consistency with UVQF</p> <p>3-1-3 To set up training plan including composition of participants of classes, schedule, etc</p> <p><b>[Training for Master trainers]</b></p> <p>3-2-1 To select candidates of Master trainers</p> <p>3-2-2 To conduct training courses for Master trainers</p> <p><b>[Training for other managers]</b></p> <p>3-3-1 To conduct RPL for participants of training courses on Managers</p> <p>3-3-2 To select managers who will participate in the training courses</p> <p>3-3-3 To conduct training courses by Master trainers</p> <p><b>[Monitoring and Evaluation]</b></p> <p>3-4-1 To monitor and evaluate training courses periodically</p> <p>3-4-2 To revise module, curricula, teaching material, reflecting the results of monitoring and evaluation</p> <p>3-4-3 To assess the performance of managers after the training</p>	<p>assigned.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Implementation body of the Project is formed through the process of mutual understandings on each role of related organizations to the Project.</li> <li>• Demarcation and cooperative roles among donors are confirmed.</li> </ul>
---	---

Note 1: The Project employs the concept of new qualification for trainers and managers, which are DVTI, Diploma in Vocational Training Instruction, CVTI, Certificate in Vocational Training Instruction, and DTIM, Diploma in Training Institution Management.

Note 2: Persons concerned in BTVET institutions of Uganda in the Objectively Verifiable Indicators means instructors, managers who received training at Nakawa VTI, and their supervisors at their BTVET institutions.

Note 3: Master trainer 2 will conduct training for Master trainer 1 and CVTI. Master trainer 1 will conduct training for CVTI.

Note 4: It is prospected that the provisional qualification will automatically transfer to the status of the official qualification after the qualification system developed by the project is authorized.

*Handwritten signature*

*Handwritten signature*



#### IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Permanent Secretary, Ministry of Education and Sports (hereinafter referred to as "MoES"), will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The commissioner of Department of Teacher and Instructor Education and Training (hereinafter referred to as "TIET"), MoES, as the Project Director, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The principal of Nakawa Vocational Training Institute (hereinafter referred to as "Nakawa VTI"), as the Project Manager will have the responsibility for the management of the Project.
4. The Japanese experts will provide necessary recommendations and advice to the Permanent Secretary of MoES, the commissioner of TIET, the principal of Nakawa VTI on any matters pertaining to the implementation of the Project.
5. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Ugandan counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
6. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VI.

(Revised content of Page 4 of original R/D agreed on 31 May, 2007)



List of Ugandan counterpart and administrative personnel

Counterpart personnel

1. Commissioner of TIET, MoES
2. Principal of Nakawa VTI
3. Deputy Principals of Nakawa VTI
4. Training Managers of Nakawa VTI
5. Instructors of Nakawa VTI

Administrative personnel

1. Administrative personnel at TIET Department, MoES
2. Administrative personnel at Nakawa VTI

(Revised content of Page 10, ANNEX IV, of original R/D agreed on 31 May, 2007)



## Joint Coordinating Committee

## 1. Functions

The Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC"), will meet at least twice a year or whenever the necessity arises, in order to fulfill the following functions:

- (1) To formulate the work plan of the Project and to coordinate and monitor the overall progress of the Project based on the Plan of Operation within the framework of the Record of Discussions
- (2) To review the result of the annual work plan and the progress of the technical cooperation
- (3) To exchange views on major issues that may arise during the implementation of the Project

## 2. Membership

The members of the JCC shall comprise as follows:

## (1) Chairperson:

- Director of Higher, Technical and Vocational Education and Training, MoES

## (2) Members:

- Commissioner of Educational Planning and Policy Analysis, MoES
- Commissioner of TJET, MoES
- Director of Directorate of Industrial Training, MoES
- Chairperson of the Industrial Training Council, MoES
- Deputy Director of Qualification Standard, DIT, MoES
- Principal of Nakawa VTI
- Deputy Principal of Nakawa VTI
- Training Manager of Nakawa VTI
- Chief Technical Advisor of PEVOT, GTZ
- Resident Representative of JICA Uganda Office
- JICA Expert(s) of the Project

## (3) Observers:

- Other personnel invited by JCC

(Revised content of Page 12, ANNEX VI, of original R/D agreed on 31 May, 2007)

ITVET PROJECT at NAKAWA VOCATIONAL TRAINING INSTITUTE  
1st CVTI Training Expenditures, Jul to Dec 2008 (33 participants)

Expenditure Items	(in US\$)											per head (/33)	for 4 prgms (x 40)
	June	July	August	Sept	Oct	Nov	Dec	Total					
Feeding	1,713,600	8,096,800	7,506,600	1,916,700	5,748,400	8,653,772	8,462,940	42,098,712			1,275,719	51,028,742	
Maintenance	2,273,200	7,106,750	3,089,000	1,825,000		1,260,000	1,225,000	16,778,950			508,453	20,338,121	
Medical		414,000	791,000			850,000		2,055,000			62,273	2,490,909	
Transport refund		490,000	490,000			490,000	490,000	1,960,000			59,394	2,375,758	
Printing G I								0			0	0	
Facilitation allowance	635,500	2,481,300	1,158,350	376,650		3,018,200	4,494,800	12,164,800			368,630	14,745,212	
Meeting expenses including JCC	861,000	760,000	340,000				200,000	2,161,000			65,485	2,619,394	
Text book Printing	80,000		80,000					160,000			4,848	193,939	
Study Tour/Site seeing			173,000			213,000		386,000			11,697	467,879	
Training materials & other expendable supplies	4,890,000	11,267,000	7,810,750	5,989,933		8,455,500	18,939,920	57,353,103			1,737,973	69,518,913	
Safety wear (Overcoats)			1,410,000	180,000				1,590,000			48,182	1,927,273	
Communication expenses , Telephone, Fuel	2,360,000	451,000	529,500			320,000	1,000,000	4,660,500			141,227	5,649,091	
Utilities			340,000			9,674,681		10,014,681			303,475	12,139,007	
<b>Sub-total (NVTI, recurrent) (A)</b>	<b>12,813,300</b>	<b>31,066,850</b>	<b>23,718,100</b>	<b>10,288,283</b>	<b>5,748,400</b>	<b>32,935,153</b>	<b>34,812,660</b>	<b>151,382,746</b>			<b>4,587,356</b>	<b>183,494,238</b>	
Recreation		700,000	334,000			528,800	2,897,700	4,460,500			135,167	5,406,667	
Renovation of Dormitories and Admn block	16,697,500	14,628,900	1,208,000	3,380,200			5,885,000	41,799,600			1,266,655	50,666,182	
Renovation & Furnishing of Lecture room	18,323,220	4,730,800	355,000	6,310,250			7,340,810	37,060,080			1,123,033	44,921,309	
<b>Sub-total (NVTI, not recurrent) (B)</b>	<b>35,020,720</b>	<b>20,059,700</b>	<b>1,897,000</b>	<b>9,690,450</b>	<b>0</b>	<b>528,800</b>	<b>16,123,510</b>	<b>83,320,180</b>			<b>2,524,854</b>	<b>100,994,158</b>	
Raw material & consumables (borne by JICA, recurrent) (C)								45,248,000			1,371,152	54,846,061	
<b>Grand Total (A)+(B)+(C)</b>								<b>279,950,926</b>			<b>8,483,361</b>	<b>339,334,456</b>	

Source: NVTI Finance Dept. &amp; JICA Experts



## LIST OF COUNTERPART PERSONNEL

Name	Title
Mrs. Maegaret N. Nsereko	Commissioner of TIEF
Mr. Musoke Matovu	Principal, Nakawa VTI
Mr. Kiwanuka Mukumbi C.	Deputy Principal (Administration), NAKAWA VTI
Mr. Muwanga F.	Deputy Principal (Training), NAKAWA VTI
Mr. Oteka Albino	Training Manager, NAKAWA VTI
Mr. Omoo F.	Head of Department, Electronics, NAKAWA VTI
Mr. Peter Edema	Instructor, Electronics, NAKAWA VTI
Mr. Rujumba M.	Instructor, Electronics, NAKAWA VTI
Ms. Kegezi H.	Instructor, Electronics, NAKAWA VTI
Mr. Apilre W.	Instructor, Electronics, NAKAWA VTI
Ms. Asimwe L.	Head of Department, Electricity, NAKAWA VTI
Mr. Okumu S.	Senior Instructor, Electricity, NAKAWA VTI
Ms. Nakakande H.	Instructor, Electricity, NAKAWA VTI
Ms. Janat Were	Instructor, Electricity, NAKAWA VTI
Mr. Okello H. Phillip	Instructor, Electricity, NAKAWA VTI
Mr. Kamba Ben	Instructor, Electricity, NAKAWA VTI
Mr. Abdu Ssemakula	Assistant Instructor, Electricity, NAKAWA VTI
Mr. Mubiru D.	Head of Department, Motor Vehicle, NAKAWA VTI
Mr. Asimwe P.	Senior Instructor, Motor Vehicle, NAKAWA VTI
Mr. Madila Alex	Senior Instructor, Motor Vehicle, NAKAWA VTI
Mr. Musanje J.	Assistant Instructor, Motor Vehicle, NAKAWA VTI
Mr. Sseguya J.	Instructor, Motor Vehicle, NAKAWA VTI
Mr. Kibirige Njoki J.	Instructor, Motor Vehicle, NAKAWA VTI
Mr. Lule D.	Instructor, Motor Vehicle, NAKAWA VTI
Mr. Sebanakitta Wilson	Assistant Instructor, Motor Vehicle, NAKAWA VTI
Mr. Mafabi Peter	Head of Department, Sheet Metal, NAKAWA VTI
Mr. Okello J.	Chief Instructor, Sheet Metal, NAKAWA VTI
Mr. Kazibwe R.	Instructor, Sheet Metal, NAKAWA VTI
Mr. Keeya Francis	Assistant Instructor, Sheet Metal, NAKAWA VTI
Mr. Kaweesa R.	Instructor, Sheet Metal, NAKAWA VTI
Mr. Mayanja F.	Head of Department, Welding, NAKAWA VTI
Mr. Eliachu .D.	Senior Instructor, Welding, NAKAWA VTI
Mr. Wanyama I.	Instructor, Welding, NAKAWA VTI
Mr. Mutumba G.	Instructor, Welding, NAKAWA VTI
Mr. Janja	Instructor, Welding, NAKAWA VTI
Ms. Nassaza J.	Instructor, Welding, NAKAWA VTI

## ANNEX XII: GOVERNMENT OF UGANDA COMMITMENTS

1. To appraise and ensure that qualifications are officially approved in the near future
2. To authorize the training system established at Nakawa and ensure recognition as a national standard
3. To conduct a tracer study of graduates from Nakawa programmes and establish a data base
4. To determine the accreditation and awards body for the new qualifications
5. To ensure UVQF approach is made operational as soon as possible
6. To provide recurrent and development funds for instructor training at Nakawa and other instructor training institutions
7. Facilitate DIT to operationalize both UVQF and ITC
8. Provide financial support to instructors and institutions while the trainees are in training
9. Provide necessary budget for development of assessment instruments for the CVTI course currently coming to an end.



プロジェクトの達成度

プロジェクトの要約	指標	達成度
<p>&lt;上位目標&gt; ウガンダ国内の職業訓練校が、知識・技術の両面において、より質の高い指導員、管理者を擁する。</p>	<p>1. 2014 年までに DVTI 保有者もしくは DVTI の構想に基づく知識・技術レベルを満たす指導員が 60 人に達する。 2. 2014 年までに DTIM 保有者もしくは DTIM の構想に基づく知識・技術レベルを満たす管理者が 160 人に達する。 3. 2014 年までに CVTI 保有者もしくは CVTI の構想に基づく知識・技術レベルを満たす指導員が 500 人に達する。</p>	<p>- UVQF の導入についての方向性の変更はなく、作業も進みつつあるものの、プロジェクトが実施する指導員及び管理者訓練が UVQF 制度の下で認められるまでには、まだ多くの手続が必要となると思われる。 - プロジェクトが実施する指導員及び管理者訓練の期間が当初計画よりも長くなったため、これまでに完了したものはなく、現段階では、CVTI, DVTI, DTIM の修了者人数を評価することは時期尚早である。 - 訓練期間が当初想定よりも長期化した結果、プロジェクト期間内に訓練を修了する人数の減少が見込まれる。これを指標の設定に反映させるよう検討することが必要である。</p>
<p>&lt;プロジェクト目標&gt; ナカワ職業訓練校における指導員・管理者訓練システムの基盤が構築される。</p>	<p>1. 職業訓練校関係者の 80%以上が構築された指導員・管理者訓練システムに満足する。 2. 訓練受講者の 80%以上が各コースにおける最終試験に合格する。 3. ナカワ VTI における訓練システムが教育相に承認される。</p>	<p>- プロジェクトが実施する訓練が実施中である現時点では、それらを評価するには時期尚早であるが、2008 年 12 月にナカワ VTI で終了した 3 つの CVTI プログラムの参加者アンケートでは、ほとんどの参加者が訓練を肯定的に評価しており(参加者 33 名のうち 2 名のみ、訓練が期待に沿ったものでなかったという否定的な評価回答であった)、訓練参加者の満足度は高いと考えられる。またその CVTI 訓練に参加した指導員が所属する VTI の訓練生からも、「指導員の説明が以前と比較して非常に分かり易くなった」など、肯定的な意見があった。MoES 職員及び VTI 管理者の満足度は、時期尚早であることもあり、評価できる段階にない。 - 訓練に参加した指導員の現場での能力向上は、修了者がいない現時点ではまだ評価できない。 - プロジェクトが実施する指導員訓練及び管理者訓練はここまで MoES 関係者との協議に基づいて実施されているが、まだその導入が進行中である UVQF 制度による公式の認可が必須である。MoES のステークホルダーとの議論では、プロジェクトの実績を UVQF 制度に取り入れる意向が確認され、特に事前に R/D でも合意したとおりプロジェクトで実施した訓練修了者に UVQF 制度にて認定する資格を付与することも再度確認された。</p>
<p>&lt;成果 1&gt; 指導員・管理者の資格コンセプトが設定される。</p>	<p>1. 提案された資格制度が政府内部で公式に審査される。</p>	<p>- プロジェクトが提案する新資格のコンセプトペーパーが専門家の支援により作成され、MoES の意向を確認するために提出された。 - プロジェクト目標を達成するためには、新資格のコンセプトが審査されるだけでは不十分であり、自立発展性を保つためにもプロジェクトが提案する資格制度の承認が必要である。</p>
<p>&lt;成果 2&gt; 指導員訓練サイクルが確立する。</p>	<p>1. 職業訓練校関係者の 80%以上が実施された指導員訓練に満足する。 2. CVTI 訓練実施に十分な数のマスタートレーナーが養成される。 3. 85 人の CVTI 保有者が養成される。</p>	<p>- プロジェクトが実施する訓練が未だ完了していない現在、職業訓練校関係者に対する満足度調査には時期尚早である。満足度調査は、訓練修了者及び彼らが所属する VTI の上司を対象にして実施することが適切であると考えられる。 - 本邦研修を通じ、8 名の MT2 が養成された。彼らを講師とした MT1 養成訓練は、定員を 12 名として 2009 年 7 月</p>

		<p>より実施する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 33名の指導員が、ナカフVPIでCVPI訓練を修了し、それぞれの所属するVTIで応用訓練を実施している。また40名の指導員が2009年1月にCVPI訓練を開始したところである。その後、別の40人の指導員がプロジェクト期間中に訓練を受ける計画である。</li> <li>- CVPI訓練の期間が当初想定よりも長くなり、実施可能回数が少なくなると、その修了者の人数を見直すことが必要である。</li> </ul>
<p>&lt;成果3&gt; 管理者訓練サイクルが確立する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職業訓練校関係者の80%以上が実施された管理者訓練に満足する。</li> <li>2. 十分な数のマスタートレーナーが養成される。</li> <li>3. 20人が管理者訓練を修了する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクトが実施する訓練が未だ完了していない現在、職業訓練校関係者に対する満足度調査には時期尚早である。</li> <li>- 本邦研修を通じ、2名のMTが養成された。さらに2名が2009年に本邦研修を受講する予定である。</li> <li>- 15名のVTI管理者が、選考を経て2009年7月からナカフVPIでの管理者養成訓練を受講する計画となっている。</li> </ul>

## 実施プロセスの状況

評価項目	確認事項	情報源	結果
活動の進捗	計画と実績の比較	各種報告書 関係者への聞き取り	基本的にプロジェクトは、計画された活動を進めてきている。しかしながら、訓練機材調達や本邦研修の時期などに遅れが発生した影響で、活動にも遅れが生じている。結果として、いくつかの活動の時期を遅らせるよう調整したPOの修正が必要となった。
技術移転の方法	プロジェクト実施体制	各種報告書 関係者への聞き取り	指導員及び管理職の訓練は、カスケード方式で実施されている。MoESが訓練実施を行う十分な数の訓練機関を決定でき、十分な人数のマスタートレーナーが養成されることが、カスケード方式での効果的な実施の条件となるが、現時点では訓練実施が可能なキャパシティを持った訓練機関がナカワVVTI以外にない状態である。
	本邦研修の整合性	関係者への聞き取り	CVTI訓練を実施しているMTIは、現在積極的に訓練活動に取り組んでいる。その背景には、4分野(電気、電子、自動車、金属加工)についての本邦研修を通じて、専門分野の知識と技術を向上させたことがあると判断される。
コミュニケーション	日本人専門家とC/Pのコミュニケーション	各種報告書 関係者への聞き取り	日本人専門家は、ナカワVVTIマネジメントレベルを含むC/Pと協働し、プロジェクト活動を効果的かつ効率的に進めている。日本人専門家とウガンダ側C/Pとの間に非常に良好な信頼関係が構築されていることが確認された。
ナカワVVTI職員のプロジェクトの理解度	オーナーシップ及びコミットメント	関係者への聞き取り	ウガンダ側関係者のプロジェクトのオーナーシップは非常に高い。現時点でまとまった規模の指導員を対象として訓練活動を行っている唯一の支援プロジェクトであることが、その理由の一つであると考えられる。BTVETセクターにおいて、指導員訓練の優先度が高いことも確認されており、MoESが本プロジェクトの成果を最大限に活用したいという意向が確認できた。

評価項目	確認事項	情報源	結果
C/Pの配置	組織改変の影響	関係者への聞き取り	ナカワVTIの関連する指導員はほとんど全て協働してプロジェクト活動を進めていることが確認された。CVTI訓練は、プロジェクト開始以前の訓練活動から見ると追加の訓練活動であり、指導員たちに負担がかかっているのも確かである。よって、MoESあるいはナカワVTIの人員費予算が許すならば、指導員の増員が望まれる。ナカワVTIのマネジメントレベルも、経理、寮の管理、訓練用備品調達など、異なる部署が協力してプロジェクト実施に積極的に取り組んでいる。
プロジェクト実施過程で発生している課題・問題	プロジェクト実施による訓練への参加状況	各種報告書 関係者への聞き取り	第1回CVTIの参加の状況は良好である。36人の受講者で開始し、うち33名がナカワVTIでの訓練を終了した。VTI関係者からのCVTI訓練に対する期待は既に高いと思われる。

活動項目リスト

計画された活動	結果
<p>1-1. 新資格制度に於ける資格要件、知識・技能レベルについて調査を行い、決定する。</p> <p>1-2. 設定した資格要件、レベルと UVQF の整合性を確認する。</p> <p>1-3. 新資格にかかる構想をまとめる。</p>	<p>1-1 CVTI 訓練及び管理者訓練の Occupational Profile(OP)は作成済みである。DVTI 訓練の OP は、訓練開始までに今後作成予定である。UVQF 上でのレベルについての提案も、プロジェクトから MoES にされている。</p> <p>1-2 UVQF 上でのプロジェクトが開発した訓練プログラムのレベル及び認定基準については、現在その整合性を確保すべく、協議と調整作業が進められている。</p> <p>1-3 プロジェクトが提案する新資格についてのコンセンサスレポートが作成、提出され、MoES がその導入の検討を進めている。</p>
<p>2-1-1. 現状の指導員の知識・技能および訓練ニーズについて調査を行う。</p> <p>2-1-2. UVQF の進捗に留意しながら、訓練モジュール、カリキュラム、教材の作成および訓練に必要な資格要件を調査する。</p> <p>2-1-3. [2-1-1]での調査内容を反映しながら、参加者、タスク、イムスタージュール等をまとめた訓練計画を策定する。</p> <p>2-2-1. マスター1 レーナ2 の候補者を選定する。</p> <p>2-2-2. マスター1 レーナ2 に対する訓練を実施する。</p> <p>2-3-1. マスター1 レーナ1 訓練参加者の知識・技能を把握し、訓練開始前のレベルチェック (RPL) を行う。</p> <p>2-3-2. マスター1 レーナ1 訓練参加者を決定する。</p> <p>2-3-3. [2-1-2]で作成された教材および[2-1-3]で設定された訓練計画に基づき、マスター1 レーナ2 を教官とする訓練を実施する。</p> <p>2-4-1. CVTI 訓練参加者の知識・技能を知る為に、訓練開始前のレベルチェック (RPL) を行う。</p> <p>2-4-2. CVTI 訓練参加者を決定する。</p> <p>2-4-3. [2-1-2]で作成された教材および[2-1-3]で設定された訓練計画に基づき、マスター1 レーナ1 もしくは2 を教官とする訓練を実施する。</p> <p>2-5-1. 訓練コースについて定期的なモニタリング、評価を実施する。</p> <p>2-5-2. モニタリング、評価の結果を反映して、適宜訓練モジュール、カリキュラム、教材を改訂する。</p> <p>2-5-3. マスター1 レーナ1、および一般指導員の訓練終了後のパフォーマンスを査定する。</p>	<p>2-1-1 ナカワ VTI 単独調査 (2007 年 1 月) とプロジェクト実施による調査 (2007 年 8 月) に基づいて、指導員訓練ニーズを確認した。</p> <p>2-1-2 MT2 訓練のためのカリキュラム、CVTI 訓練のための OP 及びカリキュラム、DVTI 訓練のためのカリキュラムが作成された。DVTI 訓練の OP の作成が今後必要である。また、訓練指導案、インフォメーションシート、ワークシート、課題シートといった CVTI 訓練教材が作成された。今後 DVTI 訓練のための教材作成が必要である。</p> <p>2-1-3 訓練計画は、さまざまな条件を考慮して、PO にまとめられている。</p> <p>2-2-1 電気、電子、自動車、金属加工の 4 分野の MT2 養成本邦研修に、それぞれ 2 名ずつ計 8 名が選定された。</p> <p>2-2-2 MT2 養成の本邦研修には、5 名(電子 2 人、自動車 1 人、金属加工 2 人) が 2008 年 1 月～3 月に、また 3 名 (電気 2 人、自動車 1 人) が 2008 年 7 月～10 月に参加した。</p> <p>2-3-1 RPL の方針、方法を変更し、訓練受講候補者を対象とするのではなく、訓練実施中に受講者のみを対象にして、主に診断的評価を目的として行うことにした。</p> <p>2-3-2 MT 訓練受講者は 2009 年 4 月に選定。3 人 x 4 分野で 12 人選定の方向で検討されている。</p> <p>2-3-3 第 1 回 MT 1 訓練は、2009 年 7 月から実施の予定である。</p> <p>2-4-1 RPL の方針、方法を変更し、訓練受講候補者を対象とするのではなく、訓練実施中に受講者のみを対象にして、主に診断的評価を目的として行うことにした。</p> <p>2-4-2 MoES、UGAPRIV、ナカワ VTI の協議の結果として、第 1 回 CVTI には 36 人(電子、自動車、金属加工それぞれ 12 人ずつ)、第 2 回 CVTI には 40 人(電子、電気、自動車、金属加工それぞれ 10 人ずつ) 選定出されている。選考基準としては、公立と私立のバランス、地域的バランス、ジェンダーバランスが考慮された。</p> <p>2-4-3 第 1 回 CVTI 訓練では 36 人中 33 人がナカワ VTI での訓練を修了し応用訓練実施中、第 2 回 CVTI には 40 人がナカワ VTI での訓練を 2009 年 1 月より受講中である。</p>

<p>3-1-1. 現状の管理者の知識・技能および訓練ニーズについて調査を行う。</p> <p>3-1-2. UVQFの進捗に留意しながら、訓練モジュール、カリキュラム、教材の作成および訓練に必要な資料を調査する。</p> <p>3-1-3. [3-1-1]での調査内容を反映しながら、参加者、タイムスケジュール等を含めた訓練計画を策定する。</p> <p>3-2-1. マスタートレーナーの候補者を選定する。</p> <p>3-2-2. マスタートレーナーに対する訓練を実施する。</p> <p>3-3-1. DTIM 訓練参加者の知識・技能を知る為に、訓練開始前のレベルチェック (RPL) を行う。</p> <p>3-3-2. DTIM 訓練参加者を決定する。</p> <p>3-3-3. [3-1-2]で作成された教材および[3-1-3]で設定された訓練計画に基づき、マスタートレーナーを教官とする訓練を実施する。</p> <p>3-4-1. 訓練コースについて定期的なモニタリング、評価を実施する。</p> <p>3-4-2. モニタリング、評価の結果を反映して、適宜訓練モジュール、カリキュラム、教材を改訂する。</p> <p>3-4-3. 一般管理者の訓練終了後のパフォーマンスを査定する。</p>	<p>2-5-1 ナカワ VTI での CVTI 訓練のモニタリング評価の方法については、前述の RPL も併せた形で実施されている。応用訓練のモニタリング評価は、現在その方法案が作成され、現在実施中である第1回 CVTI 訓練の応用訓練に対して試行的に実施した。UVQF 関連の情報によると、UVQF 制度で訓練を認証するためには、ATP(Assessment Training Package)の作成承認手続きが必須となっており、ATP の一つのコンポーネントとして Assessment Instrument の作成が条件付けられている。CVTI 訓練の Assessment Instrument はまだ作成されておらず、今後その作成及び承認が必要となる。UVQF 制度で CVTI 訓練が認証されるよう、UVQF 制度が養成する ATP に沿った内容にすることが求められている。</p> <p>2-5-2 第1回 CVTI 訓練が終了後、モニタリング評価の結果を分析の上で CVTI 訓練の内容を改定する予定である。既に第2回 CVTI 訓練が開始されているため、この改定は第3回訓練に反映されることになる。なお、微細な調整及び修正は、既に第2回 CVTI 訓練に際して反映されている。</p> <p>2-5-3 訓練終了後に、訓練の成果の評価を実施する計画である。</p>
<p>3-1-1 ナカワ VTI 単独調査(2007年1月)とプロジェクト実施による調査(2007年8月)に基づいて、指導員訓練ニーズを確認した。</p> <p>3-1-2 管理者訓練のカリキュラムは作成されており、現在は教材の作成中である。</p> <p>3-1-3 訓練計画は、さまざまな条件を考慮して PO にまとめられている。</p> <p>3-2-1 管理者訓練の MT として、4名が選定された。</p> <p>3-2-2 2008年9月から11月に、2名に対して本邦研修を実施した。別の2名に対して、2009年に実施する計画である。</p> <p>3-3-1 RPL の方針、方法を変更し、訓練受講候補者を対象とするのではなく、訓練実施中に受講者のみを対象にして、主に診断的評価を目的として行うことにした。</p> <p>3-3-2 VTI 管理者訓練の受講候補者は、2009年4月に選定される。</p> <p>3-3-3 第1回 VTI 管理者訓練は、2009年7月開始の予定である。</p> <p>3-4-1 UVQF 関連の情報によると、UVQF 制度で訓練を認証するためには、ATP(Assessment Training Package)の作成承認手続きが必須となっており、ATP の一つのコンポーネントとして Assessment Instrument の作成が条件付けられている。管理者訓練の Assessment Instrument はまだ作成されておらず、今後作成承認が必要となる。UVQF 制度で管理者訓練が認証されるよう、UVQF 制度が養成する ATP に沿った内容にすることが求められている。</p> <p>3-4-2 管理者訓練は未だ開始されていないが、第1回管理者訓練の終了後、モニタリング評価の結果を分析のうえで CVTI 訓練の内容を改定する予定である。</p> <p>3-4-3 訓練終了後に、訓練の成果の評価を実施する計画である。</p>	<p>3-1-1 ナカワ VTI 単独調査(2007年1月)とプロジェクト実施による調査(2007年8月)に基づいて、指導員訓練ニーズを確認した。</p> <p>3-1-2 管理者訓練のカリキュラムは作成されており、現在は教材の作成中である。</p> <p>3-1-3 訓練計画は、さまざまな条件を考慮して PO にまとめられている。</p> <p>3-2-1 管理者訓練の MT として、4名が選定された。</p> <p>3-2-2 2008年9月から11月に、2名に対して本邦研修を実施した。別の2名に対して、2009年に実施する計画である。</p> <p>3-3-1 RPL の方針、方法を変更し、訓練受講候補者を対象とするのではなく、訓練実施中に受講者のみを対象にして、主に診断的評価を目的として行うことにした。</p> <p>3-3-2 VTI 管理者訓練の受講候補者は、2009年4月に選定される。</p> <p>3-3-3 第1回 VTI 管理者訓練は、2009年7月開始の予定である。</p> <p>3-4-1 UVQF 関連の情報によると、UVQF 制度で訓練を認証するためには、ATP(Assessment Training Package)の作成承認手続きが必須となっており、ATP の一つのコンポーネントとして Assessment Instrument の作成が条件付けられている。管理者訓練の Assessment Instrument は未だ作成されておらず、今後作成承認が必要となる。UVQF 制度で管理者訓練が認証されるよう、UVQF 制度が養成する ATP に沿った内容にすることが求められている。</p> <p>3-4-2 管理者訓練は未だ開始されていないが、第1回管理者訓練の終了後、モニタリング評価の結果を分析のうえで CVTI 訓練の内容を改定する予定である。</p> <p>3-4-3 訓練終了後に、訓練の成果の評価を実施する計画である。</p>

評価項目	評価の細目	確認事項	情報源	結果
妥当性	ウガンダ国社会のニーズとの整合性	- 国家開発計画 - ステークホルダーの見解	- 関係者への聞き取り	- 国家開発計画(National Development Plan)が現在策定されており、2009年7月に発表される見込みである。基礎教育の充実と産業開発の双方の観点から、職業訓練の需要が減少することはないと考えられる。 - 世界同時経済危機の影響は、現時点では最小限に留まっており、労働市場に大きな影響は与えていない。
	裨益者グループのニーズとの整合性	VTI指導員訓練の優先度	- 関係者への聞き取り(MoES、VTI)	- 指導員能力、訓練施設設備、訓練機材、労働市場の需要に対応したカリキュラムなどがVTIの課題であることが確認された。 - 指導員訓練のニーズの優先度が高いことは確認された一方、訓練インフラ強化とカリキュラム開発のニーズについても、対策が必要であることが確認された。
	ウガンダ国の開発戦略政策との整合性	- 国家開発計画 - BTSET法の施行状況	- 関係者への聞き取り(MoES、JICAウガンダ事務所)	- 上位開発計画文書"Poverty Eradication Action Plan"が現在レビューされており、その結果の下に後継開発計画"National Development Plan"が策定される。当該開発計画が発表された際には、プロジェクト目標などの整合性に付き、確認することが必要である。 - BTSET法案は議決されており、その施行の方向性に変更はないと考えられる。プロジェクト設計とも整合している。法案の通過を受けて、実施のための規則(regulation)案が作成され、MoESの政策策定事務局に提出されている。これが政府より承認を受けた後に、BTSET法が正式に施行されることになると考えられる。プロジェクトチームは、MoESからの情報収集を行い、さらに必要であれば提案や協議を行い、当該法の早い施行へ働きかけることが望ましい。
	日本の援助政策との整合性	- JICAの援助方針	- JICA個別援助方針	- 日本国の対ウガンダ国援助方針は、2009年7月に発表が予定されている"National Development Plan"を支援する方針で策定される予定である。過去に対ウガンダ国援助方針は策定されておらず、これが策定されれば初めての援助方針となる。 - JICAの対ウガンダ支援活動に係る方針の重点分野の一つには、人的資源開発があげられており、本プロジェクト支援は妥当である。

評価項目	評価の細目	確認事項	情報源	結果
	プロジェクトの戦略/アプローチの妥当性	指導員養成アプローチの適切性	関係者への聞き取り(MoES, VTI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>-職業訓練指導員養成は、ウガンダ国のBT/VETセクターの喫緊の課題の一つである。</li> <li>-ウガンダ国の現状で、より多くの指導員に対して、指導員訓練を限られた投入にて効率よく実施するためには、カスケード手法が最適である。</li> <li>-CVTI訓練に対する指導員からの期待は、技術向上及び公認資格取得の双方の面から高い。自立発展性の確保のためには、UVQF制度上でのCVTIの認証は適切である。</li> </ul>
妥当性	選定された裨益者の妥当性 選択した訓練コースの妥当性 プロジェクト実施スケジュールの妥当性 支援に係る日本の技術と経験の優位性	-NVTI選定の妥当性 -訓練対象指導員及び管理者選定の妥当性 対象訓練コース選定のプロセス プロジェクト実施期間 -日本の指導員養成訓練研修の経験の活用	・関係者への聞き取り(MoES, VTI) ・関係者への聞き取り(NVTI, JICA専門家) ・関係者への聞き取り(NVTI, JICA専門家) ・関係者への聞き取り(JICA専門家) ・各種報告書 ・関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>-ナカフVTIは、主に日本の支援によって強化された施設設備及び訓練機材、また職員の能力面から、指導員訓練に最適なVTIであると思われる。同VTIを指導員訓練の中心として活用することは、適切である。</li> <li>-ウガンダ国産業界の状況に大きな変化は見られず、製造業、自動車整備産業、情報通信産業は2007年のプロジェクト開始当時と同様に着実に発展している。</li> <li>-プロジェクトが実施する訓練の期間が当初想定よりも長くなったため、39ヶ月という与えられた期間内に訓練の実施回数を少なくするよう調整が必要になった。この点からは、プロジェクト期間が39ヶ月よりも長い方が良いとも言える。</li> <li>-過去の支援を通じて、ウガンダ国の関係者は日本の当該セクターへの支援の性格についてよく理解している。技術面のみではなく職業訓練開発に対する考え方においても、信頼関係が構築されていることが確認された。</li> </ul>
有効性	プロジェクト目標の達成に対する阻害要因	プロジェクト目標の達成状況	関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>-GTZIによるPEVOTとの連携は、UVQFタスクフォースで定期的に協議されており、当該プロジェクトとの関係から生じる阻害要因はないと思われる。</li> <li>-一方で世銀またベルギーが、職業訓練分野への支援を開始するという情報も得られており、プロジェクトチームは関連する情報をMoESから常日頃収集することが望ましい。</li> <li>-月例のMoES主催による開発パートナー会議は、ドナーが情報交換を行う良い機会であると思われる。</li> </ul>

評価項目	評価の細目	確認事項	情報源	結果
有効性	<p>成果からプロジェクト目標に到る有効性</p>	<p>BTVET法の施行状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者への聞き取り (MoES)</li> </ul>	<p>-BTVET法の下でのUVQF制度は、実際の運用を開始するまでにすべき準備作業がまだ多くあるようである。その運用開始前に、プロジェクトが完了してしまう可能性も十分にありうる。プロジェクト関係者は、プロジェクト目標達成のためにも、UVQF関連動向に十分に留意する必要がある。</p>
	<p>プロジェクト目標達成に対する外部条件の影響</p>	<p>PDMの外部条件の状況</p>	<p>-Interview to MoES, JICA Experts</p>	<p>-BTVET改革の方向性に変更はないことが確認された。 -UVQF制度運用の中心となると考えられるDITは、プロジェクトの成果をUVQF制度に取り入れることに前向きな姿勢を示している。</p>
	<p>成果の達成度</p>	<p>成果の指標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種報告書</li> <li>関係者への聞き取り</li> </ul>	<p>付属資料3を参照</p>
	<p>成果の達成に対する阻害要因</p>	<p>訓練への参加の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種報告書</li> <li>関係者への聞き取り</li> </ul>	<p>-CVTI訓練に参加する指導員の所属するVTIでは、通常より少ない人数の指導員で訓練活動を実施することが負担となるが、しかしこれらVTIのマネジメントはそれでも当該訓練に指導員を参加させることに意欲を見出している。訓練に参加している指導員の給与の負担も障害となると考えられるが、民間のVTIでも訓練参加のため訓練に従事していない指導員の給与を全額支払っているという機関もあった。</p>
効率性	<p>投入の成果達成に対する効率性</p>	<p>プロジェクトによる投入内容の適切性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種報告書</li> <li>関係者への聞き取り</li> </ul>	<p>-日本人専門家の各々の担当分野は適切である。4訓練科目の担当の4分野短期専門家については、当初計画では想定してはいなかったが、マスタートレーナー1訓練実施支援のための派遣が必要と考えられる。管理音訓練担当の短期専門家については、職業訓練校運営管理、関連法制度など幅広い範囲での支援が求められるが、派遣された専門家は日本での長年の経験に加えて、ODA支援での発展途上国の職業訓練開発の経験も豊かであり、ウガンダ国側のニーズに適切に対応していると思われる。 -プロジェクトが供与する訓練機材の選定は適切であったが、部分的に調達が遅れが生じている。これら供与機材の調達完了した段階で、その有効活用と適切な維持管理のための訓練を施すことが望ましく、4訓練科目担当短期専門家の今後の派遣の担当業務とすることの検討が望ましい。</p>

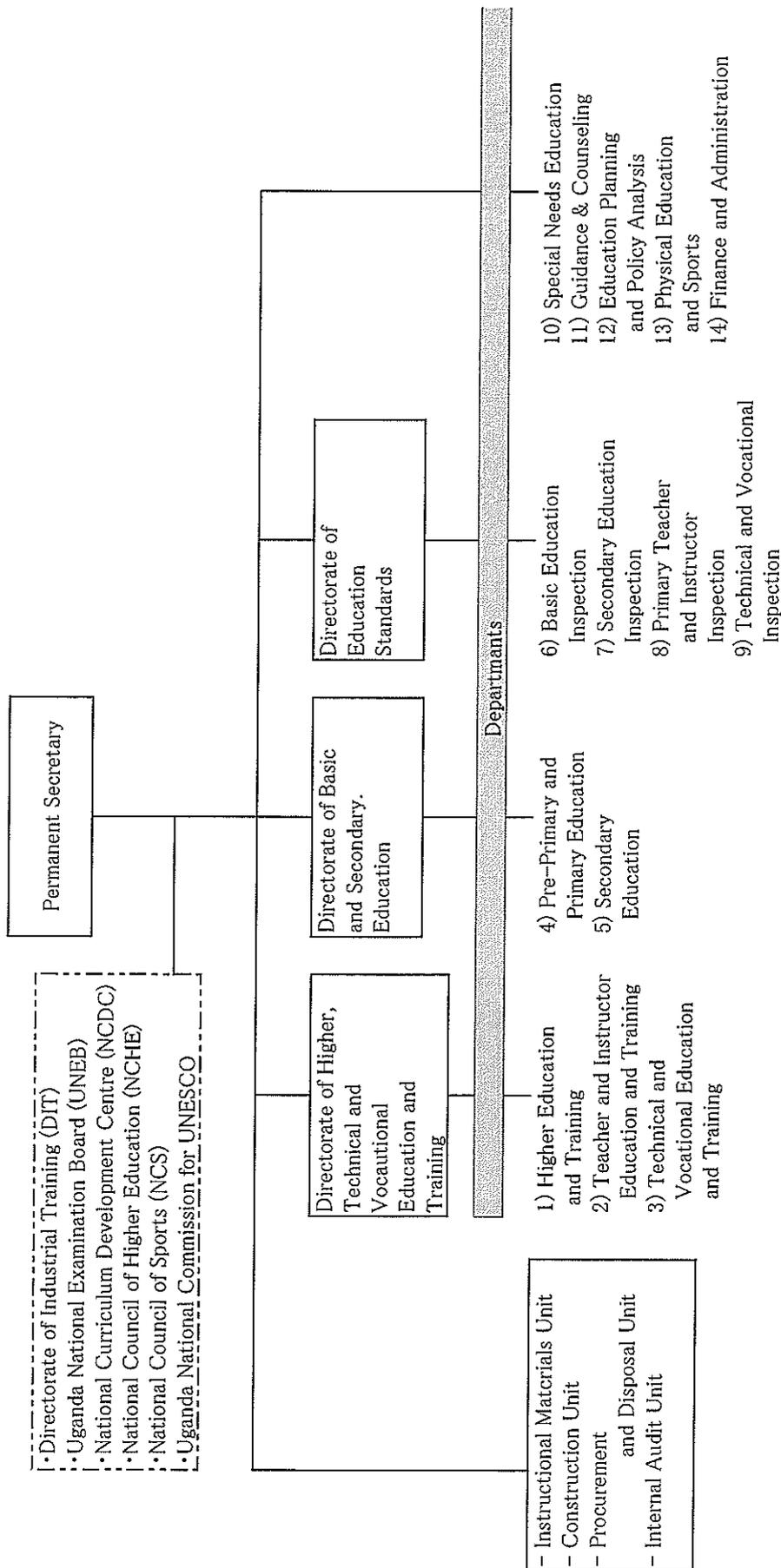
評価項目	評価の細目	確認事項	情報源	結果
効率性	活動の成果達成に対する効率性	プロジェクトによる活動内容の適切性	・各種報告書 ・関係者への聞き取り	-全体的には、活動内容は適切と思われる。しかしながら、UVQF制度で訓練プログラムの認定を受けるためには、ATP (Assessment Training Packages)の作成が必要であり、その構成要素であるOccupational ProfileとAssessment Instrumentの開発の必要性がある。
	成果達成に対する外部条件の影響	-BTVEF法の施行状況 -訓練参加状況 -産業界の関与の状況	・関係者への聞き取り	-BTVEF法及びUVQF制度の方向性に変更はないが、その実際の施行あるいは運用には、まだ時間がかかると思われる。 -NVTIの訓練施設及び機材は適切に維持管理されている。 -これまでに実施されたCVTI訓練への参加状況は想定どおりであり、危惧された応募者不足あるいは中途辞退者などは問題になっていない。 -産業界からの代表者を交えてOccupational Profileを作成するなど、産業界からの関与が確認された。
インパクト	投入の質、量、時期の適切性	投入の状況	・各種報告書 ・関係者への聞き取り	-6つの異なる分野の日本人専門家の投入は、短期専門家数名について派遣時期の遅れが生じているが、基本的には計画通り派遣されている。現時点での専門家派遣の合計は、38.3M/AMである。 -訓練機材の一部に調達遅れが生じている。これにより、CVTI訓練内容を一部調整することになった。マスタートレーナー1訓練が開始される2009年7月までには、全て納品届けられる予定である。
	上位目標の達成度	上位目標の指標の達成状況	・各種報告書 ・関係者への聞き取り	CVTI訓練の内容は、指導員の訓練ニーズに適切に対応していると思われる。民間を含めた職業訓練機関からの指導員の質的向上の期待が高いことも、確認された。
	上位目標の達成に対する阻害要因	上位目標を達成するための諸条件の状況	・関係者への聞き取り	-CVTIのUVQF制度上での認定が重要であることとの認識は共有されている一方で、UVQF制度の運用の開始の時期と具体的な手続きがまだ明らかになっていない。 -CVTI訓練実施の予算確保が、特にプロジェクト終了後には必須である。MoES関係者の理解を促進するため、プロジェクトからの働きかけが望ましいと思われる。 -CVTI訓練の重要なリソースであるマスタートレーナーが養成された数年後に、離職や異動などで活用出来なくなるリスクは十分に有り得るので、その場合の認識と対策の検討が望ましい。

評価項目	評価の細目	確認事項	情報源	結果
インパクト	上位目標とプロジェクト目標との因果関係	両者の論理的整合性	各種報告書 関係者への聞き取り	-CVTI訓練の受講者人数制限が、上位目標を達成するために重要な要素となる。ナカフVVTI以外のVVTIでの実施またナカフVVTIでの受講人数増加の検討が必要である。
	上位目標達成に対する外部条件の影響	BTVET法の施行状況	関係者への聞き取り	-BTVET法そのものは既に有効であるが、実際に施行に到るには、実施規則(regulation)の承認から運用までにはまだ時間がかかると考えられる。
	上位目標以外のインパクトと負のインパクトへの対策	JICA及び他ドナーによる他のプロジェクト/プログラムへのインパクトの有無	関係者への聞き取り(JICAウガンダ事務所)	-ウガンダ国の職業訓練セクターへのJICAによる本プロジェクト以外の支援は、ボランティア派遣を除くは全くない。 -現時点での他ドナー支援へのインパクトはないが、今後AIDB、WB、ベルギーなどの支援が予定されており、本プロジェクトで開発した指導員訓練などを活用した訓練活動が実施される可能性もある。プロジェクト側から、情報収集や連携への働きかけを行うことが望ましいと思われる。
自立発展性	他の負のインパクト	広報活動によるインパクト	関係者への聞き取り(JICA専門家)	-プロジェクト紹介の新聞記事が2回載せられた。これに対して、CVTI訓練に関心を持つVVTI関係者や、また一般の訓練コースについての問合せが数件あった。
	組織的自立発展性	裨益者以外への負の影響	関係者への聞き取り(MoES、JICA専門家)	-これまでの訓練に参加できなかったなどの理由による、負のインパクトは確認されていない。CVTI訓練への今後の参加に対する期待は大きい。
自立発展性	組織的自立発展性	MoES及びUNVTIの組織制度と運営(組織、人的資源管理、予算監理)	関係者への聞き取り(MoES、JICA専門家)	-MoESは現在、組織改革を推進している。この改革は、基本的にはBTVET法の施行の方向に沿ったかたちで進められており、新たな組織制度に特に問題はないものの、プロジェクト側からも組織改革の状況に付いて随時情報収集を行い、プロジェクトで導入した訓練が新組織制度と整合性を持つよう確認していくことが望ましい。
		BTVET法の将来的展望	関係者への聞き取り(MoES、JICAウガンダ事務所)	-BTVET法は既に効力を発しているが、実施規則(regulation)の整備がまだ進行中であり、実際の施行にはまだ時間がかかると考えられる。同法のもとでUVCF制度の運用が開始されることが、CVTI訓練を持続的に実施していくことには必要条件となるため、今後も留意していくことが必要である。

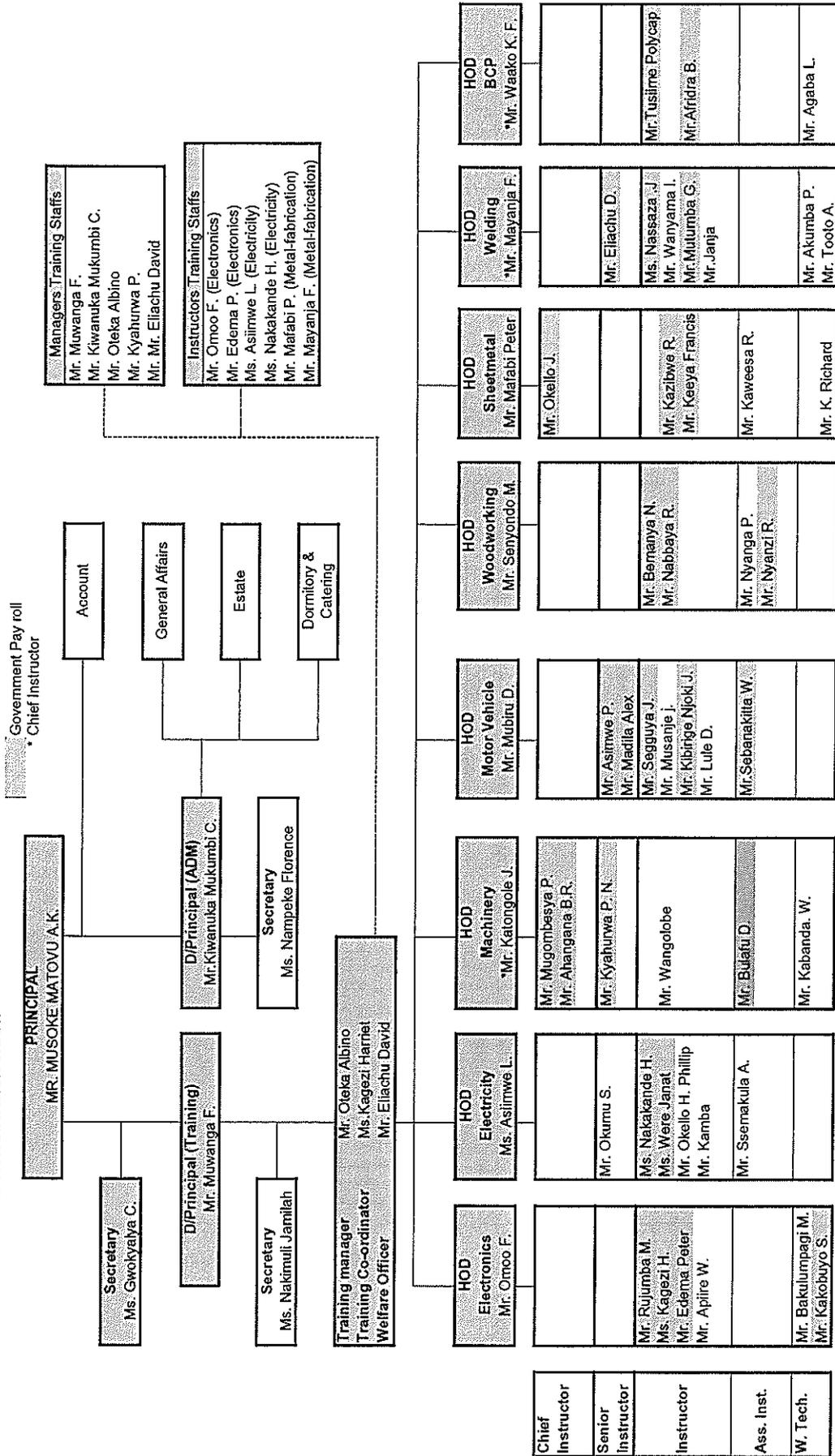
評価項目	評価の細目	確認事項	情報源	結果
自立発展性	組織的自立発展性	プロジェクトが導入した訓練のMoESによる制度化	関係者への聞き取り (MoES)	-MoESは、CVTI訓練については基本的には好意的に評価している。しかしながら、マスタートレーナーのUVQF上での位置付けについては、明確な合意が得られておらず、自立発展性の確保のためにも、その位置付けについてMoESが明確な見解を持つよう、働きかけていくことが必要である。
		プロジェクトが導入した訓練のNVTIでの運営実施可能性	関係者への聞き取り (NVTI)	-CVTI訓練は、ナカワVVTIでは十分に理解され、オーナーシップを持って実施されている。関係する指導員すべてがVVTIの指導員の質の向上に課題意識を持っている。しかしながら、ナカワVVTIの指導陣は、みな指導員の人数が不足していると訴えており、CVTI訓練がこれまでの訓練活動に追加された活動であることから、これは妥当な要請であると考えられる。プロジェクトの残りの期間では、ナカワVVTIの職員配置状況にも留意していく必要がある。
		他のVVTIの活用の可能性	関係者への聞き取り (MoES)	-ジンジャVVTIは、AFDBの職業訓練強化プロジェクトの対象になっており、訓練施設設備及び訓練機材が供与される予定である。これが実現すれば、ジンジャVVTIでCVTI訓練を実施することが、予定から推すと2011年から可能である。一方で、ルゴコVVTIを含む他のVVTIの訓練設備は非常に乏しい状況であり、CVTI訓練実施には、大規模の設備強化が必要となると考えられる。
		MoESの組織能力	関係者への聞き取り (MoES)	-MoESは、通常の指導員訓練を運営実施する能力は備えている。しかしながら、MoESは多くの異なる教育訓練機関を管轄しており異なる部局間の連絡調整がプロジェクトによって導入される訓練の効率的な運営業務の鍵となると思われる。
		NVTIの組織能力	関係者への聞き取り (NVTI)	-ナカワVVTIは、訓練プログラムを計画、実施、評価する能力を、過去の特に日本からの支援を通じて強化してきていると思われる。
		MoESのプロジェクトに対するオーナーシップ	関係者への聞き取り (MoES)	-MoESは、BTVET改革の下でUVQF制度を運用していくことに高い優先度を置いている。この状況の下で、指導員養成制度の構築は非常に重要であり、それを実施する本プロジェクトについて非常に高いオーナーシップを持って取り組んでいる。

評価項目	評価の細目	確認事項	情報源	結果
財政的自立発展性	従来の指導員養成予算確保の見込み	導入された訓練の改定維持管理能力	・関係者への聞き取り(MoES)	-MoESは、CVTI訓練を実施するための独自の予算を恒常的に確保する必要があり、主な支出費目は、訓練実習に使う材料など消耗品、補助物品(オーパーオールなど)、訓練指導員の宿泊施設経費および食費、機材維持管理費などである。
技術的自立発展性	訓練機材管理体制	マスタートレーナーの離職等の可能性	・関係者への聞き取り(JICA専門家)	-プロジェクト活動の技術移転の一環として、モニタリング評価に基づいた訓練プログラムレビュをプロジェクトで実施している。これにより、ナカワVTIの指導員は、訓練プログラムのレビューと改定を自ら行うことが可能になるはずである。しかしながら、Occupational Profileの改定が必要なときには、DITの関与が不可欠である。近い将来には、DITが正規の活動を行える状態になっていることが望まれる。
自立発展性	訓練機材管理体制	マスタートレーナーの離職等の可能性	・関係者への聞き取り(NVTI)	-訓練機材管理体制は、十分整っていると思われる。年次棚卸が制度として各訓練科ごとに行われている。 -訓練機材台帳も存在し、各訓練科が記録しマネジメントに提出している。 -機材の修理及び部品と消耗品調達に付いては、所定の申請用紙にて訓練科からマネジメントに申請する制度が確立されている。
その他	BT/VET分野の他の活動		・関係者への聞き取り(JICA専門家)	プロジェクトが養成したマスタートレーナーの離職の可能性はあるが、ナカワVTI支援初期の段階でそのような姿勢を持つ指導員が離職してはおり、現在も牽引している指導員は、指導員としての士気が高い人材が多いと考えられる。  -世銀とベルギーの支援が開始されるとの情報があがる。最初の段階で、セクター開発戦略計画を策定するものと思われる。プロジェクトにて開発導入した指導員養成制度を、その戦略計画に取り込むよう働きかけることにより、その指導員訓練制度を活用しての効率的なBT/VETセクター開発の推進が実現される方向に進めることが望ましい。

APPROVED MACRO STRUCTURE FOR THE MINISTRY OF EDUCATION AND SPORTS



NAKAWA VTI ORGANISATION CHART





Provided Equipments by JICA (List of the equipment which has costed more than 20,000 J-yen)  
1USD=1,630 Ushs, 1USD=104 J-yen

Year	No.	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note
				Unit	Total				
<b>Management</b>									
'07/08	ITVET M-002	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	1	133,988	133,988	Nakawa VTI Management	A	A	
'07/08	ITVET M-003	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	1	133,988	133,988	Nakawa VTI Management	A	A	
'07/08	ITVET M-012	Copy Machine with Cabinet (Cannon IR 1022A)	1	216,933	216,933	Nakawa VTI Management	A	A	
'07/08	ITVET M-014	Projector (Sony VPL-ES4)	1	111,656	111,656	Nakawa VTI Management	A	B	
'07/08	ITVET M-018	Projector Screen with Stand (180cm X 180cm)	1	47,853	47,853	Nakawa VTI Management	A	B	
'08/09	ITVET M-190	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,626	30,626	Nakawa VTI Management	A	B	
'08/09	ITVET M-197,198	Digital Video Camera (Sony Handycam DCR-SR85E)	2	92,515	185,030	Nakawa VTI Management	A	B	
<b>Electronics</b>									
'07/08	ITVET T-004,005	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	2	133,988	267,976	Electronics Section Practice Room	A	A	
'07/08	ITVET T-015	Projector (Sony VPL-ES4)	1	111,656	111,656	Electronics Section Practice Room	A	B	
'07/08	ITVET T-019	Projector Screen with Stand (180cm X 180cm)	1	47,853	47,853	Electronics Section Practice Room	A	B	
'07/08	ITVET T-022	Server Computer (ProLiant ML350)	1	350,078	350,078	Electronics Section Practice Room	A	A	
'07/08	ITVET T-053~076	Desktop Computer (Dell Optiplex 755)	24	94,049	2,257,176	Electronics Section Practice Room	A	A	
'07/08	ITVET T-077~100	Monitor (for Desktop Computers) (17"inch)	24	26,798	643,152	Electronics Section Practice Room	A	A	
'07/08	ITVET T-169~177	D-Link Unit (Fiber optic converter)	9	24,883	223,947	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/09	ITVET T-191,192	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	2	30,626	61,252	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/09	ITVET T-193~197	Mobile phone training kit Nokia Type(UFS-3)	5	41,472	207,360	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/09	ITVET T-198,199	Mobile phone training kit Universal Type(UB)	2	54,233	108,466	Electronics Section Practice Room	A	B	

Electricity									
'07/'08	ITVET E-037~051	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	15	151,993	2,279,895	Electricity Section Practice Room	A	A	A
'07/'08	ITVET E-101~107	Programmable Logic Controller (6ES7314-6BG03-0AB0)	7	116,411	814,877	Electricity Section Practice Room	A	A	B
'07/'09	ITVET E-108,109	Touch Display (6AV7843-0AF10-0CB0)	2	312,786	625,572	Electricity Section Practice Room	A	A	B
'07/'08	ITVET E-186~188	Solar Panel (Monocrystalline Solar World)	3	152,491	457,473	Electricity Section Practice Room	A	A	B
'07/'08	ITVET E-189	Fire alarm training kit (Fire alarm system 2 zones )	1	125,055	125,055	Electricity Section Practice Room	A	A	B
'08/'09	ITVET E-193	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,626	30,626	Electricity Section Practice Room	A	A	B
'08/'09	ITVET E-209,210	Air Conditioner (Daikin 9000BTU)	2	95,706	191,412	Electricity Section Practice Room	A	A	B

Motor-Vehicle									
'07/'08	ITVET J-001	Desktop Computer (Dell Optiplex 755)	1	114,847	114,847	Motorvehicle Section Practice	A	A	A
'07/'08	ITVET J-006,007	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	2	133,988	267,976	Motorvehicle Section Practice	A	A	A
'07/'08	ITVET J-016	Projector (Sony VPL-ES4)	1	111,656	111,656	Motorvehicle Section Practice	A	A	B
'07/'08	ITVET J-020	Projector Screen with Stand (180cm X 180cm)	1	47,853	47,853	Motorvehicle Section Practice	A	A	B
'07/'08	ITVET J-110~119	Tool Set Running Caddy	10	59,427	594,270	Motorvehicle Section Practice	A	A	A
'07/'08	ITVET J-120	Nissan RD28 Turbo charger	10	107,739	1,077,390	Motorvehicle Section Practice	A	A	A
'07/'08	ITVET J-121	Diesel pump tester (PICK UP PROBE 2492300)	1	242,344	242,344	Motorvehicle Section Practice	A	A	B
'07/'08	ITVET J-122	Toyota diesel engine (Yr.1994)	1	29,886	29,886	Motorvehicle Section Practice	A	A	B
'07/'08	ITVET J-123	Toyota 1KZ-TE Control Unit (Used)	1	28,074	28,074	Motorvehicle Section Practice	A	A	B
'07/'08	ITVET J-211	Toyota Corona Premio (AT211-0013241)	1	51,043	51,043	Motorvehicle Section Practice	A	A	B
'07/'08	ITVET J-212,213	Radiator Cap Tester (BanzaiRCT-2A-22)	1	478,528	478,528	Motorvehicle Section Practice	A	A	B
'07/'08	ITVET J-214	Torque Socket Set (TORX Box Driver Set)	2	127,288	254,576	Motorvehicle Section Practice	A	A	B
'07/'08	ITVET J-215~218	Service Creeper (Banzai SC-12)	1	24,373	24,373	Motorvehicle Section Practice	A	A	A
'07/'08	ITVET J-215~218	Service Creeper (Banzai SC-12)	4	20,832	83,328	Motorvehicle Section Practice	A	A	B

'08/'09	ITVET J-194	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,626	30,626	Motorvehicle Section Practice	A	B
'08/'09	ITVET J-227,228	Lift Jack (KEN503-7100K 3TON)	2	25,202	50,404	Motorvehicle Section Practice	A	B
'08/'09	ITVET J-229	Battery Charger (SIP494-3300E)	1	109,423	109,423	Motorvehicle Section Practice	A	B
'08/'09	ITVET J-230	Engine Stand ES550	1	54,233	54,233	Motorvehicle Section Practice	A	B
<b>Sheet-Metal</b>								
'07/'08	ITVET I-008,009	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	2	133,988	267,976	Sheetmetal Section Practice	A	A
'08/'09	ITVET I-195	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,626	30,626	Sheetmetal Section Practice	A	B
<b>Welding</b>								
'07/'08	ITVET H-010,011	Laptop Computer (Dell Latitude D630)	2	133,988	267,976	Welding Section Practice Room	A	A
'07/'08	ITVET H-017	Projector (Sony VPL-ES4)	1	111,656	111,656	Welding Section Practice Room	A	B
'07/'08	ITVET H-021	Projector Screen with Stand (180cm X 180cm)	1	47,853	47,853	Welding Section Practice Room	A	B
'08/'09	ITVET H-196	Digital Camera (Sony Digital Camera DSC-730)	1	30,626	30,626	Welding Section Practice Room	A	B
'08/'09	ITVET H-220,221	Hand grinder (Stayer SAB-22-125 )	2	24,883	49,766	Welding Section Practice Room	A	B
'08/'09	ITVET H-222,223	Hand grinder (Stayer SAB-22-180)	2	31,583	63,166	Welding Section Practice Room	A	B
'08/'09	ITVET H-224,225	Stayer light duty hand drill (Stayer TH550)	2	26,160	52,320	Welding Section Practice Room	A	B
'08/'09	ITVET H-226,227	Aluminum wire for MIG welding (Æ1.2 A5183 6.5Kg)	2	63,804	127,608	Welding Section Practice Room	A	B

Provided Equipments by JICA (List of the equipment which has costed below 20,000 J-yen)

1USD=1,630 Ushs, 1USD=104 J-yen

Year	No	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note
				Unit	Total				
<b>Management</b>									
'08/'09	ITVET M-199	Batteries (for Sony Video Camera)	2	11,804	23,608	Nakawa VTI Management	A	B	
'08/'09	ITVET M-201	Memory Card (for Sony Video Camera)	2	3,190	6,380	Nakawa VTI Management	A	B	
'08/'09	ITVET M-203	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,828	3,828	Nakawa VTI Management	A	B	
<b>Electronics</b>									
'07/'08	ITVET T-022	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,166	11,166	Electronics Section Practice Room	A	A	
'07/'08	ITVET T-027	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	10,847	10,847	Electronics Section Practice Room	A	B	
'07/'08	ITVET T-032	White Board (3ft X 5ft)	1	19,141	19,141	Electronics Section Practice Room	A	A	
'07/'08		Transformer (output 6V,9V,1A)	20	3,956	79,120	Electronics Section Practice Room	A	B	
'07/'08		Transformer (output 12V,24V,1A)	20	4,339	86,780	Electronics Section Practice Room	A	B	
'07/'08		Magnifying glass (Illuminated Magnifying glass)	5	1,276	6,380	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	ITVET T-204	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,828	3,828	Electronics Section Practice Room	A	A	
'08/'09		Power Supply Unit (ATX PS)	20	1,595	31,900	Electronics Section Practice Room	A	A	
'08/'09		Mother Board (INTELL Pentium)	20	5,742	114,840	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09		Cooling Fan (Pentium 4)	20	1,276	25,520	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09		RAM (1GM DDR2)	20	3,828	76,560	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09		Hard Disk Drive (80GB)	20	4,785	95,700	Electronics Section Practice Room	A	B	

'08/'09	Wireless-G Access Point (Lynksys)	5	12,123	60,615	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Wireless LAM Card (PCI)	28	3,828	107,184	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Soldering Iron (Goot KS-308R)	10	1,117	11,170	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Transistors (BD139)	100	128	12,800	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Transistors (BU508A)	100	204	20,400	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Transistors (BU508D)	100	204	20,400	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Power Transistor- low current (C2233, D880)	100	287	28,700	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Power Transistor- high current (BD140, BUT11A)	100	223	22,300	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Electrolytic Capacitors (1000µF/50V, 10MF/50V,	100	287	28,700	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Ceramic Capacitors (0.1PF, 0.001PF, 0.47PF, 47PF)	100	51	5,100	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Resistor- low value (2.2Ω, 4.7Ω, 1Ω, 10Ω, 100Ω, )	1,000	26	26,000	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Resistor-high value (1KΩ, 1.2KΩ, 1.5Ω, 10KΩ, )	1,000	51	51,000	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Preset Resistor- low value (4.7KΩ, 10KΩ, 470KΩ)	200	51	10,200	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/'09	Preset Resistor- high value (47KΩ, 100KΩ, 220KΩ, )	200	51	10,200	Electronics Section Practice Room	A	B
<b>Electricity</b>							
'07/'08	ITVET E-023 Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,166	11,166	Electricity Section Practice Room	A	A
'07/'08	ITVET E-028 Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	10,847	10,847	Electricity Section Practice Room	A	B
'07/'08	ITVET E-033 White Board (3ft X 5ft)	1	19,141	19,141	Electricity Section Practice Room	A	A
'07/'08	MPI Cable (6ES7901-0BF00-0AA0)	7	5,567	38,969	Electricity Section Practice Room	A	B
'07/'08	Flare/swaging tool set (Standard)	2	17,865	35,730	Electricity Section Practice Room	A	B

'07/08		Butane blow torch (L.P. Butane)	2	12,761	25,522	Electricity Section Practice Room	A	B
'08/09	ITVET E- 205	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,828	3,828	Electricity Section Practice Room	A	A
<b>Motor-Vehicle</b>								
'07/08	ITVET J- 024	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,166	11,166	Motorvehicle Section Practice	A	A
'07/08	ITVET J- 029	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	10,847	10,847	Motorvehicle Section Practice	A	B
'07/08	ITVET J- 034	White Board (3ft X 5ft)	1	19,141	19,141	Motorvehicle Section Practice	A	A
'07/08		Thread Master (Banzai USF-8)	3	8,167	24,501	Motorvehicle Section Practice	A	B
'07/08		Torque wrench Set (TORX L Wrench Set)	1	8,933	8,933	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/09	ITVET J- 206	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,828	3,828	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/09	ITVET J- 219~226	Ratcheting Axle Stand (KEN503-5530K 3ton)	8	5,077	40,616	Motorvehicle Section Practice	A	A
'08/09		Magnetic Parts Trays PB-3	10	6,949	69,490	Motorvehicle Section Practice	A	A
<b>Sheet-Metal</b>								
'07/08	ITVET I- 025	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,166	11,166	Sheetmetal Section Practice	A	A
'07/08	ITVET I- 030	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	10,847	10,847	Sheetmetal Section Practice	A	B
'07/08	ITVET I- 035	White Board (3ft X 5ft)	1	19,141	19,141	Sheetmetal Section Practice	A	A
'07/08		Pipe wrench (12 inch)	15	1,914	28,710	Sheetmetal Section Practice	A	B
'07/08		Pipe wrench (18 inch)	15	2,871	43,065	Sheetmetal Section Practice	A	B
'07/08		Ball pein hammers (450 g)	14	957	13,398	Sheetmetal Section Practice	A	A
'07/08		Rubber mallets (240z)	15	766	11,490	Sheetmetal Section Practice	A	A
'07/08		Rough flat files (250 mm)	15	766	11,490	Sheetmetal Section Practice	A	A

'07/08		Smooth flat files (250 mm)	15	766	11,490	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Round rough files (250 mm)	15	766	11,490	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Round smooth files (250 mm)	15	766	11,490	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Half round rough files (250 mm)	15	766	11,490	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Half round smooth files (250 mm)	15	766	11,490	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Divider (300 mm)	15	1,595	23,925	Sheetmetal Section Practice	A	A	
'07/08		Vernier calipers (150 mm)	10	1,914	19,140	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Cold chisels (150 mm)	15	638	9,570	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Pliers with side cutter (150 mm)	15	510	7,650	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Steel Rules (300m)	15	319	4,785	Sheetmetal Section Practice	A	A	
'07/08		Steel Rules (1000m)	10	1,595	15,950	Sheetmetal Section Practice	A	A	
'07/08		Engineering square (250 mm)	15	766	11,490	Sheetmetal Section Practice	A	A	
'07/08		Hack saw frames (300mm long, 100mm)	15	957	14,355	Sheetmetal Section Practice	A	B	
'07/08		Dice stock set (1/2 inch, 1/4 inch, 3/4inch, 2 inch)	10	14,802	148,020	Sheetmetal Section Practice	A	A	
'07/08		Power cable (240V, more than 20 meter)	3	7,975	23,925	Sheetmetal Section Practice	A	A	
'08/09	ITVET I- 207	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,828	3,828	Sheetmetal Section Practice	A	A	
<b>Welding</b>									
'07/08	ITVET H- 026	Printer (ink jet) (HP D4163 Deskjet)	1	11,166	11,166	Welding Section Practice Room	A	A	
'07/08	ITVET H- 031	Scanner (HP G2710 Scanjet)	1	10,847	10,847	Welding Section Practice Room	A	B	

'07/08	ITVET H-036	White Board (3ft X 5ft)	1	19,141	19,141	19,141	Welding Section Practice Room	A	A	
'08/09	ITVET H-208	USB Flash Disk Drive (2GB)	1	3,828	3,828	3,828	Welding Section Practice Room	A	A	
'08/09		Record G-clamp (150M)	5	4,785	23,925	23,925	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Record G-clamp (250M)	5	6,699	33,495	33,495	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Hand tap set (3mm-12mm combined taps and dies)	3	5,423	16,269	16,269	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Acetylene Regulator for cylinder, share low, middle pressure	2	11,166	22,332	22,332	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Oxygen Regulator (for cylinder, share low, middle pressure)	2	11,166	22,332	22,332	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Argon Regulator (for cylinder, with float meter 1 piece)	2	13,080	26,160	26,160	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Gas Cutting torch (Koike sanso)	3	19,779	59,337	59,337	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Gas Welding torch (German type)	20	14,037	280,740	280,740	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Stainless steel wire brush (Standard)	5	2,425	12,125	12,125	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Gas tip cleaners (Standard)	2	638	1,276	1,276	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Spark Lighter (Standard)	5	957	4,785	4,785	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Arc welding torches (for 300A)	24	1,595	38,280	38,280	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		Wire for MAG welding (Æ1.2JIS YGW12 15Kg-roll)	5	15,951	79,755	79,755	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		TIG filler rods (Stainless steel Jis Y308 Æ1.6 2Kg roll)	7	12,761	89,327	89,327	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		TIG filler rods (Stainless steel Jis Y308 Æ2.4)	7	17,865	125,055	125,055	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		TIG electrodes (Tungsten within cerium Æ1.6)	20	3,318	66,360	66,360	Welding Section Practice Room	A	B	
'08/09		TIG electrodes (Tungsten within cerium Æ2.4)	20	4,020	80,400	80,400	Welding Section Practice Room	A	B	

Accompanied Equipments by Experts

Year	No.	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note
				Unit	Total				
<b>Electronics</b>									
'08/'09	1	Photosensitive Circuit Board (10K)	20	320	6,400	Electronics Section Practice Room	A	B	①MR. TOMODA (08.10.1~11.15)
'08/'09	2	Photosensitive Circuit Board (15K)	20	590	11,800	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	3	Chemical Products for Circuit Board (DP-50)	40	380	15,200	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	4	7 Segment LED Anode Common (I-00639)	20	90	1,800	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	5	7 Segment LED Cathode Common (I-00640)	20	90	1,800	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	6	Logic IC (TC74HC00AP, 539-9204)	40	50	2,000	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	7	Logic IC (TC74HC02AP, 539-9210)	40	50	2,000	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	8	Logic IC (TC74HC04AP, 539-9232)	40	50	2,000	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	9	Logic IC (TC74HC05AP, 539-9260)	10	50	500	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	10	Logic IC (TC74HC08AP, 539-9282)	40	50	2,000	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	11	Logic IC (TC74HC14AP, 539-9327)	10	50	500	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	12	Logic IC (TC74HC20AP, 539-9333)	10	50	500	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	13	Logic IC (TC74HC21AP, 539-9349)	10	50	500	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	14	Logic IC (TC74HC32AP, 539-9377)	40	50	2,000	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	15	Logic IC (TC74HC42AP, 539-9383)	10	70	700	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	16	Logic IC (TC74HC74AP, 539-9399)	40	50	2,000	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	17	Logic IC (TC74HC85AP, 539-9406)	10	96	960	Electronics Section Practice Room	A	B	
'08/'09	18	Logic IC (TC74HC86AP, 539-9412)	40	60	2,400	Electronics Section Practice Room	A	B	

'08/09	19	Logic IC (TC74HC112AP, 539-9440)	10	54	540	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	20	Logic IC (TC74HC123AP, 539-9456)	10	80	800	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	21	Logic IC (TC74HC125AP, 539-9478)	10	68	680	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	22	Logic IC (TC74HC138AP, 539-9513)	10	60	600	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	23	Logic IC (TC74HC139AP, 539-9535)	10	60	600	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	24	Logic IC (TC74HC151AP, 539-9557)	10	68	680	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	25	Logic IC (TC74HC153AP, 539-9563)	10	70	700	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	26	Logic IC (TC74HC157AP, 539-9591)	10	80	800	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	27	Logic IC (TC74HC161AP, 539-9614)	10	83	830	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	28	Logic IC (TC74HC163AP, 539-9620)	10	100	1,000	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	29	Logic IC (TC74HC164AP, 539-9636)	10	100	1,000	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	30	Logic IC (TC74HC165AP, 539-9642)	10	140	1,400	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	31	Logic IC (TC74HC173AP, 539-9664)	10	100	1,000	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	32	Logic IC (TC74HC174AP, 539-9670)	10	63	630	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	33	Logic IC (TC74HC175AP, 539-9692)	10	100	1,000	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	34	Logic IC (TC74HC191AP, 539-9709)	10	130	1,300	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	35	Logic IC (TC74HC193AP, 539-9715)	10	120	1,200	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	36	Logic IC (TC74HC373AP, 539-9939)	10	100	1,000	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	37	Logic IC (TC74HC374AP, 539-9945)	10	100	1,000	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	38	Logic IC (TC74HC541AP, 539-0023)	10	130	1,300	Electronics Section Practice Room	A	B
'08/09	39	Logic IC (SN74LS47N, 307-581)	40	240	9,600	Electronics Section Practice Room	A	B
			SUB-TOTAL		82,720 J-yen	CIF		128,908 J-yen

①MR. TOMODA  
(08.10.1~11.15)

Year	No.	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note	
				Unit	Total					
<b>Management</b>										
'08/'09	1	Books	68		201,508	Nakawa VTI Management	A	B	①MR. UMEMOTO (08.8.24~2.23)	
'08/'09	2	Documents	23		26,500	Nakawa VTI Management	A	B		
'08/'09	3	Catalog	2	2,000	4,000	Nakawa VTI Management	A	B		
<b>Electronics</b>										
'08/'09	4	PIC-ROM Writer Picstart Plus	1	17,500	17,500	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	5	PIC-ROM Writer PLB-11	1	7,000	7,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	6	LSI-Kid	1	13,400	13,400	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	7	PLD-10D Module	1	5,000	5,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	8	Sensor Kid Module1	1	5,000	5,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	9	Sensor Kid Module2	1	5,000	5,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	10	Connection Cable 10C	1	500	500	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	11	LED Lamp 100Ps Microswith	1	8,000	8,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	12	Modular Plug Pinchers MPT5-8	1	14,300	14,300	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	13	Cable Set	1	1,300	1,300	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	14	Optical Fiber Craft	1	1,000	1,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	15	Metal detector Kids	1	9,000	9,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	16	Multi Cable AWM2651 40IINES	2	20,000	40,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	17	Multi Cable AWM2651 60IINES	1	25,000	25,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/'09	18	Multi Cable AWM2651 26IINES	1	15,000	15,000	Electronics Section Practice Room	A	B		

Year	No.	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note	
				Unit	Total					
'08/09	19	Multi Cable AWG2651 26IINES	1	15,000	15,000	Electronics Section Practice Room	A	B	①MR. UMEMOTO (*08.8.24~2.23)	
'08/09	20	FA System	1	50,000	50,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/09	21	Solar Panel	1	45,000	45,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/09	22	Driver Cable Opx1	1	3,800	3,800	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/09	23	IC For PWM	10	500	5,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/09	24	Aluminium Tape	12	1,200	14,400	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/09	25	Ruler Pulas	1	2,000	2,000	Electronics Section Practice Room	A	B		
'08/09	26	Ruler Daiso	1	100	100	Electronics Section Practice Room	A	B		
SUB-TOTAL					534,308 J-yen		CIF			680,524 J-yen
<b>Motor-Vehicle</b>										
'08/09	1	OHP Sheet	12	10,000	120,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	①MR. NAKAMURA (*08.6.29~8.9)	
'08/09	2	HI ACE Repair Book	1	5,000	5,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		
'08/09	3	TCCS Manual Book	1	2,000	2,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		
'08/09	4	MTI CYTI Training Manual	6	1,000	6,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		
'08/09	5	Safety Sign Manual	1	1,000	1,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		
'08/09	6	Iyasaka Tool Catalog	1	1,000	1,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		
'08/09	7	Bankai Tool Catalog	1	1,000	1,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		
'08/09	8	Working Cloth	4	1,000	4,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		
'08/09	9	Terminal Set	1	1,000	1,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		
'08/09	10	Terminal Pliers	1	2,000	2,000	Motorvehicle Section Practice	A	B		

Year	No.	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note
				Unit	Total				
'08/09	11	Leather Gloves	4	1,000	4,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	①MR. NAKAMIJURA (08.6.29~8.9)
'08/09	12	Gloves	1	3,000	3,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	13	Clutch Cover	1	15,000	15,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	14	Clutch Disk	1	15,000	15,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	15	Release Bearing	1	3,000	3,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	16	LPGL Regulator	1	30,000	30,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	17	LPG Mixer	1	30,000	30,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
SUB-TOTAL					243,000 J-yen		CIF		302,100 J-yen
<b>Motor-Vehicle</b>									
'08/09	1	Wire Rope Assy Rope For WSF-302	1	116,700	116,700	Motorvehicle Section Practice	A	B	②MR. NAKAMIJURA (08.6.29~8.9)
'08/09	2	Flint Wheel Assy Front Wheel For M-55M	4	6,330	25,320	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	3	Rear Wheel Assy Rear Wheel For M-500M	4	14,960	59,840	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	4	Spring Assy Spring For M-500M	4	4,060	16,240	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	5	Oil Seal Assy Oil Seal For M-500M	2	12,750	25,500	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	6	Port Power Syringe Packing Set Model: P-75NK-1	1	3,570	3,570	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	7	Packing Set for Port Power Lamb Model: 65150X	1	2,100	2,100	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	8	High Pressure Hose for Port Power Model: Z-864	1	22,360	22,360	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	9	Brakes Tester Assy Digital Meter For BST-150	1	310,000	310,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	10	Brakes Tester Assy Harnest Kit For BST-150	1	51,550	51,550	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	11	Brakers Tester Assy Wired Wirele Wireless Remote Controller	1	51,450	51,450	Motorvehicle Section Practice	A	B	

'08/09	12	Brakers Tester Assy Hang,IT Met Fitting Model: ABS-CHK	1	25,200	25,200	25,200	Motorvehicle Section Practice	A	B	②MR. NAKAMURA '08.6.29~8.9)
'08/09	13	Refrigerant Recovery System	1	100,000	100,000	100,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	14	Car Maintenance Checker X-431	1	312,000	312,000	312,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	15	Connector II	1	24,800	24,800	24,800	Motorvehicle Section Practice	A	B	
SUB-TOTAL					1,146,630	J-yen	CIF		1,637,981	
Year	No.	Name of the Equipment	Quantity	Unit	Price	Total	Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note
<b>Motor-Vehicle</b>										
'08/09	1	Signal Check Terminal	1	100,000	100,000	100,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	②MR. UMEMOTO '08.8.24~2.23)
'08/09	2	Signal Check Terminal Adapter 7A	1	20,000	20,000	20,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	3	Signal Check Terminal Adapter 2L	1	20,000	20,000	20,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	4	Ignition Coil	1	10,000	10,000	10,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	5	Distributor	1	10,000	10,000	10,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	6	Resistive Code	5	1,000	5,000	5,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	7	Manual Book For AT211, ST211	1	15,000	15,000	15,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	8	Transmission T40	2	50,000	100,000	100,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
'08/09	9	Manual Book For T40, T50	1	1,000	1,000	1,000	Motorvehicle Section Practice	A	B	
SUB-TOTAL					281,000	J-yen	CIF		403,416	J-yen
Year	No.	Name of the Equipment	Quantity	Unit	Price	Total	Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note
<b>Sheet-Metal</b>										
'08/09	1	Relay MY4	6	1,900	11,400	11,400	Sheetmetal Section Practice	A	B	①MR. MAKINO '07.6.9~'09.6.4)
'08/09	2	Relay LY4	4	3,200	12,800	12,800	Sheetmetal Section Practice	A	B	

Year	No.	Name of the Equipment	Quantity	Price		Place of Use	Condition of Use	Condition of Management	Note	
				Unit	Total					
'08/09	3	Standard Punch 90 Ro.2 Sec.Type	1	74,900	74,900	Sheetmetal Section Practice	A	B	①MR. MAKINO (07.6.9~09.6.4)	
'08/09	4	2V Molding Die V6-V10 90 L	1	40,700	40,700	Sheetmetal Section Practice	A	B		
'08/09	5	Up-down Adjustment Handle 4124910	2	4,800	9,600	Sheetmetal Section Practice	A	B		
'08/09	6	Bolt 4124911	2	6,500	13,000	Sheetmetal Section Practice	A	B		
'08/09	7	Spring Pin 5X30mm	2	100	200	Sheetmetal Section Practice	A	B		
'08/09	8	Washer M10	4	20	80	Sheetmetal Section Practice	A	B		
'08/09	9	Bolt M10X50	2	50	100	Sheetmetal Section Practice	A	B		
'08/09	10	Spring Washer M10	2	20	40	Sheetmetal Section Practice	A	B		
'08/09	11	Back Gauge Stretch	1	145,600	145,600	Sheetmetal Section Practice	A	B		
SUB-TOTAL				308,420 J-yen		CIF		397,345 J-yen		
<b>Management</b>										
'08/09	1	Books	9		14,208	Nakawa VTI Management	A	B	①MR. IDE (08.11.18~12.18)	
<b>Welding</b>										
'08/09	2	Cut Runner for Daihen Model D-1 CRC-401 (Version 2001)	1	379,000	379,000	Welding Section Practice Room	A	A		
'08/09	3	Replenisher Super Coolant 10L 2670-033	2	11,000	22,000	Welding Section Practice Room	A	B		
'08/09	4	Electrode H839MOO	200	680	136,000	Welding Section Practice Room	A	B		
'08/09	5	Chip H839G03	200	370	74,000	Welding Section Practice Room	A	B		
SUB-TOTAL				625,208 J-yen		CIF		753,147 J-yen		

Note: Condition of use

A : Being used very frequently, (daily)

B : Being used often, (from one to three times a week)

C : It has been used consecutively at certain times. (indicate the reason in the column of reference or disposal.)

D : It has not been used often so far (from three to 11 times annually, indicate reason in column of reference or disposal.)

E : It has not been in use due to particular reasons. (indicate reasons in column of reference or disposal.)

Note: Condition of management

A : It has been serviced well with regular check-ups, and can be used any time necessary.

B : Management is done on the whole, and has no problem in usage.

C : If serviced, it can be used.

D : It can hardly be used.

